

第七十四回  
帝國議會  
貴族院

# 米穀配給統制法案特別委員會會議事速記録第三號

昭和十四年三月二十二日(水曜日)午前十時十四分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 是ヨリ開會致

シマス、前會ニ引續キマシテ御質問ガアリマスレバ此ノ際御願ヒ致シマス

○内田重成君 本案ニ關聯致シマシテ米穀

ノ諸問題ニ付テ衆議院デハ非常ニ詳細ニ論議サレテ居リ、只今迄既ニ受取りマシテ衆議院議事録第八回迄ノ記録ヲ大體通讀ヲ致シタノデアリマスガ、成ルベク重複致スヤウ

ナ質問ハ避ケタイト考ヘマスルケレドモ、或ハ重ナル點ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ已ムヲ得マセヌコトト御了承願ヒタイ、

本案ノ内デ最モ重要ナ事項ハ一昨日松村委員ノ御指摘ニナリマシタ第七條ノ規定デア

リマスルヤウデゴザイマスガ、即チ「米穀市場ノ賣買取引ノ價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依

リ米穀統制法第二條ノ最低價格及最高價格ニ準據シテ定ムル價格ノ範圍ヲ越ユルコト

ヲ得ズ」ト云フ此ノ制限デゴザイマス、此ノ規定ハ現行ノ米穀統制法ヲ強化セラレタモ

ノデ、此ノ法施行以後ハ米價ハ統制ノ最高額以上ニ上騰スル希望ハ絶對ニ無クナルモ

ノト考ヘラレルノデアリマス、此ノ點ハ米

ノ生産者ニ取リマスレバ觀念的ニ非常ナ壓迫デアリ、現行ノ統制ダケ見マスルト、假令統制法三條ノ規定ガアリマシテモ、尙

最高價格以上ニ米價ガ騰ルト云フ希望ガアルノデアリマス、本案實施ノ曉ニ於テハ左

様ナ希望ハ之ヲ失フ譯ニナルノデアリマス、

元來ガ國民ノ主要ナル食糧デアアル米ノ生産獎勵ノ絶對的見地カラ考ヘマスルト、米ノ

價格ノ最高限ヲ制限スルト云フコトハ私ハ不得策デアルト思フ、現行ノ米穀統制法第

二條ノ規定ハ先年勃發シマシタ米騒動等ノ一時的ノ出來事ニ怯エテ公定價格ヲ定メタ

モノデアアル、其ノ沿革カラ考ヘテサウデアルト思フ、私ノ考ヘル所デハ元來此ノ米ノ

制度ニ付テハ其ノ高度ハ需給關係上自ラ限度ガアツテ、餘リ高クハ騰リ得ナイモノデ、

若シ萬一公安ヲ害スル程度ニ米價ガ暴騰スルト云フヤウナ場合ニハ臨機ニ政治的ニ抑

壓スルコトモ難クナイ、米作者ノ勞苦及ビ其ノ收益ノ實狀ト云フモノハ、之ハ到底商

工業其ノ他ノ職業ニ比較出來ナイ程ノ勞苦デアリ、其ノ現實ヲ見マスルナラバ、多少

米價ガ高イコトガアリマシテモ、之ハ苦情ハ言ハレナイモノデアルト思フノデアアル、

現行ノ統制法ハ消費者側ノ利益ニ顧ミテ最高ノ價格ヲ定メル規定ヲ設ケマシタケレド

モ、ソレデモ本案第七條ノヤウナ強行ノ程度ニハ達シテ居ラス、其ノ間ニ多少ノ餘裕

ヲ存シテ經濟ノ情勢ニ依ッテ最高價格以上ニ出ヅル所ノ餘地ヲ存シテ居ッタノデアリ

マス、然ルニ本法ニ於テハ更ニ統制法ノ第二條ノ補強規定ノ如ク、本案第七條ニ依ッ

テ、米穀市場ノ賣買取引價格ハ米穀統制法第二條ノ最低、最高價格ニ準據シテ定ムル

價格ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ナイト云フ強イ制限ヲ附セラレタノデアリマス、之ヲ

斯クノ如ク非常ニ強化セラレタコトニ付キマシテハ、是ハ米穀統制法ノ規定ノ變更ニナ

ル譯デアルト思フノデアリマス、斯クノ如キ強化規定ヲ設ケラレルニ至リマシタ其ノ

御研究ノ結果ヲ一ツ詳細ニ御話ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ガ私ノ質問ノ第一

點デアリマス

○政府委員(周東英雄君) 御答ヲ申上ゲマス、御話ノヤウニ此ノ度ノ配給統制法ニ於

キマシテハ、市場ニ於テノ取引價格ハ法的ニ統制法ニ定ムル最高價格及ビ最低價格ノ範圍内ニ於テ定メラレル價格以上ノ取引ヲ

禁止セラレルコトニナッタノデアリマス、併シナガラ此ノ點ハ、現在ニ於キマシテ

モ事實上ハ此ノ最高價格以上ノ取引ハヤリ得ナイヤウナ恰好ニナッテ居ルノデア

リマシテ、御承知ノヤウニ最高價格以上ニ米價ガ上廻ラムトスル虞ガアル場合ニ

於キマシテハ、政府ハ何時デモ要求ニ應ジマシテ、最高價格ヲ賣出シテ居ルヤウナ

狀況デアリマスルノデ、其ノ實質的ノ力ニ依リマシテ、實際ニハ最高價格以上ノ取引

ハ行ハレナイト見テ宜カラウト思フノデアリマス、從ヒマシテ是等ノ狀況ヲ見、且國民

民ノ生活必需品デアリマスル米ニ付キマシテハ、一般國民ノ生活狀況カラ見マシテ、

是等ヲ脅サナイ程度ニ價格ヲ指導シテ行ク必要モゴザイマスルノデ、茲ニ米ノ取引價

格ニ付キマシテ米穀統制法ニ定ムル最高價格、最低價格ノ範圍内ニ於テ定メタル價格

以上ノ取引ヲ禁ズルヤウニ、法的ニ之ヲ決メタニ過ギナイノデアリマス、唯此ノ場合

ニ於テ、然ラバ農村等ニ問題ニナリマスル點ハ、最高價格ノ決メ方ニ在ルト存ズルノ

デアリマス、從ヒマシテ今後ニ於キマシテハ、從來モ其ノ通りデアリマスルガ、一層

此ノ統制法第二條ニ定メマシテ最高價格ノ決メ方ニ付キマシテハ慎重ニ決メテ行キマシテ、苟クモ農村ニ對シマシテモ、一般消費者ニ對シマシテモ不都合ノナイヤウナ、適當ナ最高價格ヲ決メタイト存ズルノデアリマス、斯ク致シマスレバ、假令法的ニ其ノ定メマシタ價格ノ範圍ニ於テ定メラレタ市場價格以上ノ取引ヲ禁ズルヤウナコトガアリマシテモ、左程農家ニモ消費者ニモ不利益ニナルコトハナイノデアリカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○内田重成君 其ノ御答辯ノ點ガ私ノ憂ヘル所トハ大分違ヒガアルノデアリマス、詰リ私ノ先程申シマシタヤウニ、實際上ノ問題ト農民ノ本條ニ依ッテ受クル觀念上ノ虞、此ノ點ニ相當距離ガアルノデアリマス、現ニ政府ハ今年度ニ於キマシテ米ノ増産ヲ御計畫ニ相成ッテ居ル、是ハ現在ノ情勢ニ於テ減産ノ憂ガ甚ダ大デアリ、此ノ爲ニ政府ガ大馬力ヲ掛ケテ、内地ニ於テ四百萬石、朝鮮、臺灣ニ於テモ亦相當數量ノ増産計畫ヲ樹立セラル、ト云フコトハ極メテ御尤ナ計畫デアアル、其ノ實行ガ果シテ可能ナリヤ否ヤト云フコトハ頗ル疑アリ、危マレル所デアリマスルガ、兎ニ角増産ニ馬力ヲ掛ケルト云フコトハ是ハ上下ノ努力セザルベカ

ラザル點デアアル、此ノ際ニ於テ先程申上ゲマシタ通りニ、農民ノ心理ニ大打撃ヲ與ヘルヤウナ斯クノ如キ規定ヲ殊更ニ茲ニ掲ゲルト云フコトハ毫モ法案全體ノ性質ニハ影響ノナイモノデアアルニ拘ラズ、斯様ナ重大ナ米穀統制法變更ノ趣旨ヲ正面ニ見ラレルヤウナ規定ヲ置クト云フコトハ、現代ニ於テ殊ニ無益ニシテ且有害デアルト云フコト迄私ハ強ク考ヘルノデアリマス、況ヤ此ノ法ノ全體カラ見マスレバ、市場外ニ於ケル米穀ノ取引ヲ絶對ニ禁止シテ居ラスノデアリマスルカラ、市場外取引ノ關係ニ於テハ此ノ第七條ノ規定ハ完全ニ行ハレナイ、從ッテ折角政府ニ於テ米價ヲ統制シヨウト云フ御考ガアツテモ、市場外取引ヲ禁ゼザル結果是ハ完全ニハ行ハレナイ、即チ統制ハ完全デナイト云フ結論ニナルノヂヤナイカト思フ、勿論市場員ガ取引スルノハ市場内ニ限ルノデアアルガ、市場員ニ非ザル者ガ市場外ニ於テ賣買スルト云フコトハ一向差支ナイコトニナツテ居ル、サウシマスレバ、此ノ七條ト云フモノハ畢竟市場内ニ於ケル取引ニ限ッテ斯クノ如キ制限ヲ受ケルノデアアル、サウスレバ市場内ト市場外トニ依ッテ取引價額ハ自ラ相違ガアツテ、茲ニ混亂ガ生ズル虞ガアル、斯様ナ不徹底ニシテ且農民心理ニ

大打撃ヲ與ヘルヤウナ規定ヲ置カナケレバナラナカッタト云フコトガ私ニ了解ガ出來ナイノデアリマス、只今ノ御説明デ未ダ私ハ十分ニ分リマセスケレドモ、最後ニ申上ゲタ、市場ノ内外ニ依ッテ價格ニ差ガ生ズルノデハナイカト云フ私ノ御尋ネニ對シテ、一ツ今一度御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(周東英雄君) 御答ヲ申上ゲマス、此ノ點ハ大體普通ノ米穀ニ付キマシテ、普通ノ需給ノ狀況ニアリマス場合ニ於キマシテハ、現在ノ制度ニ於キマシテ政府ニ於キマシテ最高最低ノ價格ガ決メラレ、市場ニ於キマシテ或ハ最高價格ヲ上廻ラムトスル場合ニ於キマシテハ、常ニ政府ハ申込ニ依ッテ最高價格ニ依ッテ拂ヒ下ゲル、ソコニ價格ノ上ニ準作用ガ行ハレル譯デアリマス、併シ御話ノヤウニ現在ニ於キマシテハ實際ノ取引ニ於キマシテ、或ハ市場ガ假需要、假思惑ト云フヤウナ關係デ動キマスレバ、必ズシモ此ノ最高價格ト云フモノハ、法的ニ最高價格以上ノ取引ヲ禁ジテ居リマセヌ爲ニ、サウ云フ方面ニ動キ易イト云フ狀況ニ現在アル譯デアリマス、從ヒマシテ今後ノ米穀ノ政策ニ對處致シマシテ、最モ考ヘナケレバナラス點ガ此ノ米價ノ問題デアリマシテ、一面ニ於キマシテソレ等ニ對

シマシテ萬全ヲ期スル爲ニ、種々増産ノ計畫ハ立テテ供給ノ數量ノ確保ニハ努メテ居ル譯デアリマスルケレドモ、若シモソレ等ノ點ニ付テ萬一ノ違算等ガアリマシタリ、或ハ天候ノ關係ニ依リマシテ不都合ガ生ジマシタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、可ナリ此處ニ價格ニ付テノ變動ガ想像サレルノデアリマス、斯カル場合ニ於キマシテ、寧ろ是ハ現在ノ事實ノ上ニ於テ最高價格ヲ出ナイト云フヤウナ狀況ニアルノヲ、斯カル場合ニ於キマシテハ法的ニソレ以上ノ取引ヲ禁ズルヤウナ根據ヲ設ケマシテ、サウシテ今後ニ於ケル米穀市場ノ變化ニ備ヘテ置クコトガ必要デアアル、斯ウ云フ風ナ意味合ヲ以チマシテ第七條ノ規定ガ置カレタ譯デアリマシテ、何處迄モ現在ノ事實上最高價格以上ノ取引ガナサレテ居ラナイト云フ實情ヲ、法的ニ根據ヲ置イテ、最高價格以上ノ取引ヲ禁ズルト云フ法的根據ヲ置キ、今後ノ米穀事情ニ備ヘテ譯デアリマス

○内田重成君 只今御説明ノヤウナ御趣意デアアルナラバ、市場員ニアラザル者ガ市場外ニ於テ取引スル場合ニモ、之ヲ一般的ニ公定價格以外ニ於テノ取引ヲ禁ズルト云フ迄ノ、規定ヲ爲ス勇氣ガ何故出ナカッタモデアリマスカ

○政府委員(周東英雄君) 御答ヲ申シマス、

此ノ點ハ先日モ申上ゲタヤウニ、市場ヘノ米ヲ集中ト云フコトヲ先ヅ考ヘテ居リマスノデ、現在内地ノ各府縣ノ管外移出米ノ相當數量、竝ニ朝鮮臺灣等ノ米ニ付キマシテハ、其ノ大部分ヲ市場ニ依ル取引ニ致サセラルヤウナ仕組ニナツテ居リマスノデ、ソレ等ノ米ヲ主モナル數量、相當數量ニ付キマシテ市場ニ依ル取引ヲ致サセルコトニ依リマシテ、ソレ等ノ價格ノ公正ト云フコトガ、市場外ニ於ケル價格ヲ指導スルコトニナルト考ヘルノデアリマスガ、大體先ヅ第一番ニ於キマシテハ市場ニ於ケル取引價格ト云フモノニ付テノ制限ヲ致シ、ソレニ依ッテ場外ヲ指導サセルト云フ建前ニ立テクノデアリマス、併シナガラ場合ニ依リマシテ非常ニ場外ノ取引ガ亂調子ニナリマシテ、折角ノ第七條ヲ設ケマシタ趣旨ガ徹底セズ、又非常ニ斯様ナ場合ニ於キマシテハ、米穀市場ノ變化ノアツタ場合ト想像致サレマスガ、左様ナ場合ニ於テノ價格ノ統制ト云フコトガ徹底的ニ行ハレズ、弊害ガ非常ニ見ラレルト云フ場合ニ於キマシテハ、本法ノ第四條等ニ依リマシテ、市場外ノ取引ニ付キマシテモ價格ヲ定メテ、ソレニ依ル取引ヲサセラルヤウナ第二段ノ手段ヲ考ヘテ行キタイト

斯様ニ考ヘテ居リマス

○内田重成君 其ノ問題ハソレデ措キマシ

テ、商工當局ガ若シ御出席デアリマスルナラバ、ドウカ御聞キ置キヲ願ヒタイ、又是カラ以後農林當局ニ御尋ネ致スコトハ、後日商工大臣ニモ御尋ヲ致シタイト思フ、關聯事項ガアリマス、一昨、日米取引所廢止ニ關シテ、損害補償ノ規定ナカリシコトニ付キマシテ御尋ヲ致シテ、大臣ノ御答ヲ得タノデアリマスルガ、私ノ御尋ネ致シタノハ立憲政治ノ下ニ於テハ、假令法律ヲ以テスルモ正義公正ノ觀念ニ反シテ、不當ニ一部ノ國民ノ既得ノ權益ヲ害スルコトヲ致サナイト云フコトハ、廣ク認メラレタ立法的原則デアリマス、所謂公法上ノ損失補償ノ規定デアリマシテ、産業法規其ノ他ニ多數ノ實例ガアルノデアリマス、ソレヲ現代ノ一般經濟統制ノ政治的結果ト混同ヲシテ、無補償ノ主義ヲ採ツタノハ、從來ノ我が國ニ於ケル立法的原则ヲ破壞シタ、重大事例ニ是ハナルノデアリマス、斯クノ如キ建前ハ既得ノ權益ヲ尊重スルト云フ、我が立憲治下ニ於テ、果シテ適當デアアルカト云フ點ニ付テ、御尋ヲ致シタノデアリマス、之ニ對スル大臣ノ御答辯ハ私ハ未ダ理論トシテ首肯ハ出來ナイノデアリマス、併シナ

ガラ色々御説明ヲ承リ又本法ヲ調ベテ見マスレバ、又此ノ本法案ニ依ッテ生ズル勅令ノ規定ノ御豫定ヲ見マスレバ、現取引所廢止ニ依ル損害補償ニ付テ、其ノ救済ニ於テ、實質的ニハ相當ニ御考慮ニ相成ッテ居

ル點ガ認メラル、ノデアアル、ソレデ全然是迄ノ立法的原则ガ破壞サレテ、既得ノ權益ニ付テ何等ノ考慮ガ拂ハレナカッタモノデアルトハ言ハレナイ點ガアリマスルノデ、私ハ此ノ公法上ノ損害補償ノ規定ヲ設クベシト云フ純理論ハ此ノ際主張スルコトヲ見合セマスルガ、併シナガラ之ニ代ルベキ方法トシテ、又其ノ趣旨ニ於テ成ルベク現米穀取引所及ビ使用人、取引員ノ犧牲ヲ緩和シテヤルト云フ筋合ノ下ニ於テ、將來勅令等ガ規定サルベキモノデアルト云フコトニ了解ヲ致シマシテ、是ヨリ以下ニ二三ノ點ヲ御尋ネ致スノデアリマス、其ノ第一點ハ、法案ノ第六條ニ依リマスルト、米穀市場ノ賣買取引ハ差金ノ授受ニ依リ其ノ決済ヲ爲スコトヲ禁ズル、併シナガラ履行期ニ於ケル決済ニシテ勅令ヲ以テ定メルモノニ付テハ此ノ限りニ在ラズト云フ第一項ノ規定ガアツテ、其ノ勅令事項ノ豫定ニ於テハ未著物取引及ビ延取引ニ限ッテ之ヲ許スト云フ御豫定ニ相成ッテ居ルノデアリマス、一昨日モ

瀧川、松村、中島各位カラ清算取引ノ必ズシモ排斥スベキモノデナイト云フコトニ付テノ御意見ノ開陳ガアツタ、私モ矢張り同様ニ感ズル者ノ一人デアアル、非常ニ此ノ清算取引ヲ弊害アリ、且惡質ノモノデアラルノデ

ニ考ヘルノハ間違ッテ居ルト思ッテ居ルノデアリマス、況ヤ此ノ延取引ノ如キモノハ、是ハ取引上ノ圓滑ヲ期スル上カラ考ヘマシテモ、當然廣ク是ハ許サレテ宜シイモノト考ヘル、然ルニ先般來衆議院ニ於テハ相當此ノ點ニ付テ強硬ナル反對ノ意見ヲ述ベラレテ居ル方モアルヤウデアリマス、將來政府ハ從來取引所ノアリマシタ所ニ設ケラルル各米穀市場ニハ此ノ延取引ハ御許ニ相成ルモノデアルト云フコトニ私ハ了解シタイトデアリマス、デ是ハ從來ノ取引所ヲ閉鎖サル、爲ニ生ズル其ノ地方ノ及ビソレノ取引員竝ニ其ノ從業員等ノ苦境犧牲ヲ緩和スル一ツノ方法トモ相成ルノデアアルカラ、是ハ立法的ニ補償制度ヲ置カナイ代リニ犧牲緩和ノ一ツノ手段トシテモ此ノ延取引ハ廣ク從來ノ各取引所所在地ノ市場ニハ許サル、ノガ相當デアルト云フコトニ考ヘマスガ、政府ノ此ノ點ニ對スル御方針ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、御差支ナキ限り御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(松村謙三君) 只今ノ延取引ノ

御話デゴザイマスガ、實ハ政府ト致シマシテハ、延取引ハ大キナ集散ノ市場ニ限リテヤリタイト云フコトハ商工省モ農林省モ大體其ノ方針デアッタノデゴザイマス、勿論其ノ趣旨ニ依リマシテ幾ツニ限ルト云フ譯デアリマセヌケレドモ、全部ノ市場ニ之ヲ附ケルト云フ考ハ勿論ナカッタノデアリマスガ、衆議院ニ於テモ其ノ點ガ折角投機ヲ抑制スルト云フコトデアレバ、延取引ノ數ハ出來得ル限り少クシタ方ガ宜シイト云フ意見モアリマスルシ、隨テ此ノ點ノ質問ニ關シマシテハ東京、大阪ヲ例示致シマシテ、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ、此ノ趣旨ニ依リマシテ十分考慮ヲ致シタイト申述ベテ置イタ譯デアリマス、是ガ只今政府ト致シマシテ考ヘテ居リマス所デゴザイマス

○内田重成君 此ノ法案ノ五十六條ニ關シマスル勅令案ノ第一項ノ勅令事項トシテ「日本米穀株式會社ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ米穀ヲ賣買取引スル取引所又ハ正米市場開設者ガ本法公布ノ際現ニ所有スル土地建物其ノ他ノ設備ヲ其ノ申込ニ應ジ買取ルモノトス」ト云フ規定ノ、此ノ勅令事項ノ内ニ買取ノ價格ハ時價、建設價格及利用價值ヲ參酌シテ之ヲ定ムルモノトスルコト

ト云フコトガ規定シテアリマス、此ノ利用價值ト云フ意味ハ考ヘヤウニ依リマシテ如何ヤウニモ考ヘラル、ノデアリマス、非常ニ廣ク解シマスレバ無形ナル價值モ利用價值デアアル、即チ其ノ市場ノ所在地ノ關係等モ利用價值デアルト云フ風ニモ考ヘラル、ノデアリマス、此ノ範圍ハ何レ米穀取引事業審議委員會ノ議ヲ經ルト云フコトニナツテ居ルノデアアル、審議委員會デ決議サル、コトデアリマスルガ、其ノ範圍ノ定メ方ニ依ツテ現在ノ取引所ノ利害ガ非常ニ違フノデアリマス、其ノ利用價值ト云フモノノ解釋竝ニ程度ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(松村謙三君) 御話ノ通り此ノ土地、建物ヲ新會社デ利用スル物件ノ賣買ノ標準ヲ建物ノ價格時價及ビ利用價值ヲ之ヲ綜合致シマシテ、公正ニ買上ゲタイト存ズルノデアリマスガ、其ノ利用價值ト申シマスコトハ、御話ノ其ノ權利等ヲ含ムヤウナ廣範圍ノ意味ニハ考ヘテ居リマセヌノデアリマスシテ、大體新ラシイ會社ガ其ノ市場建設物ヲ利用致シマシテ、ソレカラ來ル價值ヲ考ヘルト云フヤウナ程度デアリマシテ、ソレハ審議會ニ於キマシテ其ノ間ニ時價及ビ建設費ト睨ミ合セテ、其ノ間ニ適正ナ價格ヲ決メテ戴ク、斯ウ云フヤウナ仕組

ニ致シテ居ル譯デゴザイマス、從ヒマシテ利用價值ト申シマス、ソレハ今申シタヤウナ譯デ大體ハ新ラシイ會社ガソレヲ利用スル時ノ價值ヲ目標ト致シテ考ヘマシタノデアリマスガ、其ノ斟酌ハ審議會ニ御委セテ致シタイト斯ウ云フ風ニ存ジテ居リマス

○内田重成君 只今ノ五十六條ノ勅令事項ノ中ニ、米穀取引所ノ使用人及ビ取引員ノ措置ニ關スルコトガアリマスルガ、取引員ノ使用人ト云フモノハ何等之ニ考慮サレテ居ラスノデアリマス、何レ此ノ法施行ノ曉ニ於テハ取引員ハ廢業ヲ餘儀ナクサル、モノモ生ジテ來ラデアラウ、場合ニ依ツテハ各種ノ經濟上ノ破綻ヲ生ジ、破産ニ瀕スルヤウナ者、餘儀ナク閉店ヲシナケレバナラヌヤウナ者多數色々ナ者ガ生ジテ來ルト思ハル、從ツテ此ノ取引員ノ從業員ノ如キ者ガ失業ラスルト云フ場合ガ相當多數ニ生ズルト豫測サル、ノデアアル、此ノ取引員ノ從業員ニ對スル救済ハ是ハ取引員ガ自分ノ使用人デアルト云フ理由デ斯ウ云フ法律結果、餘儀ナクサレタ失業ニ對シテ何等ノ救済ヲ受ケズニ悉ク其ノ取引員ガ負擔ヲシテ其ノ措置ヲセナケレバナラヌト云フ破目ニ陥ル譯デアリマス、是等ニ對シテ何等ノ考慮ヲ拂ハナイト云フコトハ餘リ無慈悲ヂヤナイ

カト思ハル、サウ云フ點ニ付キマシテハ是ハドウ云フ御詮議ノ下ニ斯様ニ制限サレテ居ルカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(松村謙三君) 御尤ノコトデゴザイマシテ、出來得ルナラバソレ等ノ方面迄モ此ノ法ニ依ツテ救フコトガ出來マシラバト存ジマスガ、併シナガラ今日ノ他ノ犧牲產業ニ於ケル從業員ナドノ鈞合カラ考ヘマシテ、取引員迄ハ是ハ取引所ノ關係モ直接デアリマスノデ、低利資金其ノ他ニ依ツテ出來得ル限りノ心配ヲ致シマスガ、其ノ從業員迄ガ政府ノ手デ救済ラスルト云フコトハ非常ニ今日ノ場合ニ於テハ困難ナコトデゴザイマシテ、從ヒマシテ出來得ル限り現在ノ清算取引員ヲ正米市場ノ取引員ニ低利資金其ノ他ノ方法ヲ以テ吸收シマシテ、ソシテ取引員ガ使ツテ居リマス從業員モソレハ使ヒ得ルト云フコトニ致シテ行キ、又指導シテ行キタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、其ノ上尙且失業者ガ出來マス、ソレハ一般ノ他ノ失業者ト共ニ厚生省ノ失業對策ノ手ニ依ツテ色々心配ヲ願フト云フコトヨリドウモ致シ方ガアリマセヌノデ、斯ウ云フコトニ致シタ譯デアリマス

○内田重成君 只今ノ五十六條ノ二項ノ勅

令事項中、第三トシテ「日本米穀株式會社ハ本條第二項ニ掲グル取引員ニシテ正米ノ賣買ヲ業ト爲サザリシモノニ對シ開業又ハ轉業ニ要スル資金ノ融通ヲ爲スコトヲ得ルモノトスルコト」斯ウ云フ規定ガアリマス、之ニ依ツテ正米ノ賣買ヲ業ト爲サザリシモノガ新タニ業ヲ開クトカ又ハ連モ慣レヌ仕事デアルルカラト云フノデ他ノ業ニ轉ズルト云フ場合ニ資金ヲ融通サレル、誠ニ是ハ結構ナコトデアリマスルガ、其ノ融通ノ限度ヤ及ビ條件等ガ若シ餘リニ低カクツリ又ハ苛酷デアツタラバ、爲サザルニ等シキモノデアルノデアリマス、是ハドウ云フ程度デアドウ云フ條件デ此ノ融資ガ出來ルモノデアリマスカ、御見込ガ既ニ御アリデアルト考ヘルノデアリマス、一ツ其ノ點ヲ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(松村謙三君) 其ノ點ハ我々ノ考ヘテ居リマスノハ、勿論其ノ低利資金ハ國カラ廻スノデゴザイマセヌデ、會社カラ各地方ノ市場員ノ方ヘ廻ス譯デゴザイマス、從ヒマシテソレモ委員會ヲ設ケマシテ、其ノ委員會ニ於テ、例ヘバ東京ノ取引員ノ數ハ是ダケダカラはダケ、大阪ハ幾ラ、岡山ハ幾ラト、斯ウ云フ風ニ割當テマス、割當テマスト、ソレヲ其ノ市場ノ市場員ガ一ツ

ノ組合ヲ拵ヘマシテ、其處ニ於テ自治的ニ適當ニ額ヲ決メテ分配ヲシテ、共同ノ責任ニ於テソレヲオ互ヒニ分ケ、又回收ヲ圖ル、ソレ等ノモノガ自治的ニ決シナイ場合ニ於テハ、會社モ世話ヲシテソレ等ヲ指導シテ、遺憾ナキヲ期スル、斯ウ云フヤウナ方法ニ致サウト考ヘテ居ルノデゴザイマス、但シソレニ付キマシテモ、出來得ル限り低利デ、出來得ル限り長イ期間ヲ必要ト致シマスカラ、左様ニ致シタイト存ジテ居ル譯デゴザイマス

○内田重成君 只今ノ御話ニ依リマスト、此ノ項目ハ甚ダ不安ナ項目ノ如ク感ゼラル、ノデアリマス、米穀株式會社ノ仕事トシテヤルト云フコトデアリマスルナラバ、是ハ米穀株式會社ガ自分ノ經濟的ニ出來ル仕事ノ範圍ニ於テシカヤレナイコトニナリマス、多數ノ轉業者若シハ廢業者ガアリマシタ場合ニハ、其ノ要望スル融通ハ出來ナイモノデヤナイカト思ハル、殊ニ此ノ米穀株式會社專業目論見書ノ中ニハ、サウ云フ金額ハ見積ツテ居ナイ、是ハドウ云フ所カラ米穀株式會社ガ融資スルコトニナリマスカ、或ハ政府ノ金デモ米穀株式會社ガ借り受ケテ、ソレヲ融資スルト云フコトニデモナリマスノデアリマスカ

○政府委員(松村謙三君) ソレハ第一次ニハ會社ノ資金ヲ以テ之ニ當テタイト思ヒマス、即チ此ノ豫算ノ中デ準備金及ビ運轉資金ト書イテゴザイマスガ、サウ云フヤウナ方カラ捻出致シタイト思ヒマス、但シ其ノ會社ノ自己資金デ足りマセヌ分ガアリマスタラバ、ソレハ大藏省ノ低利資金ヲ融通ニ出來テ居ルノデゴザイマス

○内田重成君 サウシマスト、大藏省ノ低利資金ノ利率及ビ條件ノ範圍ニ止ルモノデ、ソレ以上ノ特別ノ是ハ恩惠ハナイモノノヤウニ考ヘマスガ、矢張りサウ考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(松村謙三君) 大藏省ノ方デモ出來得ル限り低利ニハ御願ヒ致シマスケレドモ、其ノ點ハ只今ノ御話ノ通りデアリマス、併シナガラ會社ノ自己資金モソレニ加リマスコトデアリマスカラ、ソレヲ併セテ考ヘマシテ、出來得ル限りノ低利ニ致シタイトス様ニ存ジテ居リマス

○内田重成君 私ガ是迄項目ヲ擧ゲテ御尋ネ致シマシタコトハ、最初申上ゲタ立法上ノ原則、即チ既得ノ權益ヲ法律ヲ以テ侵害スル場合、公法上ノ補償ヲ爲スト云フ從來ノ法令ヲ破壊セヌヤウ、此ノ立法ノ實質上

ノ緩和方法トシテ出來ル限りノ救済ヲ爲スベシト云フ見地カラ、只今迄御伺ヒシタ譯デアリマス、デ政府ハ、法案ノ中竝ニ勅令ヲ以テ、取引所竝ニ取引員ノ窮境ヲ救済シテヤルト云フ御考ノ下ニ、出來ル限りノ救済ヲ御與ヘナサルト云フコトハ、將來斯クノ如キ立法ヲ斯様ニ公法上ノ故障ナシニシタト云フコトノ言譯ニモナルモノデアルト考ヘルノデアリマスガ、其ノ爲ニ私ハ細カイ點迄御尋ネ致シタ譯デアリマス、何卒其ノ點ニ付テノ御考慮ヲ御願フ致シマシテ、一應農林當局ニ對スル御尋ヲ止メテ置キマス、又後日商工大臣ニ付キマシテ、元來此ノ取引所ハ商工省ノ管轄デアル、ソレガ本法ニ依ツテ農林省ニ移ル譯デス、只今迄私ノ御尋ネ致シタ點ハ、是迄長イ間自分ノ管轄ノ下ニ置カレタ商工省トシテハ當然今度ノ取引所ノ廢止ニ依ツテ、取引所關係者ガ被ル打撃ニ付テハ十二分ノ御考ガアツタコトデアル、既ニ新聞等ニモ御盡力ニ相成ツテ居ルコトガ出テ居リマスノデ、能ク了知ヲシテ居リマスルガ、ソレニ關聯シテ尙御尋ネ致シタイトガアリマスノデ、後日大臣御出席ノ際ニ御尋ネスルコトニ致シマシテ、本日ハ之ニ止メテ置キマス

○山上岩二君 一昨日清算取引ノコトニ付キマシテ御尋ヲ致シ、又農林大臣ノ御話モ

承リマシテ、能ク了解致シマシタ、延取引  
 が價格ヲ整調スルモノデアルト仰シヤツタ、  
 正ニサウデアラウト考ヘマス、鐘淵紡績ノ  
 新株式ヲ五十株賣ラウト致シマシタ、安  
 イ、ドウ云フモノカト思ツタラ、君ガ賣ラウ  
 ト言フカラ安イノダ、ソレガ嫌ナラ短期清  
 算取引ニ賣ッテ呉レト斯ウ申シマス、ソレニ  
 賣リマスト、適當ニ賣レマス、矢張り轉賣買  
 戻ヲ同一ノ市場ニ於テ許ス所ノ延市場ガナ  
 ケレバ、適正ナル價格ハ出來ナイモノト考ヘ  
 マス、又賣買ノ主流ガ其ノ市場ニ在ルノダ  
 ト斯ウ云フヤウニ御説明ニナツタ、其ノ市場  
 ニ賣買ノ主流ヲ包容セシメ、其ノ市場ヲシ  
 テ權威アルモノトスルニハ、矢張り本案ノ  
 延取引ガナケレバナラスノデハナイカト考  
 ヘマス、市場ハ權威アルト云フコトハ又賣  
 買ノ主流ガ其ノ市場ニアル、市場内外ノ賣  
 買ノ關係、其ノ他本法案ノ運用セラル、眼  
 目デアラウト考ヘマス、米ノ相場ガ一本ニ  
 決メラレレルノナラ兎モ角モ、相當ノ値幅ガ  
 アル以上、必ず投機取引ハ行ハレマス、又  
 相當行ハナケレバナラスモノト考ヘマス、  
 從來ハ主トシテ相場ノ高値ガ商品ヲ呼ンデ  
 居リマス安イ所カラ高イ所ニ移動スルニモ  
 拘ラズ、産地高消費地安ト云フヤウナコト  
 モ出テ來ル、甚ダ不自然ナコトデゴザイマ

ス、ソレ等ヲ極端ニ走ラセナイノハ從來ノ  
 清算取引ノ働キデアッタト考ヘマス、ト云フ  
 風ナ事柄モ延取引ハ、生産取引ハ……本案  
 ノ延取引ハ一種ノ清算取引ト考ヘマスガ、  
 圓滑ナル配給ニ餘程役立ッテ居ルノデアリ  
 マス、デアリマスカラ、此ノ法案ノ目的ト  
 サル、所ノ米穀ノ圓滑ナル配給、適正ナル  
 價格ノ構成ト云フコトハ一懸ッテ市場ガ  
 働キアル市場デアるか否ヤデアルト思ヒマ  
 ス、働キアル市場ト云フノハ、延取引ヲ許  
 ス市場デアケレバナラスト思ヒマス、各地  
 ニ市場ガ設ケラレレルノデアリマスカ各地各  
 同様ノ事情ニアルト考ヘマス、其ノ地方ノ  
 或一定ノ區域ノ米ヲ主眼ニシテ居ル特別ノ  
 事情ヲ以テ存在シテ居ル市場デアリマス、  
 曩ニ内田委員カラ取引所取引員ノ賠償問題  
 ニ絡ンデ延取引ヲ各市場ニ許シタラドウカ  
 ト云フ御話ガアリマシタガ、私ハ各市場ヲ  
 權威アルモノ、働キアル市場タラシムルガ  
 爲ニハ、各市場ニ延取引ヲ許サルベキモノ  
 ダト考ヘルノデアリマス、大臣ハドウ云フ  
 御見込デゴザイマセウカ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 從來ノ清算取引  
 ガ米ノ調整ニ對シテ相當ナ働キヲ致シテ  
 居ッタト云フコトニ付キマシテハ、先程申上  
 ゲマシタ通りデアリマス、此ノ度清算取引  
 ヲ廢止致シマシタノハ、實際ノ實績、其ノ  
 他ニ徴シマシテ、投機取引ガ主トナッテ居ル  
 ト云フ風ナ感じガ致シマスノデ之ヲ廢スル  
 コトガ實米ヲ主トシテ取引スルニ於テ適  
 當デアアル、斯様ニ考ヘタ譯デアリマス、延  
 取引ハ少シク性質ガ變ッテ居ルノデアリマシ  
 テ、普通ノ清算取引ノ如ク格附デ一本ノ値  
 段ヲ基礎トシテ取引ヲ致サズシテ、即チ銘柄  
 別若シクハ組ミ合セ銘柄別デアリマシテ致スコ  
 トニナルノデアリマシテ、實際ノ實米ヲ主  
 トシテ取引ヲ致スコトニナッテ居ルノデア  
 リマシテ、所謂投機の意味ガナクナッテ而  
 シテ實際ノ米ノ正確ナル價格ノ調整ヲ致ス  
 働キヲナスモノト、斯様ニ考ヘテ居リマス、  
 唯延取引ヲ全面的ニ之ヲ致サセルヨリカ、  
 或ハ非常ナル米ノ集散地ニ於テ致サセルガ  
 宜イカト云フコトニ付キマシテハ、取扱數  
 量ノ極メテ小サイ其ノ地方々々デアッテ居  
 リマス處ニ迄延取引ヲ許スト云フコトハ是  
 ハ如何デアるかト考ヘルノデアリマス、即  
 チ未著物取引ト云フ制度ガアリマスルノデ、  
 十五日間、或ハ多少其ノ期間ハ變更サレル  
 カモ知レマセスガ、兎ニモ角ニモ相當ノ期  
 間ヲ經テ後ニ於テ賣渡ノ爲シ得ル未著物取  
 引ト云フモノヲ設ケ得ルコトニナッテ居ル  
 ノデアリマシテ、比較的多クナイ米ノ生産

地ガ未著物取引デ間ニ合フノデナカラウカ、  
 サウシテ大キナ集散地、即チ長期ニ互ッテ集  
 散スル所ニハ延取引ヲ許ス斯ウ云フ見地  
 カラ主要ナル市場ニ於テ延取引ヲ許ス、他  
 ハ未著物取引デアッテ行キタイ、斯様ニ考ヘ  
 テ居ルヤウナ譯デアリマスガ、是等ハ何レ  
 専門ノ委員會ヲ組織致シマシテ委員會ニ於  
 テ篤ト御協議ヲ願ッテサウシテ其ノ結果ニ  
 依ッテ決定致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデ  
 アリマス

○瀧川儀作君 此ノ法案ガ通過致シマシタ  
 後ニ米穀會社ナルモノハ無論農林省ノ管轄  
 デアリマスガ、此ノ取引所ニ屬スルヤウナ  
 モノノ管轄ハドウナリマスノデアリマスカ、  
 商工省ノ方ニ移ルノデアリマスカ、共管ニ  
 デモナルノデアリマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 本法案ハ特別ナ  
 從來農林省デア取扱ッテ居リマス所ノ事柄ハ  
 是ハ別デアリマスケレドモ、大體ノ事柄ハ  
 農林、商工兩省ノ管轄ニナッテ居リマス

○瀧川儀作君 モウ一ツ伺ッテ置キタイノ  
 デスガ、此ノ法案ガ提出サレテ以來米穀商  
 ト言ヒマスカ、ト云フノモアレバ、白米商  
 組合、有ラユル團體カラ産業組合方面ト對  
 立スルヤウナ形ニ於テ猛烈ナ反對運動ガ參  
 ルノデアリマス、無論當局ヘモ書類ガ參ッテ

居リマセウガ、ソレ等ニ付テノ緩和策ハド  
ウ云フ風ニ御考ヘニナッテイラシヤルノデ  
スカ、之ヲ伺ッテ置キマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 實ハ此ノ配給統  
制案ト云フモノヲ提案ヲ致シマス以前、即  
チ昨年ノ暮ニ米穀會社法案ト云フモノガ農  
林省ノ米穀配給新機構委員會ト云フ委員會  
ニ掛ケラレマシテ、其ノ案ガ世間ニ漏レマ  
シテ、其ノ案ガ標準目標トナッテ可ナリ各方  
面ニ只今御話ノヤウナ風ナ議論ガ出タノデ  
アリマス、私就任ノ後ニ於テ是等ノ商人ノ  
方々ニモ何遍トナク御目ニ掛ッタノデアリ  
マス、又取引所關係ノ方ニモ多數御目ニ掛  
リマシタ、サウシテ其ノ反對ヲセラル、要  
點ハ、本案ニアラズシテ、元ノ米穀會社法  
案ヲ主トシテ反對ニナッタノデアリマスガ、  
併シ此ノ法案ト共通ノ點ニ付テ考ヘテ見マ  
スト、産業組合ノ販賣組合ガ此ノ市場ノ市  
場員ニナルト云フコトガイケナイ、先ヅ之  
ガ主ナル反對ノ要點デアリマス、他ニハ  
殆ド私取上ゲテ之ヲ論ズル程ノ問題ハナイ  
ヤウデアリマス、即チ生産者カラ米ヲ委託  
サレテ、委託サレタ米ヲ直カニ持ッテ來ル産  
業組合ノ販賣組合ガ市場員ニナルト云フコ  
トハ、自分等ノ商賣ヲ奪ハレルモノダ、斯  
ウ云フ風ナ議論デアリマス、併シ私ガ非常

ニ研究致シマシタ結果ニ付テ申上ゲマス  
ト、現在デモ販賣組合ハ市場員ヲ通シテ市  
場ニ米ヲ賣ッテ居ルノデアリマス、又市場  
員ニモ米ヲ賣ッテ居ルノデアリマス、米穀  
商人ハモ賣ッテ居ルノデアリマス、デ從ヒ  
マシテ茲ニ一例ヲ申上ゲマスナラバ、此ノ  
販賣組合ガ若シ市場員ノ一人ト相提携シマ  
スカ、相連絡シマシテ、市場員ニ市場デ米  
ヲ賣ラウトシマスナラバ、今日デモ自由自  
在ニ出來ルノデアリマス、併シ若シ左様ナ  
ル場合ニ於テハ是ハ固ヨリ違法デアリマス  
ケレドモ、賣モ買モ何デモ自由ニ出來マ  
ス、併シ之ヲ裏ニ居ルモノヲ表ニ出シテ市  
場員ニシテ、サウシテ組合本來ノ目的デア  
ル所ノ賣一方、即チ農民カラ委託サレテ居  
ルノデアリマスルカラ、之ヲ賣一方ノ市場  
員ト致シマシテ、之ヲ市場ニ入レテ、サウ  
シテ相當ナル監督ヲ致シテ、別々ニ販賣  
セシムルトカ、或ハ其ノ他適正ナル監督  
取締ヲ致ス方ガ、他ノ米穀商ニ對シテモ  
決シテ惡影響ヲ與ヘルモノデハナイ、又公  
正ナル米價ヲ決メル上ニ於テモ、是ガ爲ニ  
非常ナル惡影響ヲ及スモノデハナイ、斯様  
ニ考ヘマスト同時ニ、此ノ市場ガ出來マ  
スレバ從來清算取引、延取引其ノ他ノ市場  
デ取扱ヒマシタ米穀ガ、總テ此ノ市場ニ集

マルノデアリマスカラシテ、從來ト違ッテ非  
常ナ擴大サレタ取引ガ行ハレルコトナリ  
マス、又市場外デ行ハレテ居リマシタ所ノ  
賣買モ亦此ノ市場ニ移ッテ參リマス、又將來  
臺灣米ガ移入ヲサレマスト云フト、其ノ臺  
灣米モ此ノ市場ニ入ッテ參リマス、又朝鮮米  
ノ關係モ此ノ市場員ヲ通スト云フトニ相  
成ルコトト思ヒマス、故ニ非常ニ其ノ點ニ  
於テ取引サレル所ノ商賣ガ擴大サレルノデ  
アリマシテ、假ニ幾分販賣組合ノ取扱ヒマ  
ス所ノ米穀ガ多クナルト假定致シマシテモ、  
私ハ米穀商ノ取扱ヒマス數量ガ減ルトハ考  
ヘナイノデアリマス、殊ニ況ヤ現在ノ米穀  
商ノ諸君ハ年來ノ慣習ニ依ッテ網ノ如キ集  
貨機構ガ整ッテ居ルノデアリマシテ、此ノ人  
人ガ此ノ集貨機構ヲウマク利用致シマシテ、  
其ノ間ノ改善ヲ圖リマストナラバ、私ハ米  
穀商ノ方々ハ寧ロ繁榮ニ赴クヤウナコトニ、  
ヤリ方ニ依ッテハナルノデハナカラウカト  
ス様ニ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、此ノ結  
果ト致シマシテ、急激ナル變化ヲ起シテ米  
穀商ガ潰レルトカドウデアルトカ云フヤウ  
ナ事柄ハ私ハ起ラヌト思フ、萬々一ニサウ  
云フ事態ガ起ルト云フガ如キ事態ガアルト  
致シマスナラバ、ソレハ現狀ニ於テモ可ナ  
リ販賣組合ノ方ガ進出致シツ、アルノデア

リマスカラシテ、當業者ノ諸君ガ少シク  
改善ヲサレナケレバ、自然ニ自分ノ領域ヲ  
侵サレルノデアリマスルガ故ニ、此ノ點ニ  
付テハ米穀商人諸君ノ、一段ノ營業上ノ改  
善ヲ促進致シマスト同時ニ、又當局ニ於キ  
マシテモ常ニ十分ナル此ノ問題ニ對シマシ  
テ關心ヲ持ッテ、意外ナル不安ノ狀況ヲ起サ  
ザルヤウニ指導シテ行キタイト斯様ニ思ッ  
テ居ルヤウナ譯デアリマス

○瀧川儀作君 能ク分リマシタガ、其ノ御  
方針ガ十分決定シテナイヤウニ思ハレマス  
ノデ、此ノ機會ニ何等カノ手段ヲ以テ十分  
當業者ニ了解サセルコトニ努メラレムコト  
ヲ希望致スノデアリマスガ、是ト同時ニ米  
穀商等ハ商工省ノ管轄下デアリマス、折角  
局長ガ御見エニナッテ居リマスガ、商工當局  
ノ御意見モ此ノ際併セテ伺ッテ置キタイト  
思ヒマス

○政府委員(新倉利廣君) 米穀商ガ本法案  
ノ爲ニドウ云フヤウナ影響ヲ受ケルカト云  
フ點ニ付キマシテ、又米穀商ガドウ云フ意  
味デ反對シテ居ルカト云フコトニ付キマシ  
テハ、只今農林大臣カラモ御話ガゴザイマ  
シタ、米穀商ガ一番懸念シテ居リマスルノ  
ハ、只今農林大臣ノ仰セニナリマシタヤウ  
ニ所謂生産者團體ガ市場員トナッテ、其ノ市

場員トナルコトニ依リマシテ、米穀ノ取扱  
ガ生産者團體ノ方ニドシノ流レテ行ッテ、  
從ッテ米穀商ノ方デ取扱フ高ガ急ニ激減シテ  
行クト云フヤウナ風ニナリマス、ソレデ  
ナクテサヘ所謂中小ノ米穀商ト云フモノハ  
色々ナ事柄カラ相當苦シイ立場ニ在ル時ニ  
際シテ、今斯様ナ會社ガ出來テ、其ノ爲ニ  
非常ナ影響ヲ受ケルコト云フコトデハ困  
ルト云フコトガ一番重要ナ點デアリマス、  
尙米穀商方面ノ考ヘテ居リマスコトハ、  
從來ハ米穀商ト云フモノハ非常ニ區々ナ、組  
織ノ無イヤリ方ヲヤッテ參ッテ居ッタ、併  
シナガラ今日ニ於テハ所謂商業組合ト云フ  
ヤウナモノノ組織モ相當進ンデ參リマ  
シテ、既ニ全國ニ五百餘ノ組合モ出來テ居  
リ、尙目下頻リニ組織化ノ方向ニ進ンデ居  
ルノデアリマスカラ、米穀商ガ若シモ本當  
ニ組織ガ完備スルト云フコトニナレバ、所  
謂本會社ガヤルヤウナ仕事モ、米穀商ノ團體  
ニ於テヤルコトガ出來ルダラウ、即チ配給  
部門ハ米穀商ガ組織サレタモノトナッテ負  
擔スルト云フコトガ出ルモノデハナイカ、  
斯ウ云フヤウナ考ヲ申シテ居ルモノデアリ  
マス、寧ロ其ノ後段ノソレデハ、會社ヲ作  
ラズニ直グニ米穀商ノ團體ニ配給機構ヲ任  
セルノガ宜イカドウカト云フコトノ點ニ付

キマシテ色々議論ガアルト思ヒマス、ソレ  
ナラ今日ノ状態ニ於キマシテハ尙此ノ會社  
ニ依ラズニ、全然米穀商團體ニ任セルト云  
フコトハ又至當デナイト我々モ考ヘテ居リ  
マス、サウナリマスト前段ノ所謂生産者團  
體トノ關係ノ問題ニナリマスガ、此ノ點ニ  
付キマシテハ色々見方ノ相違ガアルノダラ  
ウト思ヒマス、今農林大臣ノ仰セラレマシ  
タヤウニサウ影響ハナイ、又ヤリ方如何ニ  
依ッテハ影響ガナイ、斯ウ云フ風ナ見方モア  
リマスシ、又米穀商ガ言ッテ居リマスヤウニ  
相當影響ガアル、從ッテ之ニ付テハ十分考ヘ  
テ欲シイ、斯ウ云フ見方ガアルト思ヒマ  
ス、唯ソレニ對シマシテハ漫然何等ノ措置  
ヲ講ゼナイヤウナ場合ニ相當影響ガアリハ  
シナイカト云フ虞モ無イコトハナイト云フ  
風ニ考ヘテ居リマスルガ、今般市場員ニ生  
産者團體ガナリマシタ際ニ於キマシテモ、  
若シモ非常ニ其ノ爲ニ兩者間ニ相剋摩擦ヲ  
起スト云フ虞ガ多分ニアリマスナラバ、其  
ノ際ニハサウ云フ相剋摩擦ガ起キナイヤウ  
ナ處置ヲ考ヘテ市場員トスルト云フ風ナ方  
法ガ必要デアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居  
リマス、要約致シマスレバ大體見透シデ殆  
ド相剋摩擦ガナイト云フ場合デゴザイマス  
レバ、ソレハ問題ゴザイマセヌケレドモ、

相剋摩擦ガ起ル虞ガアルト云フヤウナ情勢  
デゴザイマスレバ、ソレニ對スル豫メノ準  
備ト云フモノハ整ヘテ其ノ上デ生産者團體  
モ市場員ニスルト云フコトニ致シタイト、  
斯ウ思ヒマス  
○男爵中島久萬吉君 私モチヨットソレニ  
關聯シテ御尋ヲ致シマス、實ハ本法實施ニ  
伴ヒマシテ、産業組合ト商業團體トノ關係  
ニ付テハ非常ニ憂慮致シテ居ル一人デアリ  
マスルガ、是ダケハ事實ニナッテ出來ヤシ  
ナイカト思フ、從來商業組合團體ト致シマ  
シテバ、此ノ清算取引ノ下ニ於テ販賣ヲ致  
シテ居リマシテ、相當ニ産業組合ト商業團  
體トノ租稅負擔ノ相異ヲ緩和シテ參ッタ實  
情ガアルノデアリマス、處ガ今度清算取引  
ヲ極力制止サレルト云フコトニナリマスル  
ト、從來ノ米穀市場ニ占メテ居リマシタ産  
業組合ト商業團體トノ位置ガ全然顛倒シテ  
參リマシテ、米穀市場ニ於テ取扱致シテ居  
リマシタ米穀ノ割合ナドト云フモノガ、今  
日ト全ク正反對位ニナリハシナイカト思フ  
ノデアリマスガ、自然産業組合ト商業團體  
トノ相剋状態ガ激化サレヤシナイカト云フ  
ヤウナ點ニ付テ非常ニ心配致シテ居リマス  
ルガ、其ノ點ハ如何ノ御見込デゴザイマセ  
ウカ、チヨット御伺ヒ致シテ置キタイト思ヒ

マス  
○國務大臣(櫻内幸雄君) 今ノ中島男爵ノ  
ヤウナ議論ヲ致ス人モアリマスガ、只今申  
上ゲマス通り、今日ノ状態ト私ハ何等變ラ  
ナイト思フノデゴザイマス、唯販賣組合ガ  
直接ニ市場員ニナツタノト、或ハ自分ガ代理  
者ヲ市場員ニシタ場合ダケノ相異デゴザイ  
マシテ、現在ニ於テモ相當米穀取扱業者ニ  
賣ッテ居ルノデアリマシテ、其ノ状態ハ私ハ  
サウ非常ナ變化ハナイト考ヘマス、能ク世  
間デハ販賣組合ガ出レバ、モウ直グニソレ  
ガ産地カラ直接ニドシノ持ッテ來ル、斯ウ  
云フ風ナ意見ヲ致ス人ガアリマスケレドモ、  
ソレハ固ヨリ産業組合ハ所謂委託ヲ受ケテ  
賣ルノデアリマスルガ故ニ、現在デモ其ノ  
委託ヲ相當受ケテ居ルノデアリマシテ、殆  
ド二割ト云フ數字ニナッテ居リマスルガ、若  
シ世間ノ人々ノ惧レルガ如キコトデアリマ  
スレバ、今日迄ニモット非常ナル發達ヲ致シ  
テ居ルト思ヒマス、僅カニ市場ノ手数料ト  
云フモノハ一俵ニ對シテ二厘位ノモノデゴ  
ザイマスノデ、今デモソナラバ産業組合ノ  
方デ市場ヲ通シテ賣ラウト思ヘバ賣ルコト  
ガ出來ナイ譯ハナイノデアリマス、併シ此  
ノ度ノナンニ依リマスと云フト、之ニ對シ  
テ嚴重ナル監督ヲ付シテ居ルノデアリマシ



テ、決シテ是ガ市場ヲ攪亂スルトカ、ドウ  
スルトカト云フ風ナ状態ニハナラナイト斯  
様ニ思ヒマス、又今日現在ノ情況カラシテ  
見マシテモ、所謂商人側ハ網ノ目ノ如キ矢  
張り集荷機構ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、  
是ガ現在圓滿ニ集荷ヲ致シテ居ル、斯ウ云  
フ情況デアリマス、從ッテ此ノ市場ガ出來  
テ、市場ニナリマシタカラト云フテ、サウ市  
場ニ米穀取引業者ノ數ガ減ッテ、販賣組合ノ  
數ガ激増致スト云フ風ニハ相成ラヌト思フ、  
況ヤ今後ハ恐ラク此ノ集荷方面ニ於キマシ  
テモ、米穀業者ニ於テ、或ハ商業組合ヲ  
組織スルトカ、或ハ他ノ方法ヲ講ジマス  
カ、私ハ寧ろ商業組合ノ米穀商人ノ方ガ、  
發達スルト迄ハ行カナクテモ、非常ニ改善  
サレテ來テ此處ニ、生産團體ハ賣一方、消  
費者團體ハ買一方、其ノ間ニ賣モ買モ出來  
テ而モ一面ニ全國ニ互ッテノ集荷機構ヲ  
持ッテ居ル米穀商人、一面自ラ販賣スル機關  
ヲ持ッテ居ル米穀取扱業者、即チ兩方ニ手ヲ  
持ッテ居ル米穀取扱業者ト云フ者ハ、依然ト  
シテ私ハ其ノ間ニ相當ノ成績ヲ擧ゲルモノ  
ト斯様ニ信ジテ居ル譯デアリマス

○山上若二君 チョット關聯シテ私モ産業組  
合ト商業團體ノ相剋摩擦シテ居ルコトヲ敢  
テ聞クノデアリマス、米ニ付キマシテ商賣  
人ノ方ガ配給シテ居ル費用ガ少イ、産業組  
合ノ方ガ多イ、尙産業組合ハ損ヲシテ居ル、  
又商賣人ハ政府ノ特別ノ保護助成ガナイカ  
ラ困ル、特別ノ保護助成ヲシナケレバナラ  
ヌ、我々ハ産業組合ニ負ケルモノデナイ、  
國家社會經濟ニ役立つ上ニ於テ將來ソレヲ  
信ジテ居ル、特別ノ保護助成ガナイカラ困  
ル、私自身トシマシテモ、産業組合ガ果シ  
テ社會經濟ニ良イモノカドウカト云フコト  
ハ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレハ兎モ  
角ト致シマシテ、益、産業組合ヲ保護助成シ  
テ御行キニナル御積リデアリマスカ、モウ  
此ノ位ノコトデ自然ノ發達ニ御任セニナル  
御積リデアリマスカ、御意嚮ヲ伺ヒタウゴ  
ザイマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 世間ニ産業組合  
ガ行キ過ギテ居ルト云フ議論ガ盛ニ唱ヘラ  
レテ居リマス、又反産運動ト云フモノガ盛  
ニ唱ヘラレテ居リマス、私ハ産業組合ガ多  
年ニ互ッテ農家經濟ノ爲ニ貢獻シタコトハ  
之ヲ認メル者デアリマス、同時ニ産業組合  
ガ産業組合本來ノ目的ニ對シテ穩健ナル發  
達ヲ致スコトハ之ヲ歡迎致シマスケレドモ  
只今世間カラ非難サレテ居ルヤウナ、非難  
ヲ招クヤウナ行動ガアッテハ相成ラヌト考  
ヘテ居ルノデアリマス、從ヒマシテハ是

ダケヲ意味シタモノデアリマセヌケレドモ、  
動トモスレバ反産運動ト産業組合トノ間ニ  
相剋摩擦ガ激化セムトスル虞ガアリマスノ  
デ、是等ヲ含シテ中小ノ農業者、其ノ他  
所謂産業組合全般ニ互ッテノ圓滿ナル發達  
協調ヲ期スル爲ニ、茲ニ大キナ委員會ヲ拵  
ヘマシテ、此ノ問題ノ根本的解決ニ當リタ  
イト政府ハ所期シテ居ルヤウナ次第デゴザ  
イマス

○塚本清治君 今ノ點ニ關聯致シマシテ、  
私モ豫テ農林大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト存  
ジテ居ッタコトガアルノデゴザイマス、産業  
組合ト中小商工業者トノ利害ハナントシテ  
モ一致シタイト云フコトニ私ハ考ヘル、私  
ヲシテ言ハシムレバ、相互ニ其ノ本質的ノ  
摩擦ガアルト思フガ、其ノ本質的ノ利害衝  
突ニ付テハ後ニ申述ベテ御意見ヲ伺ヒタイ  
ト存ジマスルガ、只今御答ニナリマシタ中  
ニ、生産者ノ團體、或ハ全販聯ト云フモノ  
ガ此ノ法案ニ依リマシテ、市場員トナッテ賣  
ノ一方ニ立ツト云フコトハ、今日迄モ市場  
員トコソナラナイケレドモ凡ソ類似ノコ  
トガ行ハレテ居ッタノデアアルカラ、今後此ノ  
法律ニ依ッテ市場員トナルコトヲ公認シテモ  
サウ大シタ影響ハナカラヌヤウニ御認メニ  
ナッテ居ルコトヲ承リマシタガ、其處ガデス

ネ、大シタ相違ハ從來ト比シテナカラウト云  
フ所ニ、矢張り其處ニ一步又一步社會ノ經濟  
的變遷ニ依リ、若シクハ國家ノ統制經濟ノ政  
策ニ依ッテ、ドウシテモ中小商工業者ガ從來ニ  
比シテ漸次不利益ノ地位ニ陥リツ、アル、  
陥ラレツ、アルト云フコトハ、是ハドウ  
モ事實デヤナイカト見テ居ル、私ハ事實デ  
アルト信ジテ居ル、ソコデ此ノ法案ニ依リ  
マシテ、私ハ論理上全販聯ノ方ガ市場員ト  
シテ賣ノ一方ニ立ツコトガ認メラレルナラ  
バ、論理カラ言ウタナラバ消費者團體ノ全  
購聯ノ側ニ於テ又買ノ一方ニ立ッテ、市場員  
トナッテ買ノ一方ニ立ツコトモ認メナケレ  
バナラヌ結論ニナリマス、サウ云フコトニ  
ナレバ愈、益、モウ此ノ中小、此ノ場合ニ於テ  
ハ商人ニナリマスガ、米穀商ト云フモノハ  
存在ノ餘地ガナクナル譯デアリマス、唯  
今日ノ趨勢ニ於テ消費者團體ヲシテ市場  
員トシテ買ノ一方ニ立タシメル迄ニハ勢  
ガ行ッテ居ナイカラ認メライナイダケデ  
アリマシテ、若シ勢ガ其處ニ至レバソレ  
モ亦立法デ認メナケレバナラヌヤウニナル  
カモ知レヌト云フヤウナ譯デ、ドウシテモ  
中小商工業者ト産業組合トノ利害ハ漸次益、  
衝突ノ度ヲ深メテ行クヤウニ思フ、ソコデ  
伺ヒタイト存ジマスルノハ、農林大臣ハ此

ノ兩者ノ摩擦、或ハ相剋ト云フモノ、其ノ自身ハ指イテ此ノ兩者ノ存在ヲシテ適者生存ノ原則ニ依ッテ自然淘汰ニ放任セラレレ御意嚮カ、何等カ其ノ政策的ニ救済ヲ圖ラレルノデアアルカ、其ノ根本原則ニ付テ伺フコトガ出来マシタナラバ仕合セグト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 今塚本サンノ御

話デ見マスルト販賣組合ガ賣一方ニ出ルト云フノナラバ購買組合モ亦買ノ一方ニ出ルノヲ認メナケレバナラヌデハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、農村ノ中小農業者ガ米ヲ生産ラシテ之ヲ賣ルコトハ委託シテ纏メテ賣ルト云フ事柄ハ私ハ是ハ當然認ムベキコトデアルト思フノデアリマス、米ヲ作ツタ自分ガ個々別々デナケレバ賣ルコトガ出来ナイ、是デハ農村ノ生産者ノ中小ノ人ハ非常ニ困ルノデアリマシテ、自分達ノ作ツタモノヲ纏メテ市場ヘ賣ル、又米穀商人ニ賣ル、斯ウ云フ事柄ハ是ハ當然認ムベキ筋合デ品物ヲ作ツタガ米穀商人デナクテハ賣レナイ、斯ウ云フコトハドウモ理論ノ上カラ言ッテドウデアラウカ、斯ウ思フノデアリマス、ソレデ中小商工業者ト利害ガ相反スルト云フ御話デアリマスケレドモ、若シ理想的ニ生産者ノ品物ガ中小商工業者ノ手

ニ直接ニ入ッテ中小商工業者ガソレヲ自分デ消費者ニ配給スルト云フコトガ出来レバ是ハ或程度私ハ結構ナコトグト思ヒマスガ、併シ世ノ中ノコトハサウ簡單ニ參ラナイノデアリマシテ、其ノ間ニ中間ノ人ガ立ツト云フ事柄ガ經濟上必要デアリマシテ、有ラユル問題ニ商人ガ茲ニ起ルト云フコトハ當然ノ結果デアリマス、即チ今回モ消費者ノ商業組合ノ團體ハ認メテ居リマスケレドモ、是ハ買一方デアリマス、即チ中小商工業者ノ商人ガ商業組合ヲ拵ヘテ、米ヲ買フト云フ場合ニ於テハ是ハ市場員トナッテ之ヲ買ヒ得ルノデアリマス、但シ購買組合ヲ入レナイト云フ事柄ハ是ハ確定致シテ居ル間題デモアリマセヌケレドモ、即チ生産者ガ自分デ賣ッテ、サウシテ端境期ニナッテ足ラヌカラ買フ、斯ウ云フ風ナコトヲ若シ認メルト致シマス、サウ云フ實際ノ實情ハアリマセウ、又アルニ相違アリマセヌケレドモ、是迄許スト云フ事柄ハドウモ私ハ生産者ガ品物ヲ賣ルト云フ意味トハ多少趣ヲ異ニ致スコトニナリマシテ、之ニ付テハ十分ニ慎重ナ態度ヲ執ラナケレバ相成ラスト思ハレルノデアリマス、ソレデソレナラバ中小工業者ノ消費者ト、生産者ノ委託ヲ受ケテ賣ル所ノ販賣組合トガ居レバ商人ガ

居ラスデヤナイカ、商人ノ區域ハ侵サレルデ、イカト、斯ウ云フ風ナ問題ガ起リマスケレドモ、事實ハ今日ノ現狀ニ於テモ此ノ状態トハ全く違ッテ居ルノデアリマシテ、其ノ七割以上モ商人ノ手ヲ經テ是ガ取扱ハレテ居ルト云フ状況デアリマシテ、私共ハ此ノ市場ガ出来マシタ結果ト致シマシテモ、米穀取扱業者ハ寧ロ……清算取引所ガ減ジ、米穀取引所ガ減ジテ、米穀取引所ガ扱ッテ居ッタ實米ガ此ノ市場ニ集中セラレルコトニナレバ、其ノ數量ダケガ殖エルノデアリマスカラシテ、商賣ガ擴大サレル、擴大サレタ結果ハ即チ生産者、消費者、仲介ノ商人、此ノ三ツノモノガ組合ッテ相互ニ抱キ合ッテ行ッテ市場ハ繁榮シ、米穀商人モ決シテ衰微ヲ致スモノデハナカラウ、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○塚本清治君 私ハ生産者ガ生産物ヲ個々ニ商人ニ賣ラナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ無論考ヘテ居リマセヌシ、販賣組合ノ成立スルコト尤モ至極ト存ジテ居リマス、小サイ生産者ガ大キナ生産者ニ對抗シテ、社會的存在ヲ遂ゲテ行ク、其ノ繁榮ヲ圖ル爲ニ産業組合、即チ此ノ場合ニ於テ販賣組合ノ組織ノ必要ナルコト申ス迄モナイ、産業組合ノ必要ナルコト論ヲ俟ツ迄モナイ、ソレガ故ニ問題ガ私ニハ起ッテ参リマス、生産者ガ團結シテ販賣組合ヲ組織シテ、サウシテ有利ニ生産物ヲ賣ラウト云フノハ是ハ當然、同時ニ又消費者モ成ルベク其ノ消費スル所ノモノヲ安ク買ヒタイト云フコトモ是モ亦當然ノコトデアアル、即チ消費者カラ言ヘバ生産者カラ直接買フト云フコトガ出来レバ理想的デアアルノデセウ、生産者カラ言ヘバ中間手續ヲ除イテ、消費者ニ直接賣ルコトガ出来レバ理想的デアアルノデセウ、サウ云フ理論ハ立派ニ立チマスシ、我々ハ直グ分ル、ソコデ中間ノ商人ノ立場ガドウナルカ、日本デモ産業組合組織ガ出来テカラ幾十年、其ノ初メニ當ッテ地方ノ肥料商ノ如キ漸次購買組合ニ依ッテ其ノ地位ヲ奪ハレテシマッテ、今日デハ地方農村ノ肥料商ト云フモノハナイ、ソレカラ又消費組合ノ方カラ言ッテ見レバ、他ノ小サイ問題ニ付テモ、例ヘバ學校兒童ノ文具ノ如キ矢張り購買組合ヲ組織シテ、兒童ノ文具ヲ買フ、ソレガ爲ニ文具店ト云フモノハ倒レテシマッタ、又一方肥料ノ共同購入ニ依ッテ肥料商ハ倒レテシマッタト云フ風ニ、販賣組合若シクハ購買組合、其ノ組織ガ漸次普及シ發達スルニ從ッテ、商人ノ位置ト云フモノハ段々侵サレテ來ル、脅威ヲ感ズル、其ノコトハ

此ノ産業組合ガ悪イノデモナケレバ、商人ガ悪イノデモナイ、ソコニ問題ガアル、ドチラカ悪イナラバ改メサセマスケレドモ、悪イノデヤナイ、ソコデ之ヲ先キ申シマシタヤウニ適者生存ノ原則ニ依ッテ、自然淘汰ニ放任セラレルカ、放任スルモ已ムナシトセラレルカ、ソレ共何等カ策ガ考ヘラレナケレバナラスト御思ヒニナルカ、日本デハ實ニ商人ノ數ガ總人口ニ對スル割合ニ於テ多イノデアリマスカラ一方ノ産業組合ソレ自身ノ理論ダケデ商人ノ如何ニ成行クカト云フコトヲ構ハズニ放ッテ置クト云フ譯ニハイカナイト云フウヤウニモ言ハナケレバナラス、考ヘラレル、ソコデ私ハドウ云フ風ニサルカ、産業組合ガ行過ギタカ云フ爲ニ商人ガ困ノデナシニ、私ハ本質的ニ兩立シ得ナイト思フ、ソレデ問題ノ解決ガムヅカシイト思フノデアリマスガ、何等カ其處ニ施サレル所ガアルノデアリマセウカ、又差當リ産業組合ニ對シテ其ノ販賣、或ハ購買ニ關シテ營業稅ヲ課スルトカ、所得稅ヲ課スルトカ云フヤウナ方法モ考ヘラレナイコトハナイ、ケレドモ是トテモ大シテ本質的ノ兩立ヲ全ウセシメル爲ニ補ヒニナルヤ否ヤト云フコトハ疑ハレルノデアリマスケレドモ、外國デモ稅ヲ課シテ居ルノ

モアルヤウデスガ、サウ云フコト位ハ今日ニ於テ、或ハ近キ將來ニ於テヤラレテ宜イデヤナイカ、ソナコトデ追ッ付クカ否カハ私ハマダ疑フ、ソナコトニ付テモモット本質的ニ農林當局ニ於テ御考ヘニナッテ居ルナラバソレヲ承レバ仕合セト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今ノ御話ハ要スルニ産業組合ト中小商工業者トノ間ニ於ケル所ノ何ト申シマスカ、兩立シナイ點ニ付キマシテ如何ニシテ之ヲ調整スルカト云フヤウナ御話デアリマシタ、是ハ今日トナリマシテハ非常ナ大キナ問題デアリマシテ、十分ニ考究ヲ致サナケレバナラスト思ヒマス、丁度都會地ニ於ケル「デパート」ト小商人トノ間ノ狀況ト云フヤウナモノニ引ッ絡ンデ來ルト思ヒマス、ソレデ有ラユルサウ云フ問題、是ハドウシテモ根本的ニ解決シナケレバ將來恐レベキ摩擦ガ起ルノデハ、ナカラウカト云フ懸念ガナイノデアリマセヌカラ此ノ點ニ付キマシテ先刻申上ゲマシタ通りドウシテモ此ノ問題ヲ徹底的ニ研究調査致シテ、サウシテ其ノ雙方ノ協調、借和ノ共存共榮ノ途ヲ講ズル必要ガアルト思ヒマシテ、茲ニ一大調査機關ヲ設ケテ至急ニ考究致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス

○塚本清治君 矢張り關聯致シマシテ御伺ヒ致シマスガ、農林省デハ年來産業組合ヲ頗ル御獎勵ニナッテ居リ、之ニ對シテ種々ノ便宜ヲ與ヘテオイデニナル、販賣組合ノ如キ全國一萬一千餘ノ町村ニ對シテ餘程普及ヲ見テ居ルト思ヒマス、同時ニ又購買組合ニ對シテモ勿論御獎勵ニナッテ居ルト思フ、販賣組合ノ方ハ農産物ノ販賣ヲ目的トシテ居リマスルノガ多イノデアリマシテ、農産ニ關スル有ラユル購買組合ハ消費者トシテ都會地ノ住民ガ組織スル所ノモノデアリマシテ、割合ニ産業組合ノ商工省ニ關スルモノハ獎勵ガ届イテ居ラス、デアリマスルノデ都會地ノ購買組合ト云フモノハ發達ガ非常ニ遅イ、併シ是ガ發シテ、本當ニ發達致シマスレバ農村ニ於ケル販賣組合ノ如ク、都會地ニ於ケル購買組合ガ發達致シマスレバ、都會地ニ於テサウスレバ其ノ利害ノ衝突ハ、商人ニ對シテノ利害ノ衝突ハ非常ニ顯著ニナッテ來ヤウト思ヒマス、都會地ノ者ハ商人ガ目ノ前ニ居リマスノデ其ノ色々ノ利害ノ衝突若シクハソレニ依ッテ購買スル方ノ便宜ガアルノデスカラ、強ヒテ購買組合ヲ組織シナイノデアリマスルケレドモ、矢張り都會地ニ於テモ相當出來ツ、アル、併シ此ノ發達ガ鈍イダケソレダケ商人トノ利

害ノ衝突ガマダ著シクナイ、是ガ發達シテ參リマスレバ商人ノ存在ト云フモノハ非常ニ危イ、併シソレハ先刻伺ヒマシタ大調査機關ヲ設ケテ御調査ニナルコトデアリマスカラ、最早此ノ以上伺ヒマセヌ、此ノ米穀法案ニ於テハ米穀統制法案ニ於テ、生産者ノ團體ガ市場員トシテ賣リノ方ニ立ツト云フコトニ依ッテ、是迄ト事實ニ於テハ餘リ變リハナイ、ヒドク變ルコトハナイト云フコトハアリマスケレドモ、私ハ事新シク此ノ法規ニ依ッテ米價ノ吊上ゲヲ圖ルコトニ於テ餘程有力ナ立場ニ立ツノデハナイカ、從ッテ米價ト云フモノガ最高價格ニ概ネ近イ所ニ定メラレルコトニナリハシナイカト云フコトヲ恐レルノデアリマスガ、其ノ邊ノ御見込ハ如何ナモノデアリマセウカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 御承知ノ通り此ノ取引ハ第七條ニ依リマシテ、米穀統制法案ニ依ル最高最低ノ範圍内ニ於テ取引ガ行ハレルコトト相成ルノデアリマス、從ヒマシテ米穀ノ價格ガ非常ニ吊上ゲラレテ、消費者ヲ脅威スルガ如キハ全然有リ得ナイト思ヒマス、ソレデ此ノ範圍内ニ於テ上ノ方ニ釘付ニセラレル虞ハナイカ、斯ウ云フ風ナ御疑念デゴザイマスガ、私ハ左様ニハ考ヘナイノデアリマス、即チ是ハ需給ノ關係ニ

依ッテ價格ガ定ルノデアリマシテ、勿論生産者ノ團體ニ於テ値ガ高クナケレバ賣ラスト云ツテ或ハ聯盟ヲ作ルトカ、ドウスルトカ云フヤウナコトガアレバ別問題デアリマスケレドモ、サウ云フ事柄ハ十分ナ取締ガ出來ルノデアリマシテ、殊ニ市場ニ於テ政府ガ管理致サレムトスル臺灣米デアルトカ、政府ノ持ッテ居リマス米穀ノ買換デアルトカ、サウ云フ事柄モ非常ニソレヲ調節スルノニハ與ッテ力ガアルノデアリマシテ、最モ公正妥當ナル價格ガ生レテ來ルト考ヘルノデアリマス、殊ニ全く其ノ値幅ト云フモノガサウ大キクナイ値幅デアリマシテ、其ノ値幅ニ於テ今御話ノヤウナ事柄ガ今日ハ稍、上ノ方ニ釘付ケニナッテ居ルヤウナ傾キガアリマスケレドモ、ソレハ諸物價ノ關係上並ニ其ノ他ノ需給關係上カラ起ッテ居ルノデアリマシテ、私ハ平時ニ於テハ是ハ理想的ナ價格ガ生レテ來ルモノト、斯様ニ考ヘテ居ノデアリマシテ

**○塚本清治君** 最低、最高價格ノ幅ガ非常ニ縮小サレ來ッタノデアリマシテ、今日デハ極メテ狭イ範圍ヲ超エルコトノナイコトハ誠ニ宜イコトナンデアリマシテ、私ノ申上ゲタ疑問トシタ所ノモノハ、矢張り機構ニ於テ即チ生産者團體ノ方ガ市場員トナッテ賣リニ立ツ今日デモ全販聯ガ單位組合迄

組織的ニ系統的ニナッテ居ル、屢、其ノ指令ヲ地方カラ出ス、ソレヲ今度市場員トシテ立ツ時ニ、全國系統的ニ命令ヲ傳ヘテ、何圓迄ハ先ヅ暫ク賣ラナイデト云フヤウナコトヲスルト云フコトガ想像セラレルノデスガ、ソレヲデス、農林省デ取締ルト云フ譯ニハ參リマシマシ、ソコデ干涉サル、コトハナイダラウト思フ、又シテハナラスト思フ、最高價格ヲ超エルノデハナク、最高價格ノ際ドイ所迄引張ッテ行ク、ドコノ程度カ分リマセヌケレドモ、成ルベク上ノ方ヘ引張ッテ行クコトハ、此ノ生産者團體ガ市場員トナルコトニ依ッテ、更ニ現在ヨリモ有利ニナリハセヌカ、指令ヲ系統的ニ傳ヘテ、先刻ノ御話ノ中ニモアリマシタガ、生産者ガ聯盟デモ作ッテト云フコトデアレバ別デアルケレドモト、仰シヤッタノデスガ、其ノ聯盟ノヤウナ風ニ働キラスルトガアリヤセヌカト云フコトヲ懸念スルノデスガ、如何ナモノデアリマセウカ

**○國務大臣(櫻内幸雄君)** 此ノ販賣組合ヲシテ市場デ賣ラセマスコトハ、大體月別平均ノ方針ニ依ッテ賣ルヤウニ指揮、指導致シタイト思ッテ居リマス、ソレガ若シ或一定ノ値段迄賣ルナト云フ風ニ全國ニ指令ヲ出シテヤッタト假ニ致シマシテモ、今ノ所ノ生産

ノ販賣組合ハ僅カニ割幾ラノ數量デアリマシテ、後ノ多數ノ米ハ矢張り米穀取扱業者ノ手ニ依ッテ取扱ヒマスノデ、此ノ總テガ聯繫ヲ保ッテ手ヲ握レバ別問題デアリマスケレドモ、然ラザル限りハ假ニ一時サウ云フコトハ效果ヲ奏シタト致シマシテモ、又其ノ反動ガ來ルト云フコトニナリマスノデ、他ノ米穀業者ハ即チ商機ニ對シテ皆能ク達觀ノ出來ル者ガ多イノデアリマシカ、單ニ販賣組合ガ左様ナコトヲ致シタガ爲ニ、市場ノ價格ガ常ニ上ハ付ケラル、ト云フヤウナコトハナイト考ヘマスノミナラズ、寧ロサウ云フコトヲ致シマスルト、逆作用ヲ起スノデハナイカト考ヘマス、況ヤソレニ對シマシテハ常ニ十分ナル指導ヲシテ行キタイト思ヒマスノデ、御心配ノヤウナ事柄ハ起ッテ來ナイト信ズルノデアリマシ

**○塚本清治君** 時刻ガ參リマシタカラ一時中止致シマス

**○委員長(伯爵酒井忠治君)** 休憩致シマス、午後ハ一時半ヨリ開會致シマス

午後零時八分休憩

午後一時四十二分開會

**○委員長(伯爵酒井忠治君)** 開會致シマス

**○松村眞一郎君** 私ハ此ノ案ヲ見マシテ端的ニ感ジタコトハ、取引所ト云フモノニ對

シテ政府ガ表面カラ望ムト云フ態度ヲ執ラズニ、側面カラ濟シ崩シニ米穀取引所ト云フモノノ機能ヲ奪ヒ來ッタト云フ跡ヲ自分デ感ズルノデアリマス、前會ニ私ガ申シマシタ如ク取引所ニ對シテ勇氣ノアル政府ハイツモ表面カラヤッテ居リマス、上手ノ政府ト申シマスカ、サウ云フ大臣ノ御方ハ表面カラ御取扱ニナラナイ、サウシテ改革ヲスル意アルガ如ク、ナキガ如ク、外部カラ非常ニ疑ヲ感ズルヤウニ思フノデス、併シナガラ米穀統制法ノ出來マシタ時ニ、米ノ最高最低ヲ定メタコトニ依ッテ、取引所ハ公定相場ノ上ノ方カラ生レテ來ルト云フ其ノ作用ヲ奪ハレテシマツテ、機能ノ最モ大切ナ所ヲ奪ハレテシマツテ、或幅ノ中デ踊ッテ居ルト云フ譯デアリマス、大キナ相場ノ大局カラ見タ所カラ出發スルコトヲ許サズシテ、或線ト線トノ間デ踊レ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、取引所ト云フモノハ此ノ際機能ヲ害サレテシマツテ居ル、サウ云フ譯デアリマスカラ、何トカシテ取引所ニ付テ考慮シテ貰ハナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ當然取引所ノ方カラ起ッテ來テ居ル譯デアアル、處ガ偶、其ノ當時米穀取引所ト云フモノノミナラズ、取引所制度全體ニ付テ制度ヲ根本的ニ變ヘナケレバナラヌ

ト云フコトデ、取引所制度調査會ト云フモノガ出來テ、サウシテ委員ガ任命サレテ、ソコデ調査セシメラレタ、是ハ町田商工大臣ノ時デアッタと思ヒマス、爾來一向進マナイ、私モ其ノ特別委員ヲ命ゼラレテ、結城サンガ委員長デオヤリニナッタ、結城サンガ大藏大臣ニナラレル迄ヤッテオイデニナツテ、一向進行シナイ、其ノ際ニ先ヅ米穀統制下ニ於ケル米穀取引所ト云フ問題ヲ一番初ニ隨分議論シタ、是ハ何トカシナケレバナラヌト云フノデ、結論ヲ得テ居ル、ソレカラ有價證券ノ方ニ行ク譯デ、先ヅ米穀統制法ヲ政府ガ施行スル以上ハ、米ノ取引所ニ付テ何カシナケレバナラヌコトハ當然デヤナイカト委員トシテハチヤント決メテ居ル、ソレカラ愈、結城サンガ大藏大臣ニナラヌ、少シ前デアリマシタガ、小川サンノ商工大臣ノ時ニ殆ド特別委員會ト云フモノハ議了シテシマツテ、將ニ答申案ヲ作ラウトシテ皆寄ッテ答申案ヲ議シテ居ツタ、處ガ其ノ答申案ヲ委員全體カラ取上ゲテシマツテ、外部ニ發表スルコトヲ非常ニ恐レラレテ居ル、其ノ答申ハ取上ゲラレタカラ、記録ハナイ、サウ云フ状態デ取引所制度ト云フコトガ置イテアル、極メテ私ハ眞正面カラ向ハナイト云フ態度ガ、ソレガ

非常ニ慎重ニセラレテ居ルト云フ解釋モ出來セウケレドモ、解釋トシテハ取引所ニ對スル態度ガ非常ニ卑怯デアルガ如ク批評サレルコトモ生ズルノデハナイカト私ハ思フ、其ノ後政府ハ一向米穀取引所ニ付テ何モシナイモノデアリマスカラ、ソコデ米穀自治管理法ト云フモノガ出テ來ル時ニ取引所ハ困ツタモノダカラ、何トカ考ヘテ貫ハナケレバナラヌト云フコトヲ言ッテ居ル、處ガ元來取引所ハ何處ノ所管カト云フト、是ハ商工省ノ所管デアル、デ、前回ニモ申シマシタ如ク、米ノ取引所ト云フモノハ、舊幕時代日本ノ經濟ノ中心ハ米デアアル、總テ米デ何萬石ノ知行取デアアルトカ、何萬石ノ武士トカ、何デモカデモ米デ評價シテ居ルカラ、經濟ノ中心ハ米デアアル、サウ云フ時代カラ幾多ノ功績ヲ殘シテ居ル米穀取引所ニ、固ヨリ罪モアリマセウ、功罪相償フト云フコトヨリモ功勞ノ方ガ勿論多イダラウト云フコトハ當然ト思ヒマス、サウ云フ米穀取引所ト云フモノガ、一方ニ於テ米穀統制法トカ色々々々政府ノ側面的施設ノ下ニ、漸次自己ノ機能ヲ政府ノ方ニ實ハ移シテ居ル譯デアリマス、取引所ノ機能ノ中ニアルモノハ、詰リ米穀法、統制法ト云フモノデ政府ノ方デ自分ノ方ニ取込デ居ッテ取引所ノ

衰ヘルコトニ付テハ何等考慮ヲ拂ハレナイ、非常ニ私ハ不思議ニ思フノハ、農林省ガサウ云フコトヲ言ッテ居ルノヲ商工省ハ黙ッテ見テ居ル、自分ノ所管デ、功績ノアル所ノ取引所制度ヲ、自分達ガ今迄監督シ、助長シテ來ナガラ、其ノ取引所ガ終リヲ全ウスルヤウナ熱意ヲ以テ私ハ何トカ指導サレルノガ當然デヤナイカト思フ、處ガ取引所ト云フモノニ付テ一向熱意ヲ持タナイト云フヤウニ私ハ感ズル、米穀會社ト云フモノガ作ラレムトシタノハ大分前ノコトデアリマスガ、サウ云フ取引所ノ問題ガアルガ故ニ、取引所ノ方ガ困ッテ、農林當局ノ方々ト色々々々トコトヲ言ッテ、何トカシヨウヂヤナイカ、ドウシタラ宜イカ分ラナイガ、何トカシヨウヂヤナイカト云フコトデヤッタノガ、此ノ法律ノ抑、初デス、私ハ此ノ時分ハ關係シテ居リマセウ、サウシテ色々々々トヲシテ作ツタモノガ日本米穀株式會社法案ト云フモノデアアル、ソレカラ有馬農林大臣ニナツテカラデアリマシタ、新機構調査委員トカ云フヤウナ名稱デ又新シク官制デ任命サレタ場合ニ、私ハ任命ヲ受ケタ、其ノ時ニ諮問サレタノハ、矢張り日本米穀株式會社法案ト云フモノヲ、斯ウ云フモノガ出來テ居ルト云ッテ諮問サレテ居ル、ダカラ、

之ニ依ッテ審議セヨト云フコトナノデアアル、元來全然米穀配給統制ト云フモノヲ白紙ノ状態ニ置イテ、如何ナル配給機關ヲ作ツタラ宜イカト云フコトデ考ヘサセラレルナラバ……今日米穀統制ト云フモノハ、漸次國ノ統制ト云フモノガ強化シ來ッテ居ルノデアルカラ、國ノ管理ト云フ風ニズンノ進ミツ、アル、サウシタ場合ニ於テハ何ガ取引市場ノ經營主體ニナルベキカト云フコトヲ達觀的ニ考ヘタラ……是ハ有價證券市場ニ付テモ我々ハ議論シテ居ルガ、例ハバ國ガ宜イカ、公共團體ガ宜イカ、有價證券市場デアレバ、商工會議所ガ宜イカ、又米ニ付テ言ヘバ、國ガ宜イカ、地方團體ガ宜イカ、或ハ帝國農會ガ日本商工會議所ト合體シテヤルガ宜イカ、或ハ株式會社ガ宜イカト云フ工合ニ、各段階ニ互ッテ我々ハ頭ノ中ニ考ヘテ居ル、元來株式會社ハ營利會社デアルノダカラ、政府ガ茲ニ米穀政策ヲ國策トシテヤッテ居ル場合ニハ、米穀局デ國ガ直接ヤッテ居ル場合ニハ、會社ノ案ト云フモノハ私ハ餘リ感服シナイ、處ガ先程申シマシタヤウニ、沿革ガ既ニ會社ト云フモノガ出來テ居ル、サウシテ其ノ當時ハ何千萬圓ト云フモノヲ廢業手當トシテ認メルト云フ案ガチヤント出來テ居ツタ、其ノ案ヲ今有馬サンノ

時ニ變ヘテ出サレタ、是ハ色々議論シテ結  
果……是ハ貴族院ノ調査課カラ出テ居ルノ  
ダカラ、我々議員ハ皆配付ヲ受ケテ居ル、  
米穀配給統制法案資料ト云フモノガアリマ  
スガ、其ノ中ニ沿革ガ皆書イテアル、ソレ  
ヲ見マス、昭和十三年ノ十二月十五日ニ  
有馬農林大臣ハ日本米穀株式會社案要綱ト  
云フモノヲ世間ニ示サレタ、又米穀局長ハ  
商工會議所ニ出掛ケテ行ッテ、此ノ説明ヲシ  
テ居ラレルコトモ皆此ノ印刷物ニ載ッテ居  
ル、此ノ案ヲ見ルト矢張り廢業手當ト云フ  
モノヲ出スコトニナッテ居ル、之ヲ以テ大臣  
ハ議會ニ臨ムト云フコトヲ言明サレテ居ル、  
ソレガ新聞ニ出テ居ル、サウシタ處ガ特別  
委員會ハサウ云フヤウニ決ツタノデアリマス  
ガ、今度ソレヲ總會ニ掛ケル前ニ大臣ガ去ッ  
テシマッタ、處ガ大臣ガ考ヘ直サレタノデア  
リマセウ、今度ハ廢業手當無シト云フコト  
ニナッテ、併シ現在ノ米穀局ノ初ノ提案ト云  
フモノハ、ソレハ矢張り廢業手當無シノ案  
デ出来テ居ッテ、ソレヲ商工省トノ抗衡ノ結  
果、或程度ノ廢業手當三百萬圓トカ云フヤ  
ウナ……金額ハ決ッテ居リマセウガ、ソナ  
ヤウナコトデ妥協ヲ附ケテ、有馬サンハソ  
レナラ廢業手當ハ或程度認メルト云フコト  
デ出来テ來タノガ有馬サンノ案デアアル、今

度ハ全然手當無シト云フ制度ニサレタ、併  
シ此處迄來タ經過カラ見マス、此ノ案ガ  
一番良イト思フ、ソレハ廢業手當ヲ一切出  
サナイト云フ案デアリマスカラ、此ノ案ガ  
一番良イト思フ、取引所ニ對スル案トシテ  
ハ……、ソレデ結果ヲ見マス、斯ウ云フ  
コトニナッテ居ル、初メ暗中摸索ト言ヒマス  
カ、何カ分ラナイガ、寄ッテ調査シテ見ヨウ  
デヤナイカト云フコトデ、色々デッチ上ゲテ  
來タヤツガ、色々詮ジ詰メノシテ茲ニ斯  
ウ云フモノガ結晶シテ來タノデアリマスカ  
ラ、沿革ヲ全部離レテ此ノ案ヲ眺メマスカ  
ラバ、矢張り營利會社ト云フ方面ニ於テ私  
ハ感服シナイ、併シ初ノ案ヨリ餘程改良サ  
レテ居ル、沿革附ノ案トシテハ……、手當  
無シデヤラウト云フノデアリマスカラ……、  
茲ニ持ッテ來タノハ今迄ノ經過ノ中デハ最  
善的ニ改善サレタモノダト私ハ思ヒマス、  
併シナガラサウ云フ經過ヲ辿ッテ居ルニ拘  
ラズ、商工省ハ一向表面ニ立ッテ居ナイ、ソ  
レハ此ノ統制法カラ見ルト、直グニ私ハサ  
ウ云フコトヲ直感シタノデアリマス、此ノ  
配給統制法案ノ第五十五條ヲ見ルト、斯ウ  
云フコトガ書イテアル、「取引所法ハ米穀ニ  
關シテハ之ヲ適用セズ」斯ウ云フ規定デス、  
私ハ是非非常ニ不思議ダト思フ、適用セズ

ト云フコトハ、取引所法ノ中ノ米穀ニ關ス  
ル規定ハ有效ナシト、併シナガラ適用セズ  
ト云フコトニ讀ムヨリ方法ガナイ、米穀ト  
云フモノニ關シテ取引所法ノ適用ガ相當デ  
ナイナラバ、適用セズト云フコトデナク、  
削ルト云フコトデナケレバナラス、適用セ  
ズト云フコトハ、有ルカラ適用シナイト云  
フコトニナルノデ、無イナラ適用シナイト  
云フコトハナイ、是ハ取引所法ヲ正面カラ  
改正スルト云フコトヲ逃ゲテ居ルト云フコ  
トハ明カデアアル、取引所法ハ其ノ儘ダ、併  
シ米穀ニ關シテハ之ヲ適用セズ、斯ウ云フ  
態度ハ商工省トシテハ宜クナイ、此ノ規定  
デ全部解決シテ居ルノハ宜クナイ、ソコデ  
取引所法ヲ眺メルト、ドウ云フコトガ書イ  
テアルカト云フト、直グ引掛ッテ來ル條文ガ  
アル、取引所法ノ第十八條ニ、「取引所ノ賣  
買取引ノ期限ハ有價證券ニ在リテハ三箇月、  
米ニ在リテハ三箇月、蠶絲ニ在リテハ六箇  
月、其ノ他ノ商品ニ在リテハ勅令ノ定ムル  
期間ヲ超ユルコトヲ得ス」ト書イテアル、  
「米ニ在リテハ三箇月」ト云フ規定ハドウス  
ルカト云フト、適用セズト云フノダカラ、此  
ノ規定ハマダ活キテ居リマス、「米ニ在リテハ  
三箇月」此ノ規定ハ活キテ居ルケレドモ、適  
用シナイ、ソレデアアルカラ、米穀取引所ハ法

規ノ上ニ於テ存在シテ居ルト云フコトニナ  
ル、斯ウ云フ立法ガイケナイ、取引所法ヲ正  
面カラ改正シテ、第十八條中「米ニ在リテハ三  
箇月」ヲ削ルト云フコトデナケレバナラス、  
コンナモノヲ置イテ置イテ適用セズト云フ  
コトハ、ゴマカシノ立法ダト思フ、是ハ少  
シ暴論デスガ、サウ申上ゲテ宜イト思フ、  
然ラバドウスレバ宜イカト云フト、極ク簡  
單デアアル、案ヲ作レト言ヘバ、直グ作ッテ見  
セマス、取引所法ノ第一條ニ、「賣買取引ノ  
繁盛ナル地區内ノ商人ハ政府ノ免許ヲ受ケ  
テ一種若ハ數種ノ物件ノ取引所ヲ設立スル  
コトヲ得」此ノ下ニ「米穀ヲ除ク」ト書ケバ  
宜イ、サウスレバ、米穀ハ出來ナイト云フ  
コトガハッキリスル、第一條ニソレヲ書ケ  
バ、總テノ問題ハ解決スル、ソレト、更ニ  
先程言ツタ「米ニ在リテハ三箇月」ヲ削レバ  
宜イ、處ガソレヲヤル場合ニ於テハ取引所  
法ノ改正ニナル、「取引所法中左ノ規定ヲ  
改正ス」ト云フコトニナル、サウスルト取引  
所法ノ正面カラブツカル、ソレデ私ハ回避  
立法ト云フコトヲ申シテ居ル、斯ウ云フコ  
トヲヤッテ居ルト云フコトハ、商工省ガ斯ウ  
云フ功績ヲ持ッテ居ル取引所ノ終ヲ全ウセ  
シメル爲ノ御取扱振トシテハ、モウ少シ行  
キ届イタコトニシテ御進ミニナルベキデヤ

ナイカト云フコトヲ思フノデス、ソレハ私ハ恐ラクハ斯ウ云フ風ニ想像スルノデス、取引所法全般ニ問題ヲ起スト、ソレガ有價證券市場ニ付テモ又問題ヲ起スデアラウ、ソレハマダ十分準備ガナイカラ、色々動搖ヲ起ス、チヨット有價證券市場ニ付テノ議論デモ致シマス、大變ナ問題ヲ起ス、ソレハ取引所法ヲ改正スルト云フコトヲ言ハナクテモ直グ起ス、チヨット何か話ヲシテ、ソレガヒヨット洩レルト非常ナ騷動ヲ起スコトニナル、ソレハ簡單ナ例ヲ申シマス、私ガ農林省ニ居リマシタ時、新聞記者ニ取引所ノコトヲ話シタ、私ハ元來取引所ト云フモノハ當所株ノ上場ヲ禁ジナケレバナラスト云フコトヲ話シテ居ツタ、サウスルト、或新聞ガソレヲ書イタ、サウシテ大變ナ騷動ヲ起シテシマツタ、私ハ當局者デモ何デモナカッタガ、ソシナコト程非常ニ敏感デアリマスカラ、ソコデ非常ニ細心ノ御注意ヲ御拂ヒニナツテ、取引所法ヲ改正サレナカッタト云フコトハ、私ハ諒トシマスケレドモ、ソレナラバモウ少シ熱意ヲ以テ居ラル、ガ如キ形ニ於テ、米ノ取引所ト云フモノノ處理ヲサレルコトガ必要ダト云フコトヲ感じルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ今申上ゲルノデ、ソコデドウシタラ宜イカト云

フ問題ニナリマス、私ハ取引所ニ對スル政府ノ考ヘ方ガドウ云フヤウニ收メテ行クカ、是ハマア取引所ノ方デハサウ云フ心配ヲシテ居ル、併シ是ハドウシテモ廢業手當ヲ出サナイト云フコトデ、物資關係ニ於テハ全然サウ云フ金ハ出サナイト云フコトデ、此ノ案ガ出來テ居ルノデアリマス、處ガ此ノ案ノ之ヲ良イモノナリト云フ方面カラ考ヘテ今度ハ眺メテ見ルト云フト、ソレハ廢業ト云フ思想ヲ止メテ、スツカリ大臣ガ前ノ時ニ言ハレタ合併ノ心算リデヤルト云フトデアリマスカラ、精神カラ言ヘバ、取引所ヲ總テ茲ニ融合シテ、此ノ新シイ米穀會社ニ融ケ込マシテシマフト云フ心持デアルト云フコトニ眺メルナラバ、是ハ前ノ案ヨリハ涙ノアル案ダト云フコトハ言ヘマセウ、前ハ廢業手當ト云フコトヲ言ッテ居ルカラ、減ヒト云フコトヲ前提トシテ、手當ヲヤルト云フコトデアツタガ、今度ハ融ケ込マセル、政府ノ方ノ考ト民間ノ考トガ合體シテ、茲ニ新シイ米穀會社ト云フモノヲ作ッテ、國策ノ向フ所ニ順應シテ行カウト云フコトノ意味ト云フコトニ解釋シテノミ、初メテ此ノ法案ニ對シテノ理由ガアルト云フヤウニ解釋シ得ルカト思フノデアリマス、ソシナヤウナコトニデモ解釋シナイト、

此ノ案ガ餘程意義ヲ失フト私ハ思フ、サウ云フヤウニ考ヘマスと云フト、元來先程カラ申シマシタ如ク沿革ニ因ハレタ考デ、株式會社ニナツタ譯デスカラ、一應茲ニ溶ケ込シテ出來タガ、今度ハ更ニ引續キ米穀ノ配給機關トシテハ如何ナルモノガ理論的ニ理想的ニ宜イノデアルカト云フコトハ、私ハ一面餘程政府ハ研究セネバナラヌト思フ、一方ニ於テ臺灣デ移出米管理ト云フコトヲ政府事業トシテヤルノデアリマス、斯ウ云フコトデアルト、新聞紙ノ報ズル所ニ於テハ、朝鮮ニ於テモ亦會社ヲ作ル、サウ云フヤウナ傾向ニナツテ居ル時ニ、政府ハ株式會社デヤツテ行クノダト云フトノ私ハ確信ガナイノデヤナイカト思フ、取敢ズ取引所ト云フモノヲ米穀會社ノ方ニ融ケ込マシテ置カウ然ル後ニ本當ノ意味ノ段々米穀政策ガ強化シテ行ク譯デアリマスカラ、其ノ方ニ進ッテモウ少シ合理的ナ研究ヲシ、其ノ方ニ近附ケテ行カウト云フ經過的立法トシテノミ、私ハ之ニ合理性ヲ認め得ル譯デアリマス、ソコデ問題ニナルノハ一體此ノ株式ヲ優先配當サレル譯デアアルガ、初ニ配當ヲ割當テ、優先割當ヲセラレルノニ、先ヅ取引所ト云フモノニ優先配當ヲサレル、殘ル所ハ僅カシカナイ、百五十

萬圓位デアリマス、二百萬圓位デアリマス、三百萬圓位デアリマス、其ノ邊ハ知リマセヌガ、兎ニ角五百萬圓ヨリモ少イ株ガ取引所以外ニ割當テラレル譯デアアル、サウスルト、取引所ノ方ハ此ノ株ヲ唯割當テラレルノデアリマスカラ、他ノ株主ニナラントスル者ガ殘ツタ三百萬圓デスカ、其ノ金額ニ對シテ全國ノ人ガ集中シテ來ル譯デアアルカ、私ハ斯ウ云フコトモ想像シテ見タ、頻リニ米屋ノ諸君ハ、此ノ間千何ガシト云フモノヲコチラニ乘換ヘタ上ニ於テ考ヘテ見テモ、一向配當保證モナイカラ、大シタ有難イコトハナイト云フコトヲ言ッテ居リマス、ソレハ別トシテ殘リノ株ニ對シテドシナ要望ガアルグラウト云フコトヲ私ハ想像シテ見ルト、ナカ／＼政府ハ、困リハシナイカト云フコトハ、例ヘバ、産業組合ハ相當ノ資産ヲ持ッテ居ル、ソレガ其ノ位ナ三百萬圓ヤ四百萬圓ノ株ヲ持ツコトハ極ク簡單デ、サウ云フコトヲ言ヘバ、私ハ直グ引受ケルグラウト思フ、サウスルト云フト、取引所ノ方ガ要ラヌト云フナラバ、全部デモ貴ヒマセウト云フヤウナ態度ニナツテ來ルトスレバ、今ノ商人ト産業組合ト云フヤウナモノノ問題其ノ出資ヲ如何ニ割當テ

カト云フコトニ付テモ、私ハ非常ニ考ヘナケレバイカスト思フ、ソシナヤウナコトモ考慮シテ、取引所ニ對スル關係ト産業組合ニ對スル關係トハ御執リニナラナケレバナラナイト共ニ、一般ノ國民ハ米ニ對シテ、主要食糧品デアルカラ、皆關心ヲ持ッテ居ル譯デアルガ、ソレハ株ヲ持ツ餘地モ何ニモナイ、サウ云フ設立ノ當初ニ於テ餘程公平ナル判斷ヲシナケレバナラヌト云フコトガアリマスカラ、餘程考ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ、ドンナ用意ヲシテ居リマスカ、又後ニ他ノコトヲ質問致シマスカラ、其ノ時ニ答辯ヲ願ヒタイ、ソレカラ茲ニ優先ノ配當ガシテアル、政府ノ方ノ株ハ後ニシテ、先ヅ利益ガアレバ、民間ノ出資ニ對シテ六分迄優先サセル、ダカラ、是ハ優先株デアル、利益配當優先株ト云フモノヲ與ヘル、二十四條ニアリマス「百分ノ六ノ割合ニ達スル迄政府ノ所有スル株式ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セズ」トアリマスカラ、此ノ利益配當ノ優先株ヲ發表スル、サウシテ優先株ト云フモノハ會社ノ大體ノ目論見ナドヲ見マシテ、是ダケハ優ニ入ルト云フ確信ガアルヤウデアル、サウスレバ配當保證ヲシテモ事實上優先株ノ配當ヲ受ケル譯デアルカラ、其ノ優先株ヲ持ッテ居ルト云フ關係ニ於テ米穀取引所ハ、自分ノ會社ノ株ヨリ或ハ場合ニ依ッテ有利カモ知レヌ、併シナガラ現在ノ米穀取引所ト云フモノハ米穀法ノ統制ヲ受ケル意味ノ配當デアルカラ、ソレト比較スルコトハ適當デナイ、是ハ公平デナイ、ソレハ當然米穀統制法制定前ノ配當ト比較シナケレバ、米穀取引所ト云フモノハ公平ナル判斷ヲ受ケルコトニナラナイ、ソシナヤウナ事ヲ考ヘルト、私ハ斯ウ云フヤウナコトヲ想像スル、先程モ申シタ如ク經過的ノ會社デアルコトヲ私ハ頭腦ニ直感スル、サウスルト、或時期ニ長イ期間ヲ待タズニ、此ノ米穀會社ト云フモノハ又何カ政府ノ機關ニ吸收サレナケレバナラヌ運命ヲ持ッテ居ルト思フ、サウ云フ場合ニ、資本ノ拂戻ノ場合ニ於テドウ云フ用意ヲシテ居ラレルカ、サウ云フコトハ一向用意ガナイ、ソレハ利益配當ヲ優先シテ居ル、今度ハ拂戻シテ株金ヲ拂戻ス場合ニ於テ勿論損ヲスルコトガナイデセウ、併シ又ドウ云フ損ヲスルカモ知レナイ、サウ云フ場合ニ三十四條ノ規定ガアルナラバ、政府ノ出資金ニ對スル拂戻ヨリモ、民間ノ出資金ニ對シテ拂戻ノ優先ヲスルト云フヤウナ用意ガナイト云フコトハ、私ハ深切ナ規定デハナイト思フ、ソレハ其ノ時ニナッテ法律ヲ出セバソレデ宜イト考ヘラレテ居ルノデアルカ、兎ニ角賠償ハシナイ、ケレドモ精神ノ溶解ケ込シマフコトヲ考ヘタナラバ、米穀取引所ノ關係ハ、先々迄モ政府ガ考ヘテヤルト云フコトノ現レガ出テ來ルコトガ必要ダト思フ、處ガ其ノ取引所ニ關係ガナイノデスカラ、政府以外ノ株全部ニ對シテ、資本ノ拂戻ニ對スル優先ヲ認メルト云フヤウナコトヲ考慮スル必要ガアルノデハナイカト思フ、サウ云フヤウナ例ハ幾ラモアリマス、サウ云フ會社ノ法制ヲ云ヘバ、是ハ資本ノ拂戻ニ關シテ優先權ヲ有スル利益優先配當株、斯ウ云フモノデアリマス、優先株ト云フコトハ、「イギリス」ノ法律ナゾデ「プレファレンス・シェア」ト云フコトハ、利益配當ノ優先デアリマス、其ノ外「キャピタル」ニ對スル優先ト云フモノハ、ソレハ「イギリス」ノ方デ云ヘバ「プレファレンス・シェア」・ウイズ・プレファレンス・アズ・トットー・キャピタル」デ之ヲ資本ニ關スル優先ト云フ言葉デ示シテ居ル、資本ニ關スル優先ヲ持ッテ利益配當優先株、斯ウ云フヤウナ觀念ヲ政府ノ頭腦ニ御懷キニナルコトガ、將來清算ヲスルヤウナ場合ニ於テハ何トカシナケレバナラヌト云フヤウナコトノ御心積リデモナイト云フト、終リ

ヲ全ウセシメル米穀取引所ニ對スル態度トシテ私ハ宜クナイト思フ、ソレハ米穀取引所ヲ救フト云フヤウナ問題デハアリマセヌ、日本ノ米穀ニ關スル經濟機關ガ、昭和十四年ニ至ッテ新タナ組織ニ溶ケ込シマフコトノ經濟史ノ一頁ヲ形ヅク大問題ニナッテ居ル譯デアリマス、之ヲ考ヘネバナラヌ、變ナコトヲヤッタト云フコトガ後世ノ歴史ヲ傷ツケルコトニナルト思ヒマスカラ、サウ云フコトヲ能ク御考ニナル必要ガアルト云フコトト、ソレカラ取引所、此ノ取引所ガ此ノ方ニ融ケ込シマフ場合ニ於ケル解散ニ付テノ清算ハドウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデスカ、ソレハ尋常ニク清算デ宜イノデアルカ、例ヘバ改正商法ノ今度ノ規定ナドヲ見ルト特別清算ト云フヤウナモノガアリマス、ソシナヤウナ規定ヲ參酌シナガラ今度ハ融ケ込マムトスル取引所ニ付テノ清算ニ付テノ何等カノ考慮ヲ要スルモノト考ヘマスルガ、ソレニ付テドウ云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルカト云フコト、ソレカラ財産、之ヲコチラニ買フノニ付テ、五十六條ノ末項ニアリマス米穀取引事業審査委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要スル、是ハ色々ナ財産ヲ此ノ會社ノ方デ引取ルニ付テノ評價ノ問題デアリマス、此ノ評價ヲスル際ニ利用價值ヲ



考ヘルトカ何トカ大臣ハ説明シテ居ラレ  
ル、サウ云フヤウナ審議委員會ニハ勿論利  
害關係ノアル取引所關係ノ人ハ私ハ加ヘテ  
ハイカスト思フ、サウ云フ點ニドウ云フ考  
ヲ持ッテ居ルカト云フコトガ五十六條ニ付テ  
ノ問題デアリマス、ソレカラ之ヲ設立スル  
ニ付キマシテハ、五十四條ニアル設立委員  
ノ問題デアリマス、「政府ハ設立委員ヲ命ジ  
日本米穀株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事  
務ヲ處理セシム」ト云フ此ノ設立委員ノ中ニ  
ハ、米穀取引所ト云フモノガ此ノ會社ニ融  
ケ込ムモノデアルトスルナラバ、新シイ會  
社ニ對スル設立ノ其處ニ役割ノ幾分ノ責任  
ヲ持チ、其ノ中ニ參加セシメルコトガ私ハ宜イ  
ノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ取引所及  
ビ其ノ取引員、ソレカラ取引所ノ從業員ナド  
ノ側ヲ代表シタル人物ヲ設立委員ノ中ニ加  
ヘルト云フ考慮スルコトニ依ッテ、取引所  
ト云フモノガ此ノ會社ニ融ケ込ムノダト云  
フヤウナ思想ヲ考ヘ得ルガラウト思ヒマス、  
ソシナヤウナコトニ對シテドウ云フコトヲ  
考ヘテ居ラレルノデアルカト云フコトガ私  
ノ質問ノ點デゴザイマス、ソレカラ前回ニモ  
觸レマシタガ、米穀配給統制法案理由書ト  
云フモノヲ見ルト云フト、「投機取引ヲ抑制  
シ實需ニ基ク正米取引ヲ原則トスル」、投機

取引ヲ抑制スルコトガ即チ之ニ依ッテ實需  
ニ基イテ正米取引ニナルノダト讀メルガ如  
キ説明ヲシテ居ラレルノハ、是ガ投機取引  
ト云フモノト實需ト云フモノノ關係ヲ誤認  
シテ居ルノデヤナイカト私ハ思フ、私ハ投  
機取引ヲ抑制スル必要ハナイト思ヒマス、  
總テ投機取引ノ差金決済ヲ抑制スル必要ハ  
アルケレドモ、投機ノ取引ヲ抑制スルト云  
フコトデアルト、商賣ト云フモノハ出來ナ  
イ、投機ヲ抑制シタナラバ……世ノ中ニ  
投機ノナイモノハアリマセヌ、投機ノナイ  
モノハアリマセヌ、投機ガアツテ商賣ガ出  
來テアルノデアリマスカラ、高クナラウト  
思フカラ買フ、安くナルガラウト思フカラ  
賣ル、投機ナクシテ商賣ト云フモノハ出來  
ナイ、我々ノ日常生活モ或意味ニ於テ投機  
ヲシテ居ル、明日ハドウナルカト云フコト  
ヲ判斷シテ動イテ居ル、投機ヲスルト云フ  
コトハ機會ヲ捉ヘルト云フコトデアリマス  
カラ、機會ヲ捉ヘルト云フ考ガナケレバ、  
日常生活ガ成立タナイ、投機ヲ抑制スベキ  
モノデアルト云フガ如キ意味ニ考ヘテ居ル  
ト云フコトデアルナラバ、是ハ非常ニ間違  
デアリマス、頭ノ置所ガ……、サウ云フヤ  
ウナコトニ付テ、後デ取引所トソレカラ産  
業組合トノ關係ニ付テノ政府ノ認識程度如

何ト云フコトヲ私ハ質問ニ依ッテ確メタイ  
ト思ヒマス、ソレハ後デ質問シマス、投機  
取引ノ抑制ト云フコトニ付テノ意味ヲ能ク  
了解シテ居ラレナイト思ヒマス、一例ヲ以  
テ申シマス、斯ウ云フ場合ハ宜イモノト御  
考ニナルカドウカト云フコトヲ御尋ネシマ  
ス、自分ノ持ッテ居ナイ米ヲ延取引デ賣ルト  
云フコトニハドウナリマスカ、持ッテ居ナイ  
物ヲ賣ル、此ノ質問ヲ致シマシテ、サウ云  
フコトハ止メサセルノデアルト云フコトヲ  
ヒョット考ヘルト云フト、トシデモナイコ  
トデアル、持ッテナイモノヲ賣ラセルト云フ  
コトヲ日本ノ民法ガ認メテ居ル、他人ノ權  
利ヲ賣ルト云フコトデス、ソレハ空賣ヲス  
ルト云フコトデス、是ハ取引所ノ方ノ「デク  
ニカル・タイム」デ言ヘバ「シヨート・セーリ  
ング」、「シヨート」ハ短カク、賣ルハ「セー  
リング」、投機ノ本體ハ、素人ガ投機ヲヤル  
ト、先ヅ買フ、買ッテ置イテ、ソレヲ賣ル、  
ソレハモウ素人ナンデス、商賣人ハソシナ  
コトハヤラナイ、是ハ高クナルト思フト、  
自分ハ持ッテ居ナクテモ註文ガアレバ、持ッ  
テ居ナイモノヲ賣ルノデアリマスカラ、ソ  
レハ投機ナンデス、ソシナコトヲ惡イナン  
ト云フコトヲ考ヘテ居ルト、商賣ヲ知ラナ  
イト云フコトニナル、素人ノ投機ト云フモ

ノハ、株ヲヤラウトスレバ、株ヲ先ヅ買フ、  
ソレヲ持ッテ居ッテ高クナツテカラ賣ル、ソレ  
ハ投機デヤナイ、投機ト云フモノハ持ッテナ  
イモノヲ賣ッテシマフ、ソレカラ掻集メル、  
「シヨート・セーリング」ト云フコトヲヤラ  
ナケレバ、商賣人ノ資格ハナイ、其ノ意味  
ヲ頭ニ入レテ、此ノ米問屋ト云フモノト産  
業組合トノ指導ヲドウヤツテ居ラレルカト  
云フコトヲ……序ニ其處迄言ヒマシタカラ  
申シマス、産業組合ニ於テハソシナ指導方  
針ヲ執ッテ居ラナイ、ソレハ私此ノ産業組合  
關係法規ト云フモノヲ見タンデス、サウシ  
マスト云フト、ヤカマシイ所ノ全國ノ米穀  
販賣組合ノ聯合會ト云フモノノ定款、是ハ  
全販聯デス、米ノ全販聯、是ガ今問題ニナ  
ツテ居ル、ソレガ市場ニ進出スルコトガ商  
賣人ト非常ニ摩擦ヲ起スト云フコトヲ言ッテ  
居ル、處ガ全販聯ト云フモノハサウ云フコ  
トヲシテ居ナイ、又サセルベキモノデヤナ  
イ、世間ヲ見テ居リマスト、斯ウ云フコト  
ヲ言ッテ居ル、ドウモ産業組合ト云フモノト  
商人トノ衝突ガアルカラ、白米ヲ止メタラ  
宜カラウ、産業組合ニ白米ヲヤラセナイヤ  
ウニシタラ宜カラウ、其ノ議論ハ天下ニ瀾  
漫シテ居ル、白米ヲ許サナケレバ、ヤラナ  
イコトニスレバ商人トノ衝突ハナイダラ

ウト考ヘテ居ル、ソレハ商品ヲ加工ヲスル程度ダケノ問題デアリマス、サウ云フコトデヤナイ、商機能ト云フモノガアル、是ハ塚本サント私ハ前ニ米穀管理法ノ委員ニナリマシタガ、其ノ時ニ私モ質問シ、塚本委員モ質問サレマシタガ、此ノ生産者ト消費者ノ中間ニ商機能、商ノ機能ト云フモノガアル、商機能ヲ商賣人ガ擔任スルコト、産業組合ガ擔任スルコトガ要點デアリマス、其ノ商機能ノ全部ヲ産業組合ガ擔任スルコトハ出来ナイ、出来ナイト云フコトヲ知ラナケレバ、産業組合ノ指導ガ出来ナイ、産業組合ノ諸君ハ何ト云ッテ居ルカト云フト、生産者ヨリ消費者ニト云ッテ居ル、生産者ヨリ消費者ニ、ソシテ出来ナイ、茲ニ例ヲ申シマス、米ヲ持ッテ居ル産業組合ガアル、米ヲ賣ラウト云フ産業組合ガアルト、是ハ販賣組合デス、農家ノ作ッテ居ル販賣組合、ソレハ米ヲ賣ラウ、ソレハ販賣組合デス、東京市ニ於テ或消費者ノ團體ヲ作ッテ居ル消費組合ガアル、是ハ購買組合デアル、米ヲ買ハウト云フ産業組合ト、米ヲ賣ラウト云フ販賣組合ト一緒ニナッテジツトシテ居ッタラ、商賣ハ出来ナイ、何故カト云フト、生産者ハ高ク賣ラウト云フ、消費者ハ安く買ハウト云フ、生産者ヨリ消

費者ニト云ッテウツチヤラカシテ置イタラ、商賣ハ何時迄モサセラレマセヌ、賣ル方ハ高ク〜ト云フ、買フ方ハ安く〜ト云フ、産業組合ノ間ニ話ガ附カナイ、其ノ場合ニ何ガ適當ナ相場ガアルト云フコトヲ示シテ居ルノカ、取引所デアアル、取引所ガ示シテソレガ正米市場ニ移ッテ、サウシテ從來ハ使命ヲ全ウシテ居ッタ、サウ云フ關係デアリマスカラ、商機能ト云フモノガナケレバ、産業組合ハ動カナイ、從來ノ指導方針ハ私ハ徹底シテ居ナイト思ヒマス、生産者ヨリ消費者ニト云フヤウナ幼稚ナ標語ヲ直グ修正スル位ノ態度ガナケレバナラヌ、分ッテ居ナイト私ハ斷言スル、今申上ゲタ商機能全部ハ産業組合デハ到底引受ケラレナイ、今「ショート・セーリング」ト云フコトハ全然農林省ハ許シテ居ナイ、産業組合ニドウ云フコトヲ許シテ居リマスカ、産業組合ハ生産者カラ委託シタ米ヲ販賣ヲシナクチャイカスト云フコトデアリマス、是ハ農林省ノ指導方針ノ一大原則デアリマス、買取販賣ヲシチャイカヌ、買取販賣ハ、荷主カラ持ッテ來タモノヲ販賣組合ノ力デアリマシマッテ賣ルト云フコトデアリマス、ソレハ許サナイノデアリマス、總テ委託デ行ケト云フコトニナッテ居ル、決シテ買ッチャイケナ

イ、其ノ儘賣ッテシマフ、委託販賣ト云フコトニナッテ居ル、ソレハ農林省ノ原則デアリマス、「ショート・セーリング」ト云フコトハ産業組合デハ絶対ニ許サナイノデアリマス、處方商賣人ハ「ショート・セーリング」ガ生命デアリマス、「ショート・セーリング」ガ生命デアル所ノ米問屋ト、ソレカラサウ云フコトノ出来ナイ産業組合トガ茲ニ非常ニ併立スル場合ノ指導方針ト云フモノハ、ソシテ聴カセレバ能ク分ル、ソレカラモウ一ツハ産業組合ニ付テ平均賣ト云フコトヲ獎勵シテ居ル、ソレガ一ツノ原則デアリマス、ソレハ今迄ヤッテ居ル買取販賣ハ許サナイ、委託物デナクチャナラヌ、ソレハ定款ヲ見レバ書イテアル、私ハソレヲズツト見タ、此ノ販賣組合ノ定款ヲ總テ委託販賣デス、其ノ中間ニ決シテ買取販賣ヲサセナイ、定款ヲ見テ見ルト、途中ニ代金ノ假拂ト云フコトハアリマス、併シナガラ所有權ハ決シテ移ラナイノデ、サウ云フモノト商人トガ同ジヤウニ市場ニ出掛ケテ行ク時ノ指導方針ト云フモノハ明々白々ナデス、ソレガ相剋摩擦トカ何トカト云フヤウナコトヲ言フテ居ルノハ、商人ガ何ヲスルモノデアルカ、販賣組合ガ何ヲスルモノデアアルカト

云フコトヲ知ラナイ所ノ政治家ガ狼狽シテ居ルノデアアル、知ラナイカラ狼狽シテ居ル知ッテ居ル者ハ平然トシテ居ル、何處ニ衝突ガアルカト云フコトヲ言ヒ得ルト私ハ思フ、サウ云フコトヲハッキリシナイデ、此ノ法案ヲ携ゲテ來ラレルト云フコトガ政府トシテ非常ニ用意ガ足リナイト云フコトヲ私ハ斷言スル、私ノ今ノ言フタコトガ間違デアルヤ否ヤト云フコトヲ大臣ノ御答辯ヲ願ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 私今日他ノ委員會ニ行ッテ居リマシテ、中途カラ參ッタノデアリマシテ、或ハ御答洩レガアルカモ知レマセヌケレドモ、其ノ點ハ政府委員カラ御答ヘ致スコトニ致シマス、第一ニ此ノ品物ヲ取引所ノ財産ヲ買フ場合ニ於ケル所ノ米穀事業審査委員會ノ委員ニ買ハレル方ノ當業者ノ人ヲ入レルカ入レルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ茲ニ確定ヲ致シテ居リマセヌケレドモ、方針トシテハ入レナイト云フ方針デアリマシテ、大體御説ノ通りデアリマス、設立委員ニハ是ハ此ノ會社ノ株券ヲ持タセルコトニナリマシレバ、當然入ッテ戴クコトガ宜イト考ヘテ居リマス、ソレカラ投機取引ヲ抑制云々ト云フコトノ何デアルケレドモ、投機取引ト云フモノハ公正ナ

ル價格ヲ拵ヘルノニ必要デアルト云フ風ナ  
御意見デアリマシタガ、要スルニ實際ノ品  
物ヲ受取ル若シクハ賣渡スト云フ考ヲ以テ  
致ス場合ニ於テハソレハ私ハ差支ナイト思  
ヒマス、即チ商人ガ買フコトハ固ヨリ差支  
アリマセヌガ、自分デ米ヲ集荷シ得ル見込  
ノアル人ガ手持品ヲ持ッテ居ラナクッテモ、  
現物ガナクッテモ、ソレハ商人トシテハ賣ル  
コトガ出來得ルト、斯様ニ考ヘテ居リマス、  
ソレカラ産業組合ノ販賣組合ノ件ニ付キマ  
シテハ全然御説ノ通りデゴザイマシテ、是  
ハ御意見ト何等變ッタクコトハゴザイマセヌ、  
御意見ノ通りデアリマス、ソレカラ遡リマ  
スガ、最初ニ取引所ハ此ノ會社ガ解散スル  
場合ニ於テ優先的ニ其ノ財産ヲ取引所ニ與  
ヘテ然ルベキデハナイカ、斯ウ云フ風ナ御  
意見デアリマスガ、是ハ申込ノ際ニ申込マ  
レテモ宜シイシ、現金デ取ラレテモ宜シイ  
シ、其ノ自由ニ選擇セラレル權利ヲ取引所  
側ニ與ヘテ居ルノデアリマシテ、之ニ對シ  
テ解散ノ場合ニ優先權ヲ與ヘルト云フ事柄  
ハ本條ニ於テハ認メテナイノデアリマスガ、  
併シナガラ今御話ノ如ク此ノ會社ガ極メテ  
堅實ナ基礎ヲ持ッテ居ルト云フコトハ明カ  
デアリマスノデ、其處迄考ヘナクモ差支  
ナイノデハナイカ、且今ノ申込ノ自由ガア

ルノデアッテ、申込マウガ申込ムマイガ、即  
チ取引所側ノ隨意デアリマスカラシテ、其  
ノ程度ニ於テ差支ナイデハナイカト、斯様  
ニ思ッテ居ル次第デアリマス

○松村眞一郎君 問題ハ今度ハ延取引ニ移

ル譯デアリマス、ソレハ商取引迄ニ適切ナ  
ル機關ヲ御認ニナラヌト云フト、商賣ハ動  
イテ行カナイト云フト私ハ申上ゲル、  
長クスレバ、弊害ガアルト云フヤウナコト  
ハソレハ取締ガ惡イノデス、取締ヲナサズ  
シテ、詰リ取締ヲナスベキ能力ナクシテト  
云ツタ方ガ宜イ、商賣ノコトガ分ラズシテ、  
監督シテ居ッタクノデハ迎モ出來ナイ、サウ云  
フ弊ガアル、ソレハ餘程御考ニナッテ、サウ  
云フコトヲ御注意ニナルコトガ私ハ必要ト  
思ヒマスガ、兎ニ角實際必要ナル機關ハ認  
メナケレバイカヌ、ソコデ茲ニ反問シマス  
ガ、米ニ付テ從來三箇月ト云フコトニナッテ  
居マスガ、蠶絲ニ付テハ六箇月ト云フコト  
ニナッテ居ル、是ハ何故米ハ三箇月デアッテ、  
蠶絲ハ六箇月デアアルカト云フコトハ説明ハ  
出來ナイト思フ、是ハ米モモット長クシナケ  
レバイケナイ、昔カラ三箇月ニヤッテ居ッテ、  
之ヲ延スト云フト弊害ガアルカラト云フノ  
デ、三箇月デヤッテ居ッタク、米ガ三箇月デア  
ルモノダカラ、有價證券モ三箇月ニシタ、

三箇月ニ觸レルコトハ政府トシテハ非常ニ  
怖イ、從來ノ行政方針トシテ怖イ、ソコデ  
米ハモット長クシナケレバイケナイ、三箇月  
デハ意味ヲナサナイ、モット長クシナクチャ  
イケナイ、蠶絲ハ何故六箇月カ、是ハ養  
蠶ノ時ノ期間カラ來テ居ル、養蠶ラスルト、  
其ノ時ニ資本ヲ投下スル、サウスルト、ド  
ノ位ノ何十掛ニナルト云フコトヲヤッテ、直  
グソコニ繭ノ値段ガ出テ來ル、是ハ何十掛  
ト云フコトニナレバ、ソレヲ見テ繭ヲ買ッ  
タ時ニ直グ生絲市場ノ方デ掛繋ラスル、其  
ノ爲ニドウシテモ期間ノ長イコトガ必要デ  
ス、經濟ノ安定ヲ圖ル爲ニハ、是ハ掛繋ノ  
「ヘッジング」ト云フコトヲヤル、ソレヲ考  
ヘルト、元來米ニ付テハ三箇月デハ出來ナ  
イ、米ハ苗代ニ入レテ、苗ヲ移植スレバ、  
其ノ時カラ凡ソ考ヘテ、是ハドノ位ノ米ニ、  
生産費カラナルト云フコトニシテ、ソシテソ  
レヲ賣ルト云フコトニシテ、サウ云フ組織  
ヲ作ラナケレバ、本當ニ米作ヲ助長保護ス  
ルコトニナラナイ、ソレヲ清算取引ガドウ  
ノ斯ウノト投機取引ヲ恐レテ居ルヤウナコ  
トデアルト、其ノ改良ハ出來ナイ、小麥ト云  
フモノノ先物取引ト云フコトヲ許セバ、相  
當ノ期間云フ附ケナクチャイカヌ、米ニ付  
テハ三箇月ト云フヤウナコトヲシテ居ルカ

ラ、今日ドウ云フ問題ガ起ッテ居ルカト云フ  
ト、青田賣買ト云フコトガ行ハレテ居ル、  
青田ノ時ニ賣買ヲシテシマフ、取引所ニ掛  
ケラレナイカラ、仕方ナシニ高利貸ニ青田  
ノ儘デ賣ッテ、是ガ今日農村疲弊ノ源泉デア  
ルト云フコトハ誰シモ認メラレテ居ル、サ  
ウ云フコトニ氣ガ附カナイカラ、昨年ノ農  
地調整法案ノ時ニ衆議院デハドウ云フコト  
ヲ言ッテ居リマスガ、世間デハ青田賣買ト  
言ッテ居リマスガ、私ノ所デハ黒田賣買ト云  
フコトガ行ハレテ居ル、黒田賣買トハ何カ、  
マダ稻ヲ植エナイ、土ノ黒イ時カラ賣買シ  
テ居ル、此ノ米ハ是位ニナリマスカラト云  
フノデ、金ヲ借りテヤッテ居ル、サウ云フコト  
ヲヤッテ居ルコトヲ農林省ハ考ヘテ貰ヒタ  
イト云フコトヲ言フテ居ル、處ガ、私ハソレ  
ヲ聞イテ居ル、ソナ譯デヤナイト云フコ  
トヲ私ハ考ヘテ居ル、私ハ白田賣買ト云フ  
コトガアルト思フ、是ハ私ガ自分デ想像シ  
テ居ル、其ノ土地ニ雪ガマダ積ッテ居ル、雪  
ガマタ積ッテ居ッテ、マダ黒イ土ノ出ナイ時  
カラ考ヘナケレバナラスコトガ起ッテ來ル、  
ソレヲ色々ナコトヲヤッテ居ル、ソレハ白田  
賣買デス、私ハサウ云フコトヲ此處デ申し  
テ置ク、處ガソレハ或意味ニ於テ「ブラング」  
ト云フコトヲ言ッテ居ル、白紙ト云フコトヲ

言ッテ居ル、ソレハ勸業銀行ハ何ヲシテ居ルカ、耕地整理ニ金ヲ貸シテ居ル、其ノ時ニ農林省ノ耕地整理官ハドウ云フ算盤ヲ彈キマスカ、此ノ土地カラハ米ガ是ダケ穫レル、ソレハ一石當リ幾ラト云フコトヲ計算シテ、ダカラシテ、費用ヲ償ッテ餘リアルカラト云フノデス、ソレハ白田賣買ヨリモモウ一ツ上デス、何モ無イ所カラ想像デヤッテ、ソレデ助長シテ、サウ云フコトヲヤッテ居ル、サウ云フコトヲ考ヘルト、米ノ三箇月ト云フコトハ短イト云フコトハ直グ判ル、何故三箇月ヲ延シ得ナカッタノデアルカト云フコトノ認識ガナクテ、投機取引ガ惡イト云フコトヲ考ヘテ居ッたら、百姓ハ上ル場所ガナイト私ハ思フ、モウ少シ本當ニ米ト云フモノヲ了解シテ載カヌト云フト、幾ラ日本ノ農村ガ米作ニ熱心ニナッテモ、オ役所ノ方ノ理解ガモウ少シ進マナイト私ハイカヌト思ヒマス、ソレハ取引所法ヲ商工省ニ任セテ居ル場合ニ於テハ、米ト云フモノハ今日ハ經濟界ヲ「リード」スル力ハ無クナッテ居ル、今日ハ有價證券市場ガ「リード」シテ居ル、ダカラ、米穀取引所ト云フヤウナモノガ色々ナ運動ヲシテ見タ處ガ、商工省ト云フモノハ餘リ重キヲ置カナイ、處ガ株式取引ト云フコトニナルト驚イテシマッテ、手ヲ著ケナイ

ト云フ状態デアアルガ故ニ、米ト云フモノハ益、閑却サレル、生絲ハ六箇月ト云フノハ、是ハ輸出品デアアルカラ、幾ラカ新シイ考ヲ以テ、是ハ後カラ考ヘ出シタコトダカラ出來タ、サウ云フコトガアリマスカラ、大臣ハサウ云フコトニ對シテハドウ云フコトヲ考ヘテ居ラレマスカ、一應御答辯ヲ願ヒタイ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 地方ニ於キマシテ青田賣買ト云フコトガ相當行ハレテ居ルト云フコトハ耳ニ致シテ居リマス、即チ肥料買入ニ資金ガ要ル、ソレニ對スル金融上困ッテ居ル人トカ、其ノ他種々ノ關係上金ノ早ク手ニ入ルコトガ必要デアアル人々ガ、青田ノ内ニ於テ其ノ田カラ出ル生産品ヲ見返リトシテ賣買ヲ致シテ居ルト云フ風ノコトモアルヤウニ聞イテ居リマス、此ノ點カラ申シマスト云フト或ハ半年デアアルトカ、時期ニ依リマシテハ、暮デアアルナラバ一年トカ、或ハ四五月頃デアアルテラバ半年トスルトカ云フコトノ期間ヲ、長イ期間ヲ置イテ取引ヲ致スト云フコトモ、是ハ又一ツノ方法デアアラウト思ヒマス、併シナガラ今日行ハレテ居リマス所ノ米穀取引所ノ状態ヲ見マスト云フト、一昨日モ申上ゲマシタ通り清算ノ取引高ト實際ノ實米取引高ト云フモノハ、殆ド百分ノ一、百分ノ二ニ過

ギナイヤウナ状態デアアリマシテ、マルデ米ニ對シテ何等ノ關係モナシ、何等ノ知識モナイ人ガ買ッテ賣ッタト云フ風ノ状態デアアリマシテ、相當其ノ點ニ於テ惡ク申セバ賭博ニ類シマスカヤウナコトガ行ハレマスト云フデ、斯ウ云フ事柄ハドウシテモ取締ッテ、サウシテ實際米ニ關係ノアル人、米ヲ持ッテ居ル人若シクハ米ヲ買ヒタイ人、若シクハ米ヲ賣リタイ人、斯ウ云フ人ノ賣買ヲ圓滑ニスルト云フコトガ宜イデハナイカト云フ建前カラ、取敢ズ此ノ二箇月間ノ期間ヲ置イテ、サウシテ調節ヲ致セバ大體ニ於テ調節ガ出來ルデヤナカラウカ、斯ウ云フ風ノ考ヲ以テマシテ此ノ案ヲ立テタヤウナ譯デアリマス、勿論今年ノ米ガドウ云フ値段デアアルデアラウカト云フ見當ガ付カナケレバ、農民ガソレヲ作ル考モアルデセウシ、肥料ヲ買入レル工合、或ハ之ヲ耕作スル關係上凡ソノ米ノ値段ノ見當ガ分ラナケレバイカヌコトハ勿論デアリマシテ、即チ米價ヲ安定セシメルト云フコトガ必要デアリマス關係上、最高最低ノ値段ト云フモノヲ決メテ、サウシテ前年ノ十二月ニハ之ヲ決メテ指示スルノデアリマシテ、其ノ範圍内ニ於テ農家ノ人々ガ計畫ヲ立テルト云フコトニ相成リマスレバ、大體ニ於テ大ナル不安ナクシ

テ實行ガ出來ルデアラウ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○松村眞一郎君 私ハ前申上ゲマシタ如ク、此ノ法案ノ眼目トナルノハ第七條デアルト云フコトヲ申シテ居ル、最高最低ノ價格ト云フモノヲ茲ニ定メテ、ソレニ引付ケヨウト云フコトニ依ッテ價格ヲ調節スルコトニナル、ソレト同時ニ大臣ノ御考ハ、全國ニ市場ト云フモノヲ配置スル、ソレデ私ハ米其ノモノヲ見ル、人ヲ見テハイカヌト云フコトヲ考ヘル、米ヲ見ナクテハイカヌ、米ガドウ動イテ居ルト云フコトヲ見レバ宜イ、米ヲ集中シテ、其ノ配給ガウマク行ハレルト云フコトニ付テ市場ヲ指導シテ行カナケレバナラヌト思フ、サウ云フ御考デナイト云フト、若シソレデ進マレルナラバ端境期ノ持越米ト云フモノハサウ澤山要ラヌト云フコトニナル、今日端境期ノ持越米ガ七八百萬石トカ九百萬石トカ言ッテ居リマスガ、是ハ前ニハ五百萬石ヲ理想トシテ居ッテ、交通ガ段々盛シナッテ居ルニ拘ラズ、是ガ九百萬石ニナッテ居ルト云フノハ、本當ノ配給ニ付テ是ダケハ持ッテ居ラナケレバ不安心デアルト云フ意味カラ來テ居ル、ソレハモウサウ云フ所ニ頭ガ精密デナイカラサウ云フコトヲ言ッテ居ル、唯餘ッタモノヲ持越米ト

シテ持ッテ居ルダケデ、積極的ニ持越米ガド  
レ位アツタ宜イト云フコトノ研究ヲシテ  
ナイ、ソレハ米ノ消費ト同ジデア、米ノ  
一人當ノ消費ガ幾ラト云フコトノ計算ハ、  
供給ノ方ノ計數ヲ見ルト、持越米ガ幾ラア  
ルカト云フコトヲ見テ、自然ニナクナッタモ  
ノヲ消費米ト云ッテ居ル、積極的ニ消費ノ調  
査ヲ近頃ハヤリ出シタ、サウ云フ印刷物ガ  
アリマス、印刷物ハアルケレドモ外部ニ發  
表シナイ、米穀要覽ト云フモノハアナタノ  
方ノ書類デアリマスガ、其ノ方ヲ見ルト消  
費高ト云フモノガ書イデア、消費ノ別ノ  
統計ガ出シテアル、私ハ米穀自治管理ノ時  
ニ言ツタ、差引勘定ヲシテソレガ消費高デア  
ルト言ッテモ、ソレハチットモ消費高デハナ  
イ、消費高ダラウト云フノデ、ソシナモノ  
ヲ消費高ト云ッテ、一人當ノ米ノ消費高デア  
ルト云ッテ米穀政策ヲヤッテ居ッタナラバ、殆  
ド根據ガナッテ居ナイ、デスカラ積極的ニ消  
費高ヲ調ベナケレバナラス、酒米ニ幾ラ使ッ  
テ居ル、三百萬石以上使ッテ居ルデセウ、ソ  
レハ消費統計デ分ル、ソレハ消費ノ方カラ  
見ナケレバナラス、サウシテ此ノ位消費ス  
ルト云フコトヲヤッテ、ドノ位ノモノガアレ  
バ端境期ニ咄嗟ノ間ニ合フカト云フコトヲ  
考ヘナケレバナラス、私共深川ノ政府ノ米

穀倉庫ヲ見テ、澤山ノ米ガアル、其ノ向ヒ  
ヲ見ルト非常ニ生活ノ裕ナラザル人ガ「バ  
ラック」見タヤウナ家ヲ建テ、居ル、サウ云  
フ人ガドシナ感ジガシマスカ、山ノ如ク米  
ガ積ンデ居ッテ自分達ノ口ニハチットモ入ラ  
ヌ、サウ云フヤウナ或所ニ集中シテ米ヲ持ッ  
テ居ルト云フコトガ、配給上適正ニ出來  
ナイト云フコトハ反省サレル必要ガア  
ルト思フ、殊ニ米穀倉庫ノ所在地、昔  
ノ所在地ノ選ビ方ガ間違ッテ居ル、ソレ  
ハ或地方ヘ行ッテ今度米穀倉庫ヲ建テヨウ  
ト思フガ、オ前ノ所デ寄附シナイカ  
ト云ッテ、寄附スル所ニ建テル、大阪ノ倉庫  
ヲ御覽ニナレバ分リマス、大臣モ御覽ニナッ  
タト思ヒマス、ソレハ渡ヲ渡ッテ向フニア  
ル、ソレハ土地ノ値段ヲ吝シンダカラサウ  
云フコトニナル、陸運機關ガナクテハ仕方  
ガナイ、鐵道線路ガナケレバナラス、ソシ  
ナ所ニ倉庫ヲ建テ、米ヲ積ンデ居ッテモ急  
ノ間ニ合ハナイ、サウ云フコトデ間ニ合フ  
ナラバ……、サウ云フ大キナ倉庫ヲ今日造ッ  
テ置クト云フコトニナルト、防止ノ爲ニモ  
非常ニ悪イ、飛行機ガ飛ンデ來テ爆彈ヲ倉  
庫ニ落シタナラバ、日本ノ米ニ恐慌ヲ起ス  
カモ知レマセヌ、サウ云フ集中主義ハ今日  
時代後レデアルト思フ、ソレハ米ノ配給サ

ヘ宜ケレバ倉庫ハ分散スルガ宜イ、最も大  
事ナコトニ付テハ米穀統制法ナント云フモ  
ノハ要諦ニ觸レテナイ、輸送ト云フコトヲ  
考ヘナケレバナラス、一番大事ナコトハ鐵  
道ノ關係、「トラック」ノ關係、ソレカラ其  
ノ米ヲ又託送シタ場合ニ理想的ニソレヲ動  
カスノニ鐵道省ト御交渉ニナッタノデスカ、  
鐵道省ト御交渉ハナイダラウ、配給ト云フ  
モノハ數量ノ配給ガ目的デ、所有權ガ誰ニ  
アルカ彼ニアルカト云フコトハ必要ガナ  
イ、何ガシガ持ッテ居ッテモ、ソレガ動カナ  
イデ同ジ所ニアルノデハ役ニ立タナイ、米  
ハ現實ニ食ハナケレバナラス、ソコデ斯ウ  
云フ問題ガアル、米ニ保險ヲ付ケル、保險  
ニ付ケレバ保險金ガ取レルカラ、火災ニ遭ッ  
テモ宜イト云フ觀念ヲ民間ノ人ハ持ツカモ  
知レナイ、ケレドモサウデハナイ、火災ニ  
遭ッテ燒ケテシマッテハ、金ヲ貰ッテモ金デ  
ハ食ヘナイ、ドシナコトデモ米デナケレバナ  
ラス、米ガ燒ケナイヤウニシナケレバナラ  
ヌ、サウ云フコトニ要諦ガアルノデスカ  
ラ、配給ト云フコトハ、米ノ配給ト云フコ  
トヲ御考ニナラナケレバイカヌ、米ノ取引  
ハ問屋ト産業組合トカ云フヤウナ人ヲ見ナ  
イデ、米ヲ見ルト云フコトニ餘程精神ヲ集  
中シテ考ヘナイト云フトイケナイ、輸送ノ

關係ニ何等考慮ヲ拂ッテナイ、本當ノ配給ト  
云フ所ノ要諦ニ觸レテナイト云フコトヲ考  
ヘル、鐵道省トドウ云フ交渉ヲサレマシタ  
カ、事務的ニ御答辯ヲ願ヒタイ  
○政府委員(周東英雄君) 此ノ案ヲ出シマ  
スニ付キマシテ、鐵道省トドウ云フ風ノ交渉  
ヲシタカト云フ御話デアリマスガ、是ハ御  
話ノヤウニ從來ニ於キマシテハ、米穀倉庫  
建設ノ敷地ニ付キマシテハ御話ノヤウナ點  
モゴザイマセウ、併シナガラ專ラ舟運ノ便  
ノアル所、又ハ鐵道ノ貨車輸送ノ便ノアル  
所ニ倉庫ヲ建テ、ゴザイマスコトハ御承知  
ノ通りダト思ヒス、併シナガラ御話ノア  
リマシタヤウニ是ハ或ハ其ノ倉庫ト云フモ  
ノハ都市ニ集中サレテ居ルト云フコトガ、  
必ズシモ今後米ノ配置ノ上カラ見マシテ適  
當デアるか否カト云フコトハモウ一遍再檢  
討シテ見ル必要ハアルト思ヒマス、從ヒマ  
シテ是等ノ案ニ示シテ居リマスル別箇ニ、  
農業倉庫ノ設置箇所、或ハ營業倉庫ト云ハ  
ズ、農業倉庫ト云ハズ、總テ米穀ノ保管調  
整ヲ爲スニ適當ト認メラレル倉庫ニ付キマ  
シテハ、或ハ都市別ニ、或ハ都市ノ近郊ニ  
ドウ云フ風ナ狀況ニナッテ居ルカ、ソレ等ニ  
對シテ河川ノ便ハドウデアるか、揖運ノ便  
ハドウカト云フコトハ別箇ニ調査ヲ進メテ

居リマシテ、萬遺憾ナキヤウニ考ヘテ居リマスシ、鐵道省ノ方ニ於テ、此ノ案ノ中ニ織込マレテ居リマスヤウニ、取引賣買致サレマシタ米ヲドウ云フ風ニ運送スルカト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、鐵道省ノ方ト密接ナ連繫ヲ取ツテ居リマシテ、適當ナ處置ヲ講ズルヤウニナツテ居ルノデゴザイマス

○松村眞一郎君 ソレカラ私ハ前會ニモ申シマシタガ、品種ノ統一ト云フコトガ非常ニ必要デゴザイマス、品種ガ餘リバラ／＼ニナツテ居ルト云フコトハ、或程度農林省ガ地方ニ對シテ成ルベク同ジ銘柄ニシナケレバナラス、ソレカラ配給上非常ニ必要ナコトデアアル、我々ガ日常食ベテ居ルモノガ何ノ米デアアルカ消費者ハ知ラナイ、誰モ知ラナイ、武藏米ヲ食ベテ居ルカ、朝鮮米ガ入ッテ居ルカ、臺灣米ガ入ッテ居ルカ分ラヌ、ソレ程我等ハ消費者ハ頭ニピント來ナイ、ソレナラバ餘計銘柄ガアルト云フコトハ斷言シテモ宜イ、銘柄ノ餘リ箇々獨立ニスルト云フコトハ配給ニ非常ニ困ル、配給ニ一番宜イノハバラ積ミガ宜イノデアリマス、嘗ッテ私ハ在職中ニ研究シタコトガアリマスガ、ソレハ「アメリカ」デハ丁度日本ノ産業組合ト同ジ運動、日本ノ産業組合ハ政治カラ超

越シヨウト云フ運動ニナツテ居ル、政黨ノ方ガ産業組合ニ釣ラレテ居ルト云フ状態デアリマス、サウ云フモノト同ジコトデ政黨ノ弊ガアルガ故ニ、超越黨派聯盟ト云フモノガ「ノンパティーザン・リーグ」、ソレハ農村ハ政黨カラ超越スル、超越シテ、團結シテ、米ヲ集メテサウシテ統制ヲシテ、品種ヲ分ケテ市場ニ出スト云フコトヲヤツテ居リマス、ソレハドウシテモバラ積ミヲヤラナケレバナラス、一緒ニ入レナケレバナラス、ソコデ私ハ「サイロー」ノ研究ヲシタノデアリマス、

「アメリカ」ニ出張シタ人ニ研究ヲシテ貰ッタノデアリマスガ、バラ積ニシテ必要ナ時ニ出スト云フコトニナルト配給上ニ便利デアリマス、ソコデ頭ヲ費シテヤラナイト、本當ニ徹底シタ配給ハ出來ナイ、ソコデ餘計ニ米ヲアツコッチブラ下ゲテ、ソレ程何モ九百萬石ヲ持越米ヲ持ッテ居ルト云フコトハ、配給ノ不備ヲ證明シテ居リマス、是ハ今日交通機關ガ發達シテ居ルカラ五百萬石モ要ラナイデアラウ、五百萬石ト云フコトハ僅カナ期間シカ維持出來ナイデセウ、ソレハ何處々々ニアルト云フコトハチヤント配給網ト云フモノガアレバ、所有權ニ關係ハナイ、米ハ何處ニアルカ、誰ガ持ッテ居ッテモ構ハナイ、農林省ガ持ッテ居ラウガ商

人ガ持ッテ居ラウガ、臺灣ガ持ッテ居ラウガ、朝鮮ガ持ッテ居ラウガ、所有權ニ關係ハナイ、米ガ何處ニアルカ見テ居レバ、ソレヲ見テ米ヲ取寄セルト云ウテモ宜イ、其ノ配給網ガ出來テ居レバ、餘計ニ米ガ要ラナイ、持越ガ九百萬ト云フモノハ、理想的持越ト言ハレルガ、理想ト云フノハ何ガ理想カ反問セザルヲ得ナイ程、農林省ニ於テ米穀政策ト云フモノハ徹底シテ居ナイト云フコトヲ斷言シ得ルノデアリマス、サウ云フモノニ對シテ大臣ハドウ考ヘテ居ラレマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 持越米ノ數量ガドコカ適當デアアルカト云フコトニ付キマシテハ、色々御意見ガアルト思ヒマス、即チ十年以前ニ五六百萬石デアッタモノガ、今日ハ九百萬石内外ニナツテ居リマス、ソレデ配給ガ圓滑ニ參リマスルナラバ、御話ノ如ク五百萬石デモ優ニ合フト思ヒマスガ、現在ニ於テ我々ノ見テ居リマスノハ、大凡一箇月或程度ノ米ダケハ端境期ニ保留シテ宜イデハナイカ、是ガ十日、十五日ノ分ホカナイ場合ニ於キマシテハ、少シバカリ偏在致シマス、直グ一地方ニ於テ米ガ不足致スノデアリマシテ、餘程上手ニ偏在ヲ防ギマシテモ、相當其ノ米ヲ動カシマシテモ、有ル所カラ無イ所ヘ移シマスノハ、

無論今ノ鐵道省ト緊密ナ連絡ヲ取ツテ直グニ運搬致スヤウニ致シマスレバ、三日ヤ四日ハソレハ避ケラレルト思ヒマスケレドモ、多少ノ餘地ヲ見テ計畫致シテ置クコトガ、今日ノ時代ニ於テ適當デハナカラウカ、斯様ニ考ヘマシテ一應九百萬石乃至九百五十萬石ヲ程度トシテ現在ハ持越米ヲ維持シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、將來配給ガ圓滑ニナリマス場合ニ於テハ、御承知ノ通り五百萬石、六百萬石ハ優ニ合フコトニ相成ルト考ヘルノデアリマス

○政府委員(周東英雄君) 先程松村委員カラ御話ガアリマシタガ、モウ一ツ附加ヘテ私カラモ御話申上ゲテ置キタイト存ジマス、只今農林省ニ於キマシテモ、現在何處ノ所有ノ關係如何ヲ問ハズ、ドノ地方ニドレダケノ米ガ現在シテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、斷エズ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ案ヲ進メマス上カラ申シマシテモ、非常ニ需給ガ窮屈ニナツテ來タヤウナ場合ニ於キマシテハ、恐ラクハ其ノ地方地方ニアリマスル米ト云フモノノ現狀ヲ知悉シテ置クコトガ、將來ニ對シマス米ノ出荷ヲ命ジタリ、或ハ種目ヲ指圖致シタリ、配給ニ遺憾ナキヲ期スル上ニハ、ソレガ根本ノ問題デアルト私共考ヘテ居リマス、幸

ニ御承知ノヤウニ今日ニ於キマシテモ三月一日、五月一日、七月一日、九月一日ト云フヤウニ現在高ガ各地方別ニ調ガアルノデアリマス、之ヲ更ニ中間ニ於キマシテモ同様ニ調べテ置クコトガ、今後ニ處スル上ニ於テ勿論必要ダト存ジテ居リマス、サウ云フヤウナ點ニ付テ御話ノヤウニ萬遺憾ナキヤウニ調査ヲ致シ、資料ヲ整ヘテ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ品種ノ問題ヲ出來ル

ダケ統一セヨト云フ御話デゴザイマス、此ノ點ハ御尤ナ點ト思ヒマス、私ノ方デモ銘柄ノ格差等ヲ極メマスニ於テモ、出來ルダケ銘柄ハ統一サセ、是ガ少クナルト云フコトガ、配給ノ上カラ申シマシテモ非常ニ結構ナコトダト思フノデアリマス、漸次其ノ銘柄ハ統一サレテ行ク傾向ニハアリマス、併シ御承知ノ通りニ只今直チニ一遍ニ此ノ「サイロー」ミタヤウナ格好ノモノヲ作ツテ、何モカモ一緒クタニ混合シテシマフト云フコトニ付キマシテハ、是等ニ付キマシテハ各品種ニ付キマシテ色々ト生産數量、或ハ味ニ付テ、價格ノ相違ト云フヤウナコトカラ來マズ色色ナ點ガアリマスノデ、是ガ全部國家ノ專賣ニデモナルト云フヤウナコトデアレバ兎モ角、現在ノ配給米ノ上ニ於キマシテハ、ソレハ直チニハムツカシイ斯ウ云フヤウニ

考ヘマス、併シナガラ配給ノ徹底ヲ期スル上ニ於テ、或ハ生産確保ノ上ニ於テ、出來ルダケ銘柄ガ單一化シ、品種ノ統一セラル、ト云フコトニ付テハ非常ニ望マシイコトデアルト存ジマス、ソレ等ニ付キマシテハ御話ノヤウナ點ニ付テ今後トモ十分研究ヲ致シ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君 サウ致シマス私ハ從來米ノ眺メ方ガ農林省ニ偏シテ居ッタト云フコトヲ、先程モ私ノ意見ニ付テ申シマシタ、或ハ御分リデアラウト思ヒマス、商工省ガ生マ温ルカッタト云フコトモ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、鐵道省、逓信省、船舶ノ配給鐵道ノ輸送ト云フヤウナコトニ付テ、直グ掌ヲ指スガ如ク、非常時ハ勿論平時ト雖モ準備ヲスルコトニ付テ私ハ必要ダラウト思フ、ソレカラ逓信、鐵道ト連絡ヲ取ツテ、配給ニ付テノモウ少シ徹底シタ御協議ヲナサルコトガ必要デアルト思ヒマス、從來ヤラレタカモ知レマセスケレドモ、世間ニ出テ居ナイト云フコトヲ見レバ、出テ居ナイ程度ノ打合せシカシテ居ナイト云フコトニナル、世間ハ不思議ニ感ズルデセウ、米ノ配給ト云フ問題ガアルノニ、ソレニ付テ一向官廳ガ乗出シテ居ナイ、處ガ米ナドニ付テハ各鐵道ノ驛デハ調ベテ居ル、驛ニ集散シ

タ貨物ト云フモノヲ調べテ居ル、鐵道省デ折角サウ云フ調べテ居ル數量ト云フモノガ活キテ居ナイト云フコトヲ、私ハ申上ゲル、私ハソレハ貰ツタコトガナイ、苟モ米ヲ心配スルモノナラバ、ソシナヤウナモノハ、例ヘバ斯ウ云フヤウナ委員會ニデモ配付スル筈デス、サウ云フコトガナイト云フ限り、米ニ對シテ本當ノ徹底シタ所ノ行政ガ行届イテ居ナイト云フコトヲ申上ゲテ宜イノデアリマスカラ、主務大臣デアリマス主管ノ農林大臣トシテハ、其ノ點十分私ハ御考慮ヲ煩ハシタイト云フコトヲ申上ゲマス

○小林嘉平治君 農林大臣ニ御尋ハスルノデアリマスルガ、米專賣ノ問題ニ付テデアリマス、何時ノ議會デモ米ノ問題ガ出マスト、米ノ專賣ノ問題ガ伴ウテ來マス、現ニ此ノ間此ノ案ガ本會議議サレマシタ當時モ、委員ノ總テガ、此ノ案ハ米ノ專賣ノ準備デアアルノカ、又早ク專賣ヲセニヤナラヌト云フ希望ヲ述べラレル方ガ多イノデアリマスガ、之ニ付キマシテ、私ハ農林省ハ一ツ態度ヲモウ御決メ下サル必要ガアルノデアリナイカト斯ウ思フノデアリマス、ト申シマスノハ、私ノ考デハ、此ノ法案ガ可決サレマスト、是デ米ノ需給ニ關スル法制ガモウ一貫シテ出來上ツタ譯ナンドス、非常ニ結

構ナコトデアルト思フテ居リマス、斯ウ云フ制度ノ出來ル迄、例ノ大正十年ニ米穀法ノ生レタ當時、アノ當時ニハ我々モ米ノ專賣ガ宜イノヂヤナイカ知ラント云フ考ヲ持ッタコトモアリマス、ガ併シモウ國策トシテハ、米ノ專賣ヨリハ此ノ制度デ行カウト云フコトデ、モウ練リニ練リ上ゲタモノガ今日ノ米穀統制法トナリ、又非常ニ豐作デ困ツタ時ニハ、アノ自治管理案ト云フモノガ動イテ參リマスノデス、ソレデ不斷ニデモ亦斯ウ云フ非常時デモ、此ノ配給ノ統制ガ茲ニ確立致シマシタナラバ、專賣法ト云フヤウナコトハモウ言フ必要ハナイ、現ニ專賣法ヲ主張シテ居ル人ノ議論ヲ聞キマシテモ、此ノ間衆議院ニ現レタ議論ヲ見テモ、最低トノ間ノ幅廣ガ廣過ギル斯ウ云フコトハイカスヂヤナイカト云フ位ノコトヲ聞イタダケノコトデアツテ、是ハ餘程考慮ヲ要スル問題デ、矢張り需給關係ヲ見テ適正ナ價格ヲ見出スト云フコトガ必要ナンド、人爲デ以テソレヲ定メルト云フコトハ是ハムツカシイモノダ、ソレデ詰リ今日ノ制度ニ於ケル如キ幅置イテ置クコトガ寧ロ必要ダ、ソコニ配給ノ制度ガ出來レバ適正ナル値段ヲ見出シ得ルノデアリマシテ、今ノ專賣法必要ナリト云フ唯聲ダケ

ノコトデアツテ、積極的ノ論據ヲ見出し得  
ナイ、然ルニ農林當局ノ何時モサウ云フ時  
ノ答辯ハ、研究シテ見ル考慮シテ見ルト云  
フコトヲ承ルノデアリマスガ、是ハ質問者  
ニ對スル敬意ヲ表セラレル意味デアラウト

輕ク視テ居リマスケレドモ、ソレデハイカ  
ヌノデ、茲ニ斯ウ云フ法制ガ一貫シテ出來  
タ以上ハ、之ヲウント理想的ニ運用スル、  
ソコニ全力ヲ注イデ貫ハナケレバナラス、  
處ガ現ニ專賣モ考慮シテ見ヨウト云フ答辯  
ヲシテ貫ウテ居ルヤウナコトデハ、此ノ提  
案サレタ所ノ趣旨ト云フモノガ何處ニアル

カ分ラヌ、政府當局ハ恐ラク此ノ提案ト云  
フモノハ、モウ餘程理想的ノ案トシテ提案  
サレタモノト私ハ存ジテ居ル、ソレデ私ハ  
ソレニ信賴シテ、モウ今カラハッキリ申上ゲ  
マス、初メカラ贊成シテ居ル、モウ恐ラク  
此ノ委員會ノ結果モサウナルト云フコトガ  
見エルノデアリマスルガ、ドウカ一ツ政府

ハ此ノ出來上ツタ一貫シタ需給關係ノ法制  
ヲ如何ニ運用スベキカト云フコトニ付テ全  
力ヲ注イデ戴キタイ、惡イ所ガアレバ他日  
是正サル、モ宜イ、此ノ頃御愛敬ニモ專賣  
法ヲ考ヘルト云フヤウナコトハ、ドウモ私

ハ政府當局ノ御意思ノアル所ガハッキリ分  
ラヌ、農林大臣ハ果シテ私共ノヤウナ風ニ

御考下サレテ居ルカドウカ、又他ニ專賣法  
ヲ考慮シテ見ヨウト云フコトノ何カ其處ニ  
論據ヲ見出サレテイヤラシヤルノカ、其ノ邊  
ノ所ヲハッキリ伺ッテ見タイ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 米ノ國家管理並  
ニ專賣法ノ問題ニ付キマシテハ、多年ノ間、  
米穀問題ガ論議サレル毎ニ問題トナツテ現  
レル問題デアリマス、從ヒマシテ是等ノ問  
題ニ付キマシテハ、私個人ト致シマシテモ  
十數年來研究ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、  
種々ナル角度カラ見マシテ、ナカノノ之ヲ  
實行シテ是ナラバ間違ナク行ク、是ナラバ

最上ノ米穀政策ダト云フ所ノ決定ヲ致ス所  
迄參ラナイノデアリマス、從ヒマシテ衆議  
院ニ於キマシテ、本法案ハ專賣ノ前提デア  
ルカナイカト云フ質疑ガ度々起リマシタケ  
レドモ、私ハ是ハ別箇ノ問題デアツテ、專賣  
及ビ國家管理ニ付キマシテハ、是ハ十分自  
分等トシテ研究ヲ致サナケレバナリマセヌ

ケレドモ、此ノ法案ハ其ノ前提ト云フベキ  
筋合ノモノデアハナイ、是ハ之ニ依ッテ適正ナ  
ル價格ヲ見出し、又配給ガ圓滑ニ行クト斯  
様ナ信念ノ下ニ之ヲ提案致シタノデアリマ  
スカラシテ、其ノ意味ニ於テ御審議ヲ御願

ヒ致シタイ、斯ウ云フコトヲ衆議院ニ於テ  
モ申シタ次第デアリマス、即チ專賣並ニ國

家管理等ノ問題ニ付キマシテハ、ソレハ十  
分研究シナケレバナラスコトト思ヒマスケ  
レドモ、今日迄我々ガ研究致シマシタ結果  
ト致シマシテハ、本法案ニ依ッテ適正ナル價  
格ヲ見出し得、且配給ガ圓滑ニスルコトガ  
出來ル、又萬一ノ場合ニ於テモ之ニ依ッテ處  
理スルコトガ出來ルト云フ信念ノ下ニ此ノ  
法案ヲ提案致シタヤウナ譯デアリマス

○小林嘉平治君 大臣ノ御意圖ノアル所ハ  
能ク了承致シマシタ、要スルニ茲ニ米穀需  
給關係ノ制度ハ殆ド完成シタ譯デアアルノデ、  
國策トシテハ是デヤツテ行クンデアルト云  
フ結論デアルト了承致シタ次第デアリマ  
ス、チヨット米トハ縁ガナイヤウデアリマ

スルガ、併シ全ク縁故ノナイコトハナイノ  
デアリマシテ、此ノ土地國有ノ問題ニ付キ  
マシテ、是亦矢張り小作爭議ノ起リマシ  
タ當時ニ、私モ考慮シテ見タコトガアルノ  
デアリマスガ、然ルニ國策トシテハ今自作  
農創定ト云フコトニ依ッテ此ノ問題ハ解決

シヨウト云フコトデ御進ミ下サレテ居ルノ  
デアリマスガ、然ルニ、所管外デ少シ御困  
リ下サルノデアアルカモ分リマセヌガ、近頃  
滿洲移民ニ付キマシテ、御承知ノ通り移  
民ハ滿洲ノ土地ヲ所有スルコトガ出來ル

コトニ、滿洲國トノ協定ノ上デハッキリト

極ッテ居ルノデアリマス、又現ニ其ノ意味ニ  
於キマシテ滿洲移民ハ豫期以上ノ成績ヲ舉  
ゲテ居ルノデ、私共此ノ間滿洲ノ國境ヲ觀察  
シマシテ、現地ニ臨ンデ親シク様子ヲ見テ  
來タノデアリマスガ、恐ラク政府ノ御樹テ  
ニナツテ居ル二十年計畫ト云フモノハ、十年

デ完成スルノデアハナイカ知ラント云フ見方  
ヲシテ來タノデアリマス、然ルニ先般新京  
ニ於キマシテ其ノ筋ノ方々ノ御會合ノ席  
デ、移民ニ土地ヲ所有サセルト云フコトハ  
中止シヨウ、ソレデ土地ハ國有ニスル、サ  
ウシテ所謂永小作類似ノモノニスルノデア

ルト云フヤウナ、一大變革ヲ行フコトニ現  
地デハ大體意圖ガ纏リマシテ、更ニ此ノ  
五月ニ内地デ最後ノ判斷ヲ下スコトニ相  
成ッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハナカノノ  
大問題デアリマシテ、我々移民ニ關心ヲ持ッ

テ居ル者、現ニ私共ノ縣デハ、私ガ勸メタ  
譯デハナイガ兎ニ角千五百ノ分村計畫ヲ樹  
テマシテ著々歩ヲ進メツ、アル譯デアリマ  
ス、若シ途中ニ斯ウ云フ所有權ヲ得ルコト

ハ出來ナイト云フ問題ガ湧イテ來タ時ニド  
ンナコトニナルカ、是ハ三重縣バカリデナ  
クテ、一大頓挫ヲ來スト云フコトノ現實ノ  
問題ニ打當ッテ居リマシテ、如何ニナルカラ  
心配致シテ居リマス、農林大臣トシテ所管



ノ事項デアリマセスケレドモ、サウ云フ問題ニ常々心ヲ碎イテ居テ戴ク御方デアラレル方ト能ク承知シテ居リマス、一ツサウ云フ點ニ付テ率直ナル御意見ヲ拜承スルコトガ出來レバ私ハ結構デアルト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 土地國有ノ問題ハ、丁度米ノ國家管理、專賣等ト同ジヤウニ相當今日論議サレテ居リマス、更ニ又小作地ノ國營ト云フヤウナ議論モ行ハレテ居リマス、是等ノ問題ハ研究問題トシテ常ニ研究致サナケレバナリマセスケレドモ、具體的ニ之ヲ實行致スト云フコトニ付キマシテハ、是ハ非常ナル大問題デアリマシテ、相當研究調査ヲ經タル上ニ非ザレバ斯ウ云フ問題ガ具現スルト云フ風ニハナラヌト思ヒマス、是等ノ件ニ付キマシテ研究ヲ致スコトハ固ヨリデアリマセスケレドモ、今日斯様ナ案ヲ今直チニ次ノ議會トカ、其ノ他ノ議會ニ於テ提案スルト云フヤウナ事柄ニハ、少シモナツテ居ラナイノデアリマス、ソレカラ滿洲移民ニ對シマシテノ問題デアリマシタガ、是ハ申ス迄モナク此ノ事變前ニ於キマシテハ農村ニ於テ過剩人口ガアツテ、サウシテ一人當ノ耕作段別ノ少ナイ土地等ノ人ガ滿洲ヘ參リマシテ、サウシテ茲ニ立派ナル大キナ農家ニ仕上ゲルト云フ事柄ハ

適當ノ處置ト考ヘマシテ、所謂分村計畫即チ勞働力ノ餘リマシタ農村カラ移民ヲ集團的ニ出サセマシテ、向フニ於テ土地ノ開發ヲ致サセ、漸次相當ナル地主ニ致スト云フ方針ヲ進ンデ參ッテ居ルノデアリマス、今日迄此ノ計畫ハ少シモ變ッテ居リマセヌ、唯最近ニ於キマシテハ、事變關係ニ依リマシテ出征將士ガ多數出テ居リマスノト、又重工業方面ニ相當ノ勞働力ヲ供出シテ居リマスル關係上カラ致シマシテ、此ノ移民ヲ致スコトニ對シマシテハ、可ナリ注意ヲ拂ハナケレバイカヌノデアリマシテ、相當ニハ注意ヲ致シテ此ノ移民計畫ヲ立テ、居リマス、而シテ此ノ移民ニ對シテ、從來ハ其ノ開墾シタル所ノ土地ヲ其ノ所有權ニ移スト云フコトニナツテ居ルノヲ、永小作權ニ移スト云フ風ナ計畫ガアルト云フ御話デアリマスガ、此ノ計畫ニ付キマシテハ、マダ農林當局ト致シマシテハ何等協議ニ與ッテ居リマセヌガ、將來左様ナ問題ガ具體化シテ協議ニ與リマス場合ニ於キマシテハ、是ハ日本農民ノ爲、殊ニ移民ノ將來ヲ考ヘマシテ十分其ノ權益ヲ擁護シ、又移民ニ行カレル人々ガ希望ヲ殺ガレナイヤウニ致スコト云フコトハ固ヨリデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ慎重ニ考慮シテ善處致シタイ

ト思フノデアリマス

○小林嘉平治君 只今ノ農林大臣ノ御答辯ニ私ハ深く満足ヲ致ス者デアリマシテ、兎角出先ニ於ケル體驗ノナイ人ガ、書物ノ上ヤ耳カラ聞イタコトデ、此ノ大キナ國策ニ觸レタ問題ヲ取扱ッテ居ラレルト云フコトハ甚ダ迷惑致スノデアリマシテ、ドウカ此ノ農業問題ニ付テハ日本ハ長イ間ノ體驗ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、ドウカ其ノ體驗ヲ基礎トシテ、農林大臣ノ立場カラ一ツ何レ御相談モアルコトト思ヒマスガ、善處ヲシテ戴クヤウニ切ニ御願ヒ申上ゲテ置キマス、次ギマシテ事務當局ニ御尋ヲ致スノデアリマスガ、此ノ今度ノ取引所ハ一體全國ニドノ位ドノ方面ニ置カレル御考デアルカ、ソレカラ又第二ニハ此ノ取引、是ハ一部ノ人ノ言フヤウニ取引ヲ止メテシマヘト云フヤウナサウ云フ潔癖ナ者デハ私ハナイノデアリマス、實際正米ヲ取引スル上ニ於テ取引引ト云フコトハ必要ナコトデアリマシテ、從ッテ相當多數ノ場所ニ置カレル必要アリト斯ウ信ジテ居ル者デアリマスカラ、出來マシタラ凡ソドノ邊ニ置クノデアルト云フコトヲ、御示シ下サルコトガ出來レバ大變參考ニナリマスカラ

○政府委員(周東英雄君) 第一點ノ御尋デ

ゴザイマスルガ、是ハ只今清算市場ナリ正米市場等ガ置カレテ居リマスル場所ニハ、大體新シイ制度ニ基キ市場ヲ設置ヲ致シタイト斯様ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ實際ノ場合ニ於キマシテ、能ク其ノ地方ニ於ケル米穀ノ移動ノ狀況ト云フヤウナコトヲ考ヘ併セマシテ、或ハ適當ノ變更ヲ見ルカモ分リマセヌガ、大體ニ左様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第二點ノ取引引ノ問題デアリマスガ、御話ノヤウニ私共ニ於キマシテモ、米ノ需給ノ調節、圓滿ナル配給ヲ爲サシメ、適正ナ價格ヲ構成致サセマスル上ニ於キマシテハ、全然此ノ取引引ヲ認メナイト云フコトハ困リハシナイカト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、先日モ衆議院ノ委員會デ御答ヲ致サレタノデアリマス大臣カラ……先ヅ今決ッテ居リマス所ハ東京、大阪ノ中ニハ之ヲ許可スル見込ニナツテ居リマスガ、其ノ他ニ付キマシテハ、專門ノ委員會ヲ設ケマシテ、能ク其ノ必要不必要ト云フコトニ付キマシテ地方的ニ研究致シマシテ、サウシテ限ラレタ限度ニ於テ認メラレルコトニナルノデハナイカト斯様ニ考ヘテ居リマス、是等ハ此ノ法律ノ幸ニシテ通過ノ上、此ノ實施ニ當リマシテ、能ク専門家ノ御意見ヲ聽イテ決メテ行クコトニナルト存

ジマス

○小林嘉平治君 只今ノ答辯デ凡ソ御意圖

ノアル所ハ承知致シタノデアリマスルガ、唯今日ノ成績ダケト云フコトデハ、又此ノ成績ニ重キヲ置イテ、大體此ノ市場ヲ御設ケニナルヤウナ御話デアリマスガ、此ノ新シイ制度ガ置カレマスト云フト、今此ノ頂戴シタ材料ヲ見マシテモ、取引ノモットアルト思ッテ居タ所ハ存外少イト云フヤウナ所ヲ見出スノデアリマス、是ハ併シ今ノヤウナ生マ温イ制度ノ下ニヤッタノデアリマシテ、此ノ新シイ制度ガ置カレタ時ニハ、此ノ白紙ニ還元シテ需給推算ノ状態モ御考ヘ下サイマシテ才定メ下サルコトガ必要ダト思ヒマス、ソレカラ延取引ニ付キマシテ、東京ト大阪ハ確實デアアルガト仰シヤルト、甚ダ其ノ他ノ所ガドウデアルト云フコトガ懸念ニナルノゾ、何レ委員會才定メルト云フ御言葉デハアリマスガ、現ニ私共ノ近イ所デ考ヘテ見マシテモ、名古屋ノヤウナ所謂中京デ、是ハ文字通り中京デアリマス、米ノアノ大平野ヲ控エテノ集散地ト云フコトハ、見方ニ依ッテハ、東京ヨリモ大阪ヨリモ中部日本デ必要デアル、是ガ例示サレタ中ニ入ッテ居ラナイト云フコトハ、延取引ノ反對ノ聲ガアルカラ少シ萎

縮シテ居ルノデヤナイカト云フヤウナ氣持

ガ致スノデ、是ハ少シ大膽ノ申上ゲ方デ失禮デアリマスガ、元來此ノ法制ヲ御立デニナツタ時ハ、其ノ清算取引ノ取引ヲスル場所ニハ延取引ヲ全部御認メニナルヤウナ方針デアッタカニモ承知致シテ居ル、是ハ聴キ損ヒデアッタカモ知レマセヌガ、何ニシマシテモ、需給推算ノ關係ヲ御考ヘ下サイマシテ、又延取引ト云フコトニ付テモ、非常ニ意義ノアルモノデアルト云フ松村サンノ仰シヤッタ程私ハ必要ハ認メマセヌノデスケレドモ、能ク御考慮ノ上デ慎重ニ御定メ下サルヤウニ切ニ御願ヲ申上ゲマス

○絲原武太郎君 只今丁度延取引ニ付キマ

シテノ御質問デゴザイマス、幾ラカ關聯致シテ居リマスルカラ伺ッテ見タイト思ヒマス、今回ノ此ノ法案ニ依リマスルト、生産者ノ團體デアリマスル産業組合ガ市場ニ進出スルコトニナリマシテ、自然延取引ニ參加スル部分ガ多クナルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、從來御承知ノ如ク産業組合ハ其ノ地方ニ於キマシテ相當農村ニ貢獻致シテ居リマスコトハ大臣ノ御述ニナツタ通りデアリマス、私等モ或程度迄サウデアルト考ヘテ居リマス、併シナガラ午前中大臣ノ御答辯ノ中ニモアリマシタ如ク、世間デ其

ノ本來ノ目的ヨリ幾ラカ行キ過ギテ居ルト

云フ聲ハアリマスルガ、私等地方ニ居ッテ考ヘマシテモ、幾ラカ其ノ感ヲ有スルノデアリマス、是ハ恐ラク産業組合ノ普及發達ヲ專念致シマスルガ爲ニ、左様ナ結果ニ相成ッテ居ルカト思フノデアリマス、從ッテ其ノ取引行爲ガ、生産者ノ生産物ノ委託販賣ノ程度ヲ少シ越シマシテ、事實申シマス、稍、買取ノ形ニ依ッテソレガ需要地ニ移出セラレテ居ルヤウナ時代モアッタ、其ノ爲ニ假ニ米穀デ申上ゲマスト、米穀事情ノ爲ニ非常ニ價格ガ下落致シマシタト云フヤウナ年ニハ、茲ニ中間ノ産業組合ガ損失ヲ來ス、其ノ損失ハ再び還リマシテ、農村ノ詰リ農民ニ其ノ損失ガ轉嫁サレル、斯ウ相成リマス、農村ノ發達ノ爲ニ、農村生活ノ安定ノ爲ニ行ヒマシタ産業組合トシマシテハ、左様ナ信念ヲ持ッテ致シマシタコトガ逆ニ參リマシテ、今申上ゲマスマヤウニ何等結果ニ於テハ農村ノ爲ニ相成ラナカッタカト云フヤウナ事柄モアルノデアリマス、從ッテ午前中ニ、若シ此ノ産業組合即チ生産團體ノ方ガ進出シタナラバ、塚本委員ハ、是ハ最高價格迄引上ゲルト云フコトニナリハシナイカト云フ虞ガアル、斯様ナ御説デゴザイマシタ

下落致シマス時ニハ、ドウ云フ風ニシテ産

業組合ハ此ノ始末ヲスルカ、茲ニ産業組合ノ今後ニ於ケル所ノ指導監督ト云フコトガ私ハ最モ必要ダト思フノデアリマス、是ハドウシテモ中央ノ團體ノ方デ能ク此ノ方面ノ事柄ニ付キマシテ、ドウ申シマスカ農林省トシテノ御監督上御注意ニ相成リマセヌト、從來ハ市場ヘ進出シテ大ビラニ取引ヲシナカッタ團體ガ、此ノ法案ニ依リマシテソレガ許サレルト云フコトニナリマスルト、非常ニ茲ニ私ハ反對ニ危險性デモ起シマスト、大變農村ニ對シマシテ支障ガ起リハシナイカ、私ハ却テ逆ニ之ヲ心配スルモノデアリマスガ、農林省ハ如何御考デアリマスルカ、其ノ邊ノコトニ付キマシテ御考ノアリマス所ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今ノ御話ノ、

産業組合ガ、産業組合ノ本來ノ任務デアアル委託ニ依ッテ米ヲ賣リ捌クニアラズシテ、ソコデ直グ買取ッテサウシテ其ノ後ニ於テ賣捌クト云フ風ガアツテ、其ノ結果往々ニシテ損失ヲ醸シテ居ルノモアルヤウニ見ラレルガ、之ニ對シテ農林當局ノ態度ハドウデアルカ、又今回ノ如キ市場ニ於テ産業組合ガ賣捌クト云フコトニナルト、丁度塚本委員ノ御話トハ反對ニ、非常ニ組合ニ損失ヲ掛

ケルヤウナ場合ガナイトモ限ラナイガ、之ニ對スル所ノ農林當局ノ態度ハドウデアアルカスウ云フ御趣旨ノヤウニ拜聽致シタノデアリマスガ、申ス迄モナク産業組合ハ、本來ノ任務ハ農民カラ委託ヲ受ケテ共同デアリ取纏メテ之ヲ賣ルト云フノデアリマシテ、買取ツテサウシテ賣ルト云フコトニナリマス云フト、是ハ全ク商業行爲デアリマシテ、産業組合ノ本來ノ性質ニ背クモアリマスガ、若シ果シテ左様ナコトガアリトスレバ、是ハ組合ノ法規ニ低觸スルモノト私ハ考ヘルノデアリマス、又斯様ナ結果トシテ損失ヲ醸シテ居ルヤウナコトガアリマスレバ、是ハ亦不法タルコトハ勿論デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ十分ニ監督ヲ致シ、又取締ヲ致シマシテ、左様ナコトノ絶對ニナイヤウニ致スベク相當ノ途ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、今後は等ノコトニ付キマシテハ、十分ニ注意ヲ致シタイと思ヒマス

○絲原武太郎君 私ハ、産業組合ハ主ニ生産者ノ團體デアリマスルガ故ニ、其ノ農村ノ生産物ヲ蒐集スルト云フ役目ガ私ハ重大ナ一ツノ役目デアラウト思ヒマス、而シテ販賣ニ付テモ、成ルベク有利ニ販賣ヲシナ

クチャナリマセヌガ、是ハ午前中大臣ノ御説明ニアリマシタ如ク、矢張り一ツノ配給網ヲ持チマシタ商業組合、或ハ問屋、小賣商人ト云フヤウナモノガソレノ機關ヲ備ヘテ居リマスル故ニ、ソレ等ニ或程度ハ委セマシテ、サウシテ其ノ取引上ニ、市場ト其ノ集散地トノ實情ニ不公平ガ無イヤウニト云フコトヲ期スルコトニ産業組合ガ専心致シマシテ……産業組合自身ガ此ノ販賣ニ餘リニ專念シテ参リマス云フコトハ私ハ、ドウシタモノダラウカト思フ、從ツテ生産ノ團體カラ、産業組合ハ今後ノ方針ハ農産物ヲ蒐集スル、而シテ之ノ販賣ヲ、圓滿ナル販賣ニ仕向ケルト云フコトヲ主ナル方針トナサレテハドウカ、斯ウ考ヘマスガ、此ノ點ニ付テハ御當局ハ、如何ナル御考ヲ御持チニ相成ツテ居リマセドゴザイマセウカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 産業組合ガ集荷ニ主力ヲ注ガシテハドウカト云フ御話デアリマスルガ、私ハソレモ一ツノ方法デアラウト思ヒマスガ、現狀ニ於キマシテハ、御承知ノ如ク産業組合ノ集荷網ト云フモノモ相當擴大サレテ、殆ド移動米ノ全體ノ二割乃至二割何分ニ當ツテ居ルヤウナ譯デアリマスガ、又米穀取扱業者ノ集荷網モ適當ニ、昔

カラノ關係ニ依リマシテ相當集荷網ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、是ハ雙方相俟ツテ、サウシテ其ノ集荷網ト云フモノガ敏活且餘リ費用ノ重複シナイヤウニ取扱ハレルヤウニ希望致シタイと思フノデアリマシテ、産業組合ヲシテ特ニ今集荷網ヲ擴大セシメルトカ、或ハドウスルトカ云フ風ヲ指導方針ハ持ツテ居ラナイノデアリマシテ、大體ニ於テ從來ノ系統ヲ辿ラシテ、サウシテ出來得ル限り簡便ニ行クヤウナ方法ヲ講ジタイ、斯様ニ希望致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○絲原武太郎君 産業組合ニ對シマスル御當局ノ監督ノ御方針ニ付キマシテモ、大體了解ヲ致シマシテゴザイマス、此ノ際矢張り午前中大臣ノ方カラ御話ニナリマシタ事柄ニ關聯シテ御尋ヲ致シテ置キタイと思ヒマス、幾ラカ此ノ御尋ニハ私ノ個人ノ意見モ挿入致シマスカモ知レマセヌケレドモ、其ノ點ハ惡シカラズ御了解ヲ願ヒタイと思フノデアリマス、午前中ニ農業生産ヲ代表致シマスル團體ト、中小工業者トノ摩擦相剋ヲ避ケル爲ニ、近ク或大調査機關ヲ設ケテ根本的ニ御審議ニ相成ルト云フ御話デアリマシテ、目下其ノ準備中ト承ルノデアリマス、此ノ調査機關ニ依リマシテ多年ニ互リマス

トニ相成リマスレバ、私ハ此ノ階級ニ於ケル我ガ國民ノ生活安定上非常ニ喜ブベキコトト信ジマスル、此ノ時ニ於キマシテ考ヘラレマスルコトハ、農村ニ於ケル所ノ中小階級ノ人々ノ現狀カラ見マシテ、是等モ同時ニ御解決下サルト云フコトガ必要デアラウト考ヘマスルガ故ニ、茲ニ其ノ狀況ノ大要ヲ申述ベテ御考慮ヲ煩ハシマスト共ニ、御意見ノアリマスル所ヲ御伺ヒ致シタイと思フノデアリマス、私ガ申上ゲマス迄モゴザイマセヌ、御承知ノ通り最近相當、生活維持ト申シマスカ、其ノ方面ニ苦シデ居リマス所ノ者ハ、農村ニ於ケル所ノ中小程度ノ階級ノ人々デアリマス、今日ノ非常時局ニ際シマシテ、苦シイ中ニ極メテ眞面目ニ働イテ、地方的ニ貢獻致シテ居リマスル者ハ、此ノ農村ニ於ケル中小階級ノ人々デアリマス、其ノ人々ノ公共的ノ努力ノ賜ト私ハ申シテモ宜シイト思フノデアリマス、此ノ苦シイ中ニアリマシテモ、農村ノ實情ニ忠實ニ働イテ居リマスルコトハ申ス迄モアリマセヌ、各種ノ公共團體ノ人等ガ中心トナリマシテ、其ノ活動ニ依ツテ地方ハ今日進歩發達シテ居ルト申シテモ、私ハ過言デナイト思フ、又現ニ此ノ進歩發達ヲ圖ツテ居ルノデアリマス、是ハドウナタガ御考ニ

此ノ問題ガ、公正適切ニ解決セラレマスコトニ相成リマスレバ、私ハ此ノ階級ニ於ケル我ガ國民ノ生活安定上非常ニ喜ブベキコトト信ジマスル、此ノ時ニ於キマシテ考ヘラレマスルコトハ、農村ニ於ケル所ノ中小階級ノ人々ノ現狀カラ見マシテ、是等モ同時ニ御解決下サルト云フコトガ必要デアラウト考ヘマスルガ故ニ、茲ニ其ノ狀況ノ大要ヲ申述ベテ御考慮ヲ煩ハシマスト共ニ、御意見ノアリマスル所ヲ御伺ヒ致シタイと思フノデアリマス、私ガ申上ゲマス迄モゴザイマセヌ、御承知ノ通り最近相當、生活維持ト申シマスカ、其ノ方面ニ苦シデ居リマス所ノ者ハ、農村ニ於ケル所ノ中小程度ノ階級ノ人々デアリマス、今日ノ非常時局ニ際シマシテ、苦シイ中ニ極メテ眞面目ニ働イテ、地方的ニ貢獻致シテ居リマスル者ハ、此ノ農村ニ於ケル中小階級ノ人々デアリマス、其ノ人々ノ公共的ノ努力ノ賜ト私ハ申シテモ宜シイト思フノデアリマス、此ノ苦シイ中ニアリマシテモ、農村ノ實情ニ忠實ニ働イテ居リマスルコトハ申ス迄モアリマセヌ、各種ノ公共團體ノ人等ガ中心トナリマシテ、其ノ活動ニ依ツテ地方ハ今日進歩發達シテ居ルト申シテモ、私ハ過言デナイト思フ、又現ニ此ノ進歩發達ヲ圖ツテ居ルノデアリマス、是ハドウナタガ御考ニ



ガ伴ハスト云フ爲ニ、御話ノ如ク現在ノ地方ガ次第ニ萎靡シテ行クト云フ風ナ傾向ニアルト云フコトハ、深く是ハ注意致サナケレバナラヌ點デアリマス、又地方ニ於キマシテモ、相當色々ナル事業ノ關係上種々ナル出費ガアル、其ノ出費ガ土地ヲ中心トシテ掛ツテ來ル、是モ事實デアリマス、從ヒマシテ農業従事員並ニ土地所有者共ニ、中ニハ地方ヲ離レテ都會ニ、相當ナ資産家、相當ナ地所持ガ都會ニ移ルト云フヤウナコトモアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點ハ、是ハ深く研究致サナケレバナラヌ點デアリマスノデ、此ノ問題ニ付キマシテハ徹底的ニ調査ヲ致シマシテ、其ノ根本對策ヲ樹テナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、從ヒマシテ此ノ度中小農業者、中小商業者ノ繁榮ヲ企圖スル爲ニ、其ノ共存共榮ヲ企圖スル爲ニ設ケマスル大調査機關ニ於テハ、固ヨリ是等ノ點ニ付キマシテ深く研究ヲ致スト云フコトハ、當然爲サナケレバナラヌコトデアリマシテ、此ノ方面ニ對シマシテハ十分努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、殊ニ農林當局ト致シマシテハ、何トシタラバ現在ノ農村ヲ維持シ、而シテ農産物ヲ維持シ、殊ニ農村ヲシテ王道樂土ヲラシムルコトガ出來ルカト云フコトニ付キマシテハ、深く

意ヲ用ヒテ居ル所デアリマシテ、一層ノ努力ヲ致シタイト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○絲原武太郎君 只今大臣ヨリ農林ニ對シマシテ、極メテ御同情アル御答ヲ戴キマシテ私ハ、農村民ガ定メテ感謝致シマスコトト信ズルノデゴザイマス、ドウカ先程申上ゲマシタ如ク地方ニ於ケル所ノ重大問題デアリマスガ故ニ、審議會ニ於キマシテ相當御議論ニナリマシテ、是等ノ擁護ノ點ニ於キマシテモ、一層ノ御努力アラムコトヲ希ツテ置キマスノデアリマス

○伊澤多喜男君 只今絲原委員ノ御質問ニ大臣ガ御答ニナリマシタ、誠ニ私モ農林大臣ノ御意見ハ結構ト思ヒマス、是ハモウ今始ツク問題デアリマセヌデ、明治維新以來、今日迄始終農村ト云フモノハ段々ニ萎靡シテ來ル、之ニ對シテ私ハ、昔カラノ爲政治家ガ非常ニ大キナ責任ガアルト思ッテ居リマス、始終考ヘテ居リマスノハ、維新前ニハ武士ト云フ者ガアリマシタ、サウシテ武士階級ト云フモノガ大體社會ノ一ツノ中心勢力ニナツテ居リ、サウシテ日本ノ社會ト云フモノハ相當ニ宜イ形ヲ取ツテ居タト思ヒマス、處ガ此ノ武士ト云フモノガナクナリマシテ、サウシテドウ云フ風ニナツテ

來タカト言ヘバ、其ノ時代ニハ必要デアツクラウト思ヒマスケレドモ、明治維新以來ノ爲政治家ハ、常ニ都會人ト云ヒマスカ、或ハ商工業者ト云フカ、サウ云フ人々ノ聲ヲ聞キマス、ト云フノハ自分ノ手近ニ居リマスカラシテ、ソレデソレ等ノ人ノ聲ガドウシテモ餘計入ル、然ルニ農村人ト云ヒマス者ハ殆ド物ヲ言ハナイノデアリマス、ソレ故ニ常ニ農村人ト云ヒマス者ハ、或意味カラ云ヘバ虐ゲラレテ、サウシテ段々ニ來テ居ル、是ガ私ハ實情ダト思フノデアリマス、私ハ常ニ考ヘテ居ルガ、何人モ云フコトデアリマスケレドモ、私ハ矢張り農ハ國ノ本ダト云フコトヲ私ハ深く考ヘテ居ルノデアリマス、詰リ農ト云フモノガ物的資源ト云ヒマスカ、食糧問題ト云フヤウナモノニ對シテ、非常ナ重キヲナシテ居ルト云フコトハ無論ノコトデアリマスカラ、私ハ、是ハ私ノ言葉ヲ以テ言ハセルナラバ、精神的資源ノ培養所デアアル、私ハ實ハ農村ト云フモノハ、丁度農村ノ人ト云フ者ハ、昔ノ武士ニ代ルベキ地位ニ居タト、斯様ナコトヲ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ國家ハ、何トシテモ農村及ビ農村人ト云フモノニ對シテハ如何様ナ保護モ加ヘテ、サウシテ之ヲ維持發達サシテ行カタクチャナラヌト云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、今申シタヤウニ、大體ノ此ノ趨勢カラ行キマスト、農村ノ人口ト云ヒマスカ、殊ニ農村ノ青年ト云フ者ハ殆ド皆都會ヘ出テ來テ、サウシテ都會ノ工場勞働者ニナツテ行クト云フヤウナ傾向ガ非常ニ強イノデアリマス、是ハ矢張り一ツノ先刻申シタ通りニ、從來ノ爲政治家ノ、私ハ罪ダト云フ風ニスラ思ッテ居ルノデアリマス、ソコデ農林大臣ニ伺ヒタイノハ、大變ニ努力ヲナサルト仰シヤイマスケレドモ、一體ドシナコトヲナサラウト云フ御心持デゴザイマスカ、餘程ムヅカシイ質問カモ知レマセスケレドモ、ゴザイマスナラバ、一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 伊藤委員カラ御話ノ如ク農ハ國ノ本デアリマスカラ、此ノ本ヲ培フト云フコトハ勿論致サナケレバナラスコトデアリマスノデ、其ノ點ニ付キマシテ最大ノ努力ヲ盡スト申上ゲタノデアリマスガ、此ノ具體方法ハ、ドウ云フコトヲスルカト云フ只今ノ御話デアリマスケレドモ、只今之ヲ是々ノ事ヲ致スト云フ風ナ具體案ヲ根本的ナ方策トシテ申上ゲル事柄ニ付キマシテハ、申上ゲル段取ニナツテ居リマセヌノデ、私單獨ノ考ヲ申セバ、ドウシテモ農家經濟ノ收入ノ増加ヲ圖ルト云フコト

ガ先ヅ第一番ニ必要ダト思ヒマス、此ノ農家經濟ノ收入ノ増加ヲ圖リマスコトハ、現狀ニ於ケル所ノ増加モ必要デアリマスシ、同時ニ農村ノ努力ヲ調整致シマシテ、即チ農閑期ノ努力ヲ活用シテ、其ノ收入ノ増加ヲ圖ルコトモ必要デアラウト思ヒマス、又其ノ擔稅力等ニ付キマシテモ、十分調査ヲ致シマシテ國內各方面トノ擔稅力ノ平均ヲ圖ルコトモ一ツノ方法デアラウト思ヒマス、其ノ他或ハ商工業ノ分布デアルトカ、種々ナル方法ガアルト思ヒマスケレドモ、只今之ヲ取上ゲテ是々ノ事ヲ致スト云フ考デアルト云フコトヲ申上ゲマスコトハ、是ハ十分委員會等ニ於キマシテ審議致シマシテ結果デナケレバ決定致シマセヌノデ、今ノ所具體的ニ申上ゲルコトダケハ差控ヘタイト思フノデアリマス

○伊澤多喜男君 今直グニ農林大臣ニ具體的ノ方法ヲ御答ヘ願ヒマス云フコトハ、餘程無理ダト思ヒマスカラシテ、私ハ強ヒテ申シマセヌ、申シマセヌガ、私ガ相當ニ長イ間役人ヲ致シマシタリ、ソレカラシテ議員ヲ致シマシタリシテ見テ居ルノデアリマスルガ、過去ニ於テ一體農村ノ爲ニ爲政治家ガ、非常ニ能クヤツテ呉レタト思ハレルコト云フノハ、私ノ記憶スル所デハ、濱口内閣ノ地租

法ノ改正ト云フ、此ノ位ノ外無イト思ヒマス、ドウ云フコトカト云ヘバ當時ノ地租法ハ御承知ノ如ク、賃貸價格ニ依ッテ地租ヲ課スルト云フ一ツノ根本的ノ改正ヲヤツタノデアリマス、其ノ時ニ所謂都市ノ居住者ト云ヒマスカ、或ハ商工業者ト云ヒマスカノ諸君ハ非常ナ熱烈ナ強イ反對ヲ致シマシタ、私ハ之ヲ見テ居ッテカラニ、實ニ何ト云フカ、餘リニ商工業者ト云フ者ハ、我儘デヤナイカト云フ感ジヲ私ハ深く持ッタノデアリマス、ドウ云フコトカト云ヘバ、賃貸價格ニ依ッテ地租ヲ定メルト云フコトハ、大體ノ形ニ於テハ一番公平ノコトダト思ハレマス、過去ノ所謂地價ニ依ッテ地租ヲ課スルト云フヤウナコトモ一ツノ方法デアリマスケレドモ、是ハ數十年ノ間殆ド地價ノ修正ト云フコトハヤレズニズツト來マシタガ、其ノ結果都會ノ土地ニ對スル地租ト云フモノハ實ニ話ニナラヌ程廉イモノデアツテ、サウシテソレニ比較シテ、農村ノ土地ト云フモノニ對スル地租ト云フモノハ非常ニ高イモノデアツテ、デ今日賃貸價格ニ依ッテ課スルト云フコトニ改メタノデアリマスルカラシテ、大體公平ニナツタ、先ヅ私共ハ過去ニ於テ見テ居ルト云フト、兎ニ角爲政治家ガ農村ノ爲ニ能クヤツテ呉レタト云フコトヲ見

ルノハ、先ヅソレ位ノモノ外私ハ實ハ見ナイノデアリマス、デ今ノヤウナ農ハ國ノ本ナリト云フヤウナコトヲ唱ヘテ、ソレハ大キニ御尤ダト殆ド皆言ハレマス、言ハレマスケレドモ殆ド嘗テ農村ノ爲ニ福祉ヲ圖ッタコトト云フコトハ、私ハ知ラナイノデアリマス、是ハ少々甚ダシイカモ知レマセヌケレドモ、甚ダ少イノデアリマス、デ私ハ、斯様ナコトスラ申シタリ、考ヘタリシテ居ルノデアリマス、ドウ云フコトカト云ヘバ詰リ私ガ先刻、農村ト云フモノハ所謂精神的資源ノ培養所デアルト云フヤウナコトモ申シタノデアリマスガ、其ノ一ツノ現レトシテ私ガ申シテ居ルノハ、兎ニ角今日デハ農村ノ相當ナ有産階級ガ自分ノ子弟ヲ教育スル爲ニハ、イツデモ都會ニ之ヲ留學サセマス、農村デハ兎ニ角學校ト云フモノハ十分デアリマセヌカラシテ、農村カラシテ都會ヘ留學サセルト云フノガ普通ノ行キ方デアリマス、少シ言ヒ方ガ嚴シ過ギルカ知レマセヌケレドモ、都會カラシテ農村ニ留學ニヤレト云フコト迄私ハ主張スルノデアリマス、ドウ云フ意味カト云ヘバ、所謂人間ト云フ者ハ都會ニ於テハ出來ナイノダ、所謂人格ト云ヒマスカ、或ハ心ト云ヒマスカト云フモノハ、ソレハ都會デハナカク出來ナ

イ、兎ニ角農村ノ大自然ニ接シ、農村ノ環境、傳統、斯様ナモノニ依ッテカラニ人間ハ出來ルノダト斯様ナコトヲ、實ハ私ハ嘗テ或委員會デモ主張シタノデアリマス、ソレ程ニ私ハ農村ノ所謂精神的資源ト云ヒマスカ、サウ云フ言葉ヲ用ヒテ宜イカドウカ知リマセヌガ、近頃流行ルカラ用ヒマスガ、農村ト云フモノハサウ云フモノダ、果シテ然ラバ國家ハ、ドノヤウナ費用ヲ使ッテモ、ドノヤウナ方法ヲ用ヒテモ有ラン限りノ力ヲ盡シテ、農村ノ爲ニ圖ルベキモノダト私ハ深く信ジテ居リマス、昨日絲原君ノ御質問ニ對シテ、農林大臣ノ御答ニナツタコトヲ伺ッテ居リマスルト云フト、兎ニ角時局ニ際シテ農村ノ青年ハ戰爭ニ出掛ケテ居ル、ソレカラ馬モ徵發サレテ居ル、其ノ外農村ト云フモノハ非常ナ勞働努力ナドモ減リ、ソレカラ肥料ノ配給ノ如キモノモ十分デナイ、非常ニ苦シイノダ、之ヲ一體ドウシテ呉レルノダト云フヤウナ御質問ニ對シテ、肥料ヲ成ルベク廉ク供給スルヤウニシタイト思ッテ居ル、ソレカラ農具モ何トカシテ廉ク供給シタイト思ッテ居ル、サリナガラナカクサウハ行カナイノダ、行カナイカラシテソレデ働イテ貰フ外仕方ガナイ、大體斯ウ云フヤウナ意味

ニナルノデアリマス、ソレハ農村人ハ、此ノ時局ニ對スル認識ガ非常ニ深イノデアリマスカラシテ、如何様ニデモ働カウト云フ心持ハ持ッテ居ルト云フコトヲ私ハ確信致シマス、サリナガラモノニハ自ラ限度ガアルノデアリマス、今ノ通り、昨日カラ伺ヒマスルト云フト、兎ニ角此ノ際内地ニ於テハ四百萬石デスカ、ソレカラシテ朝鮮、臺灣ニ於テモ又非常ナ大キナ増産ヲセタクチャナラス、ソレハドウシテヤルカト云ヘバ、急ニ平面的ニ收穫ヲ殖スト云フトハ出來ナイノデスカラ、勢ヒ立體的ニ行カクチャナラス、立體的ニ行クト云フトニナルト、兎ニ角丁度今迄平地ヲ歩イテ居ッテ者ガ坂ヲ登ルト同ジコトニナリマス、農村人ハ今ノヤウニ、色々ナ方面デ兎ニ角壯丁ヲ取ラレ、馬ヲ取ラレ、彼此シテ、其ノ上ニ大キナ、或意味カラ云ヘバ足ヲ切ラレテ居ル、サウシテ坂ヲ登ル、斯ウ云フコトヲ命ゼラレルノデアリマシテ、實ニ農村ニ對シテハ、我々ハ丁度「フランス」革命ノ前ノ「フランス」ノ農民ノコトヲ追想スルノデアリマス、是ハ今ノ通り果シテ肥料トカ、ソレカラ農具トカ云フコトニ付テ御考ガアルト致シマスルナラバ、是非一ツソレヲ實行シテ戴キタイ、ソレハ出來マセウカ、ドウデ

アリマセウカ、ソレカラ私ハ、所謂米穀問題ニ付キマシテモ、一體是ハ多クノ人ト私ハ考ガ違ッテ居ルノデアリマスケレドモ、米ノ最低價格ト云フモノヲ兎ニ角保證サレテ、サウシテ農村ヲ救ハウト云フノガ、是ガ今日ノ統制法ノ狙ッテ居ル所デアリマスケレドモ、私ハ左様ナ間接ナ方法デヤルヨリモ、直接ノ方法デヤツタラ宜シイト思フ、ドウ云フコトカト云ヘバ、例ヘバ農村ノ今ノ租稅ナリ、何ナリノ負擔ト云フモノヲ非常ニ輕イモノニスルカ、極端ニ云フナラバ、或者ハ租稅モ納メナイ、兎ニ角直接ニ農村ト云フモノヲ救フ方法ハ私ハ、幾ラデモアルト思フ、マアコンナコトヲ私ハ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、詰リ過去ノ爲政家ハ、常ニ口デハ農ハ國ノ本ダ、大キニサウダカラシテ成ルベク農村ノ爲ニ盡スノダト云フコトヲ言ハレマスケレドモ、而モ何ヲヤツテ居ッテカト云フト、私ハ甚ダ遺憾デアルケレドモ、大キナコトヲヤツテ居ラスト思フノデアリマス、是ハ御答ヘ下サレバソレデ結構デスガ、御答ヘ下サラナクテモ宜シイノデアリマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 商工大臣ガ御見エニナツテ居リマスカラ、御質問ガアリマシタラ……チヨット速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メテ……

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今伊澤サンカラ農村ガ精神的資源ノ培養所デアアル、都會ニ遊學スルヨリモ、都會カラ農村ニ遊學セシムルコトガ必要デハナイカ、私モ確カニ其ノ考ヲ持ッテ居リマス、今日農村ノ人々ガ犧牲的精神ヲ以テ働イテ居リマス、此ノ實ニ目マグルシイ働ニ付キマシテ、各方面ノ人々ニ之ヲ見テ戴キタイ感ジガ致スノデアリマス、併シ之ニ對シテ政府ガ、農ハ國ノ本ナリト謂フケレドモ、何モ具體的ナコトヲシ得ナイノデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、甚ダ現在ノ設備ガ我々ノ考ヘテ居ルホンノ一部ニモ達シナイ譯デアリマシテ、十分ナル施設ノ出來ナイコトハ甚ダ遺憾ト致ス所デアリマスガ、是等ニ對シマシテハ今後十分注意シテ、全力ヲ盡シタイト考ヘテ居リマス、又米ノ最低ノ價格ヲ保障スルヨリモ、稅ヲ全廢シタラ宜イデハナイカト云フ御意見モアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ所謂租稅ノ體系ノ關係其ノ他カラ申シマシテ、其ノ方法ガ當ヲ得ルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、今此處デ御答ヲ致シ兼ネルノデアリマス、ソレデ肥料ノ

配給、農具ノ供給ガ出來ルカドウカト云フ御話デアリマスガ、是ハ出來ル出來ナイノ問題デハナクシテ、ドウシテモ是ハ供給致サナケレバナラヌト考ヘマシテ、所謂物動計畫ヲ離レテデモ是ハ供給致サナケレバナラヌ事柄デアアルト、斯様ニ固ク信ジマスノデ……

○伊澤多喜男君 安ク……

○國務大臣(櫻内幸雄君) 其ノ見地ニ於テ供給致シマスルト同時ニ、之ヲ低廉ニ供給致スト云フコトニ付キマシテハ、今日相當統制法ヲ強化致シテ居ルノデアリマスガ、肥料ノ如キハ御承知ノ通り國內ニ出來マス所ノ硫酸等ニ付キマシテハ、現在ノ物價騰貴ニ拘ラズ一割モ騰ッテ居ラナイヤウナ譯デアリマスケレドモ、輸入ヲ致シマスル所ノ肥料ニ付キマシテハ、甚ダ遺憾ナガラ二割三割騰貴致シテ居ルノガアリマシテ、之ニ對シテ之ヲ安く致シタイ爲ニ、此ノ過燐酸ノ原料デアアル所ノ燐礦石ナドヲ國內ニ於テ見付ケテ、サウシテ之ヲ安く供給シテ、此ノ販賣ノ價格ヲ下ゲル爲ニ力ヲ盡シテ居ル譯デアリマス、唯加里ニ付キマシテハ、全然日本ニ於テ見込ガ立チマセヌノデ、相當價格ガ騰リマスケレドモ、是レモ出來得ル限り安く致シタイト思ヒマス、今大イニ

力ヲ盡シテ居ルヤウナ譯デアリマス、固ヨリ今日ノヤウナ事態デアリマスカラシテ、思フ通りノ價格ニハ引下ガ出來ナイノデアリマスガ、若シ今日ノヤウナ物價騰貴ノ状態デアリマスルト云フト、何等カ特殊ナ方法ヲ講ジテ之ニ對シナケレバナラスト云フノデ、其ノ對策ヲ練テ居ルヤウナ譯デアリマス、農具ノ如キモ、鐵ノ如キ資材ガ騰リマス、「ゴム」等モ騰リマシタ、其ノ結果勢ヒサウ云フ品物ガ騰貴致シツ、アルノデアリマシテ、此ノ統制ニ付キマシテモ、商工省ト能ク協議致シマシテ善處致シタイト考ヘテ居リマスノデ、出來得ル限り其ノ力ヲ盡ス考デアリマス

○伊澤多喜男君 大變ニ御深切ナル御答デアリマス、昨日絲原君モ申サレタト思ヒマスケレドモ、兎ニ角米穀ノ最高最低ノ價格ヲ大體ニモット上ゲル心持ガアルカト云フ質問ヲセラレタニ對シテ、場合ニ依ツタラ上ゲル積リダト云フヤウナマア御答デアリマシタ、サリナガラ兎ニ角物價騰貴ト云フコトハ容易ナラヌコトデアルカラ、ナカノサウ簡單ニハ行カヌ、是モ御尤ダト思フ、米ト云フモノハ大體日本ノ物價ノ相當大キナ基準ニナルノデアリマスカラ、御尤ナコトデアリマス、ソコデ私ノ申スコトハ詰リ

肥料ナリ、農具ナリ、其ノ外農家ヲ救フベキモノヲ兎ニ角低廉ニシナケレバナラストデハナイカ、ソレニ向ッテ努力セラレタラ宜イデハナイカ、私ハ今農林大臣ノ言ハレルヤウナ風ニ當然低廉ニナルトハ思ヒマセヌ、思ヒマセヌカラシテ其ノ時ニハ私ニ言ハシムルナラバ、所謂商工業者ト言ヒマスカ、國家全體ノ負擔ニ於テ兎ニ角安ク肥料ヲ農家ニ供給スル、農具ニシテモ國家全體ノ負擔ニ於テ農家ニ之ヲ安ク供給スルト云フコトガ、何モムツカシイコトハナイ、兎ニ角根本ノ考一ツデス、農家ト云フモノハ兎ニ角自分ノ賣ルベキ米價ハ抑ヘラレテ居ッテ、サウシテ肥料ナリ農具ナリ勞銀ナリハ悉ク騰ッテ來ル、一體農家ハソレニ對シテドウシテ行キマスカ、今ノ立體的ニ増産セヨト云フヤウナ、マルデ出來モシナイヤウナ無理ナコトヲ農家ニ強ヒテ居リマス、私ハ兎ニ角其ノ問題ヲ研究セラレテ、サウシテカラ行ハレルト云フヤウナ、サウ云フ時代デハナイノデアリマス、今ハ非常ニ焦眉ノ急ニ迫ッテ居ル秋デアリマスカラ、能ク御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今ノ伊澤サンノ御意見至極御尤ダト思ヒマス、即チ肥料

農具、勞銀、之ヲ一貫シテ統制ヲ致スニ非ザレバ、今日ノ米價ニ依ッテ農村ハ支ヘララスト云フ事柄ニ付キマシテハ、私ハ左様ニ考ヘマス、併シ現在ノ米價ガ甚ダシク不當ナモノデアッテ、之ヲ支ヘ切レヌモノデアルカトドウデアルカニ付キマシテハ、此ノ問題ニ付キマシテハ御承知ノ通り昨年ノ暮ニ、米穀統制委員會ニ於キマシテ十分審議セラレマシテ決定セラレタノデアリマシテ、今日之ヲ非常ナ著シキ變動ノアリマシタ場合ニ於テハ、更ニ委員會ヲ開イテ考慮致スコトノ規定ガアリマスケレドモ、只今ハサウ云フ場合ニハ立至ッテ居ラナイノデアリマス、從ッテ之ニ對スル所ノ對策トシテハ、今伊澤委員ノ御話ノ通り其ノ資材、原料即チ肥料、農具或ハ勞銀等ノ低下ヲ期セナケレバナラナイガ、是等ノ問題ニ付キマシテハ相當多方面ニ影響スル所ガ極メテ重大デアリマスノデ、此ノ問題ニ對シテハ出來ルダケ速カニ其ノ方法ヲ講ジタイト、今折角考慮中デアリマス、是ダケヲ申上ゲテ置キマス

○伊澤多喜男君 私ハモウ今日ハ是デ……  
○委員長(伯爵酒井忠正君) 本日ハ此ノ程度ニ致シマシテ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後四時十一分散會  
出席者左ノ如シ

- |           |          |
|-----------|----------|
| 委員長       | 伯爵酒井 忠正君 |
| 副委員長      | 男爵矢吹 省三君 |
| 委員        |          |
| 伯爵島津 忠承君  |          |
| 侯爵前田 利爲君  |          |
| 侯爵佐竹 義春君  |          |
| 子爵梅小路 政賢君 |          |
| 子爵米津 政賢君  |          |
| 子爵伊東 二郎丸君 |          |
| 子爵鍋島 直繩君  |          |
| 子爵織田 信恒君  |          |
| 松村眞一郎君    |          |
| 賀屋 興宜君    |          |
| 内田 重成君    |          |
| 伊澤多喜男君    |          |
| 塚本 清治君    |          |
| 男爵中島 久萬吉君 |          |
| 男爵岩倉 道俱君  |          |
| 男爵東郷 安君   |          |
| 男爵稻田 昌植君  |          |
| 倉知 鐵吉君    |          |
| 有賀 光豐君    |          |
| 瀧川 儀作君    |          |
| 小林嘉平治君    |          |



絲原武太郎君

山上 岩二君

國務大臣

商工大臣兼拓務大臣 八田 嘉明君

農林大臣 櫻内 幸雄君

政府委員

農林政務次官 松村 謙三君

農林省農務局長 小濱 八彌君

農林省米穀局長 周東 英雄君

馬政局長官 荷見 安君

商工省商務局長兼  
商工省統制局長 新倉 利廣君

昭和十四年三月二十五日印刷

昭和十四年三月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局